MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN COMPLETE ANALYSIS

別冊宝島編集部 編

機動戦士ガンダムUC(ユニコーン)

コンプリート・アナリシス



宝島社





上：機動戦士ガンダムUC episode 1 初回封入特典 カトキハジメ描き下ろし特製スリーブ
右：機動戦士ガンダムUC episode 1 キービジュアル



上：機動戦士ガンダムUC episode 2 初回封入特典 カトキハジメ描き下ろし特製スリーブ
左：機動戦士ガンダムUC episode 2 キービジュアル





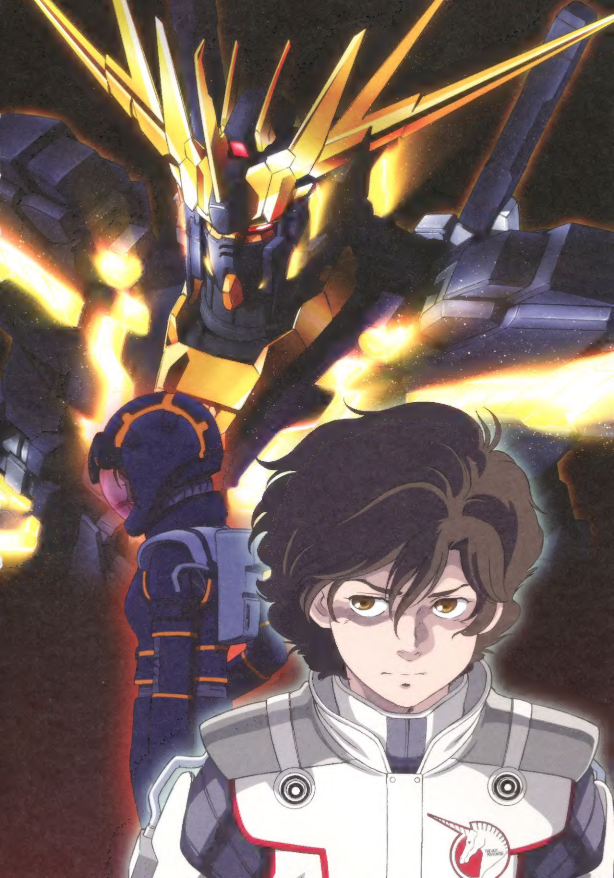


上：機動戦士ガンダムUC episode 3 初回封入特典 カトキハジメ描き下ろし特製スリーブ
右：機動戦士ガンダムUC episode 3 キービジュアル



上：機動戦士ガンダムUC episode 4 初回封入特典 カトキハジメ描き下ろし特製スリーブ
左：機動戦士ガンダムUC episode 4 キービジュアル







上 機動戦士 … ク…UC episode … 特典 … 備え … 特 …
右 機動戦士ガ … ウ…UC episode 5 …









上　機動戦士ガンダムUC episode 7 初回封入特典 カトキハジメ描き下ろし特製スリーブ
右　機動戦士ガンダムUC episode 7 キービジュアル

CONTENTS

002 ILLUSTRATIONS

1st CHAPTER MOBILE SUIT ANALYSIS

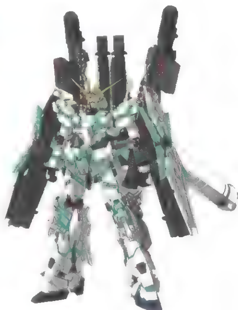
018 ユニコーンガンダム(ユニコーンモード)
020 ユニコーンガンダム(デストロイモード)
022 フルアーマー・ユニコーンガンダム(ユニコーンモード)
023 フルアーマー・ユニコーンガンダム(デストロイモード)
024 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ(ユニコーンモード)
025 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ(デストロイモード)
026 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ・ノルン(ユニコーンモード)
027 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ・ノルン(デストロイモード)
028 シナンジュ
029 ネオ・ジオング
030 系譜図 [illegible]
031 リゼル
032 リゼルC型(隊長機) リゼルC型(ゼネラル・レビル配備機)
033 デルタプラス
034 Zプラス
035 カンキャノン・ディテクター リ・ガズィ
036 系譜図 [illegible]
038 ジェガンD型
039 ジェガンA2型 EWACジェガン
040 スタークジェガン プロト・スタークジェガン
041 ジェガン(エコーズ仕様機) ジェガン(エコーズ仕様機/コンロイ機)
042 ジェスタ ジェスタ・キャノン
043 アンクシャ
044 ジムII ジムII・セミストライカー
045 ジムIII アクア・ジム
046 ネモ ネモIII ガンタンクII
047 ロト
048 ロト(砲撃戦仕様) グスタフ・カール
049 ハイアラン・カスタム
050 クシャトリヤ
051 クシャトリヤ・ヘッセルング
052 クシャトリヤ・リペアード
053 シャンブロ
054 系譜図1 [illegible]
056 ギラ・ズール
057 ギラ・ズール(ギルボア機) ギラ・ズール(親衛隊機)
058 ギラ・ズール(アンジェロ・ザウパー専用機)
059 ギラ・ドーガ(袖付き) ギラ・ドーガ(重武装仕様/袖付き)
060 ローゼン・ズール
061 ゼー・ズール
062 ヤクト・ドーガ(袖付き)
063 ドラッツェ(袖付き) ザクIII(袖付き)
064 アイザック(袖付き) マラサイ
065 ザクI・スナイパータイプ ザク・キャノン
066 ディザート・ザク ザク・マリナー
067 ザクII F型 ザク・デザートタイプ
ザクタンク(グリーン・マカク) ザクII改 Bタイプ グフ重装型
068 系譜図4 [illegible]
ドライセン(袖付き)
069 ドワッジ ドム・トローペン
070 系譜図5 [illegible]
ゲルググ(袖付き)
071 リゲルグ(袖付き) デザート・ゲルググ
072 系譜図6 [illegible]
ガザC(袖付き) ガザD(袖付き)
073 ガ・ゾウム(袖付き)
074 系譜図7 [illegible]
ガルスJ ガルスK
075 シュツルム・ガルス ズサ(袖付き)
076 系譜図8 [illegible]
ズゴック
077 ゾゴック ジュアッグ
078 カプール バウ(袖付き) ギガン(袖付き) 量産型キュベレイ
079 イフリート・シュナイト
080 シルヴァ・バレト
081 episode 7 一年戦争の機体群
082 艦艇・大型機
084 小型機・その他
086 主要モビルスーツ設定画稿

[illegible]

096 宇宙世紀100年に刻まれた戦乱の軌跡
098 宇宙世紀の就活戦線
100 人物相関図〈EPISODE 1〉〈EPISODE 2〉
102 EPISODE 1 ユニコーンの日
106 EPISODE 2 赤い彗星
110 人物相関図〈EPISODE 3〉〈EPISODE 4〉
112 EPISODE 3 ラプラスの亡霊
116 EPISODE 4 重力の井戸の底で
120 人物相関図〈EPISODE 5〉〈EPISODE 6〉〈EPISODE 7〉
122 EPISODE 5 黒いユニコーン
126 EPISODE 6 宇宙と地球と
130 EPISODE 7 虹の彼方に
134 コラム リティ作画設定から見るキャラクターの変遷

3rd CHAPTER SPECIAL INTERVIEW

136 スペシャルインタビュー1 小倉信也
140 スペシャルインタビュー2 玄馬宣彦



1st CHAPTER

MOBILE SUIT ANALYSIS

モビルスーツ解析



ユニコーンガンダム

連邦製MSが標準装備する近接戦闘用の機銃 威力は低めたが 運用次第ではMS、致命傷を与えることも可能



FRONT

全高：19.7m
本体重量：23.7t
全備重量：42.7t
ジェネレーター出力：3,480kW
スラスター推進力：142,600kg
センサー有効半径：22,000m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：バナージ・リンクス
武装：60mmバルカン砲 ビーム・サーベル ビーム・マグナム／ハイパー・バズーカ シールド

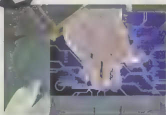
インダストリアル7のアナハイム・エレクトロニクス工業専門学校に通う学生。ユニコーンガンダムに生体データを登録されたため、同機を操縦できる唯一のパイロットとなる。



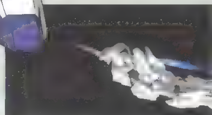
地球連邦軍の「UC計画」に基づいて設計・開発が行われた試作MSの1号機。それまでコックピット周辺の構造材にのみ使用されていたサイコフレームが、機体の基礎構造（ムーバブルフレーム）に使われ、従来MSを遥かに越えた機体追従性を実現している。さらにNT-Dと呼ばれる対ニュータイプ用の特殊システムも搭載する。

UC計画

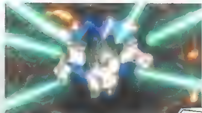
U.C.0100に向けた地球連邦軍の軍備再編計画の一環として立案されたMS開発計画。新たなガンダムの開発を目的として当初、サイコフレームを採用した研究機でのテストを重ね、RX-0 ユニコーンガンダムがつくられ[illegible]が、RX-0 ユニコーンガンダムにはニュータイプ兵器の駆逐を可能とするNT-Dが組みこ[illegible]おり、真の開発目的はジオンが標榜す[illegible]の否定であったともいわ[illegible]。



コロニー崩壊のさなか、父と判明したカーディアスの手でバナージはユニコーンに登録される



学校で通路の窓に光る物体を見つけたバナージ 何かを感知し、幼い記憶が一瞬脳裏をよぎる



▶圧倒的な推進力を誇り、NZ-666 クシャトリヤのファンネル攻撃を簡単に振り切る。



▶ネェル・アーガマでは、極秘開発機のためコックピット開放もままならない。



▶シールド

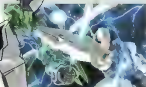
専用の防御装備。Iフィールドジェネレーターを内蔵し、ビーム攻撃を軽減するバリアを展開可能。

REAR



▶ハイパー・バズーカ

地球連邦軍の代表的なMS用兵装をRX-0専用に改修。弾種を変更することで様々な戦況に対応できる。



▶ビーム・サーベル

接近戦用のビーム・サーベルを4基搭載。背面と左右前腕部に折りたたまれた状態で収納されている。

NT-D（ニュータイプ・デストロイヤー・システム）

ユニ[illegible]
対[illegible]
発[illegible]
非[illegible]





ディスプレイに「NT-D」と表示された後、リニアシートがデストロイモード仕様に変形。



内部フレームが拡張し、体型が大きく変化する。装甲の隙間からはサイコフレームが露出。



ガンダムタイプのフェイスが現れ、1本角状だったブレードアンテナはV字型に展開する。

フル・サイコフレーム実験試作MS RX-0

ユニコーンガンダム（デストロイモード）

FRONT

SPEC

全高：21.7m
本体重量：23.7t
全備重量：42.7t
ジェネレーター出力：測定不能
スラスター推進力：測定不能
センサー有効半径：測定不能
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：バナージ・リンクス
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・トンファー／ビーム・マグナム／ハイパー・バズーカ／シールド

MECHANICAL ANALYSIS

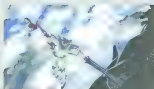
NT-Dが発動した状態。機体の限界性能が引き出され、思考操縦システム「インテンション・オートマチック・システム」の効果と合わせて、人間の知覚を越える機動性能を発揮する。しかし、それはパイロットの肉体への負荷も大きく、稼働限界時間は5分程度とされる。露出するサイコフレームには未解明な部分が多く、赤く発光する理由もわかっていない。



▶ビーム・トンファー
デストロイモード時はビーム・サーベルを腕のホルダーに固定することで、トンファーとして使用可能。



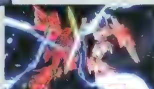
▶ビーム・マグナム
通常のビーム・ライフルの数倍の威力を持つ。エネルギー消費が大きいため、専用の連結式Eパックを使用。



▶バナージの想いがサイコフレームと共鳴し、赤色から緑色へと変化する。



▶ミネバの呼ぶ声を聞いたバナージはNT-Dを発動。見事空中で救い出す。



▶デストロイモードを発動したことで圧倒されていたシナンジュと互角に。

▶ サイコフレームの影響は機体性能の限界を超え、
ネオ・ジオングの装甲を素手で突き破るほどに。

REAR

本体とのサイコフレームの共鳴によって、複数のシールドをファンネルのように遠隔誘導する。

光の結晶体

最終局面で出現したユニコーンガンダムの究[illegible]り[illegible]て、全[illegible]イコ[illegible]大き[illegible]ンと共にコロニーレーザーの直撃を防ぎ、腕を振るだけで敵MSの機能を停止させるという想定外の能力を見せた。

フルアーマー・ユニコーンガンダム



スタークジェガン用の兵装をハイパー・バズーカの側面に装着。高い命中精度を誇る長距離支援武器だ。

全高：19.7m
本体重量：45.1t
全備重量：76.9t
ジェネレーター出力：3,480kW
スラスター推進力：189,700kg
センサー有効半径：22,000m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：バナージ・リンクス
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・マグナム／ハイパー・バズーカシールド／ビーム・ガトリングガン／ハンド・グレネード／対艦ミサイル・ランチャー／グレネード・ランチャー

ネェル・アーガマに搭載された各種MSの武装を流用し、重武装化を図ったRX-0ユニコーンガンダムの決戦用形態。追加装甲はないが、ビーム・ガトリングを付属したシールドを計3つ装備して防御面も強化。追加された武装は残弾がなくなるとデッドウェイト化するため、使い切り次第、パージして使い捨てる想定だ。

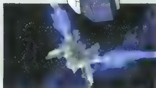
FRONT

REAR





▶非情になりきれないバナージは、ハンシィ・ノルンに対し本気を出せず苦戦する。



▶大型ブースターにより40%近く上昇した推進力で膠着した戦線を切り開く。



本来はジェスタ用。フルアーマーでは、ネェル・アーガマに残っていた武装を可能な限り搭載している。

フルアーマー・ユニコーンガンダム（デストロイモード）

銃身を4本束ねた大型の携行火器を合計6挺装備。クシャトリヤ用に開発されたネオ・ジオン製の武器。



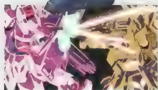
FRONT

全高：21.7m
本体重量：45.1t
全備重量：76.9t
ジェネレーター出力：測定不能
スラスター推進力：測定不能
センサー有効半径：測定不能
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：バナージ・リンクス
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・トンファー／ビーム・マグナム／ハイパー・バズーカ／シールド／ビーム・ガトリングガン／ハンド・グレネード／対艦ミサイル・ランチャー／グレネード・ランチャー

フルアーマーの武装でデストロイモードへ移行した状態。重武装化においてはデストロイモードも想定済みで、問題なく変形可能となっている。フルアーマー化による積載武装の増加で機体重量は倍近くなっているが、背部に装着した94式ベースジャバーのブースターユニットの増設で機動力の低下が補われている。

REAR

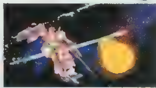




▶バンシィ・ノルンとせめぎ合う中で2機のサイコフレームが共鳴で光り輝く。



▶燃料のなくなったブースターをミサイル代わりに飛ばす、バナージの機転。

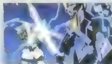


推進能力を持つ小型の特殊榴弾。脚部とバズーカ側面に装着され、使用後はユニットごと切り離される。

ユニコーンガンダム2号機 バンシィ



▶トリントン基地へと舞い降りる黒い姿は悪魔を思わせる。



ユニコーンガンダムと同じく4本を収納。ただしアームド・アーマーVNの都合で扱えるのは右手のみだ。

全高：19.7m
本体重量：24.0t
全備重量：46.7t
ジェネレーター出力：3,480kW
スラスター推進力：142,600kg
センサー有効半径：23,500m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：マリーダ・クルス
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／アームド・アーマーBS／アームド・アーマーVN

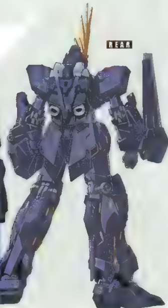


ネオ・ジオンの強化人間で、クシャトリヤのパイロット。地球連邦軍の捕虜となった後にアナハイム・エレクトロニクス社によって再調整を施され、バンシィのパイロットにされてしまう。

UC計画によってRX-0 ユニコーンガンダムと同時期に開発された同型機。基本的には同性能だが、地上での稼働試験による調整や、運用データを反映することで、はるかに完成度の高い機体となった。また、近接、遠距離用の武器となるアームド・アーマーが腕部に装備され、戦闘力も大きく向上している。

FRONT

REAR





▶フル武装のバンシィは脱出を図るユニコーンガンダムを抑えつける。



▶空中戦ではベース・ジャバーが基本。だが短時間なら単体で飛行も可能。

ユニコーンガンダム2号機 バンシィ



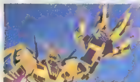
センサーユニットからサイコミュでデータを瞬時伝達することで、高い命中精度を実現したビーム兵器。



全高：21.7m
本体重量：24.0t
全備重量：46.7t
ジェネレーター出力：測定不能
スラスター推進力：測定不能
センサー有効半径：測定不能
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：マリーダ・クルス
武装：60mmバルカン砲／ビーム・トンファー／アームド・アーマーBS／アームド・アーマーVN

NT-Dの発動によって変形したバンシィの真の姿。通常の操縦方式にインテンション・オートマチック・システムが加わり、手動時を大きく上回る反応精度と動作速度を可能にする。装甲の隙間から露出したサイコフレームはRX-0 ユニコーンガンダムと異なり黄金色に発光するが、その理由は不明。

4本のクローで相手の装甲を切り裂く増加サイコフレーム兵器。超振動で接触した物の内部構造を破壊する。







マリーダの暴走は破壊を呼び友軍の機体までも手にかけてしまう。



共鳴によってサイコフィールドが発生。2つの機体が輝きを増した。

ユニコーンガンダム2号機 バンシィ・ノルン

瞬光式徹甲榴弾（MGaAP）、ポップ・ミサイルなど、複数の武装を選択可能。



FRONT

全高：19.7m
本体重量：27.3t
全備重量：48.8t
ジェネレーター出力：4,520kW
スラスター推進力：185,380kg
センサー有効半径：28,600m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：リディ・マーセナス
武装 ： 60mmバルカン砲／シールド／ビーム・サーベル／ビーム・マグナム／ビーム・ジュッテ／ポップ・ミサイル／MGaAP／アームド・アーマーDE／メガ・キャノン／アームド・アーマーXC

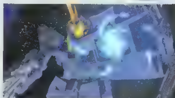


地球連邦軍のMSパイロット。アナハイム・エレクトロニクス社幹部であるアルベルトの独断でバンシィ・ノルンに抜擢され、インダストリアル7の最終決戦へと乗りこむ。

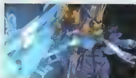
バンシィを改修し、機能拡張と性能向上を図った機体。各部の調整に加え、新武装としてビーム・マグナム下部にリボルビング・ランチャーが追加され、攻撃の幅がさらに広がっている。またシールドも、展開式スラスターとメガ・キャノンを搭載したアームド・アーマーDEとなり、機動力強化、広域攻撃力が強化された。



アームド・アーマーDEに内蔵された大出力ビーム砲。先端に発射口があり、広い範囲へ攻撃できる。





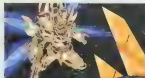


▶ユニコーンモードでもMSの腕を難なく引きちぎる。



▶バナージを憎むリディはバンシィを疾駆させる。

ユニコーンガンダム2号機 バンシィ・ノルン

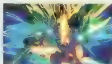


ジェネレーターを強化した増加サイコフレーム兵装。たてがみのように開いてサイコミュ感応波を感知する。

FRONT

バンシィ・ノルンは、背部のアームド・アーマーXCによりサイコミュ感応波の送受信能力と親和性を強化したことで、ニュータイプではないパイロットでも、デストロイモードへの移行が可能に。リディがバナージのRX-0 ユニコーンガンダムに対抗できたのも、この恩恵による部分が大きい。

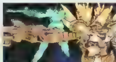
シールドの機能を拡張する増加サイコフレーム兵装。6ヵ所のスラスターで行動半径が大きく広がる



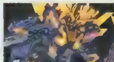




▶リディの想いに反応しサイコフレームが緑色へ。



▶ニュータイプへと覚醒しバナージと共闘するリディ。



▶バナージへの憎悪がNT-Dを発動させる。



全高：21.7m
本体重量：27.3t
全備重量：48.8t
ジェネレーター出力：測定不能
スラスター推進力：測定不能
センサー有効半径：測定不能
装甲材質：ガンダリウム合金

パイロット：リディ・マーセナス
武装：60mmバルカン砲／シールド／ビーム・サーベル／ビーム・トンファー／ビーム・マグナム／リボルビング・ランチャー／ビーム・ジュッテ／ポップ・ミサイル／MGaAP アームド・アーマーDE／メガ・キャノン／アームド・アーマーXC

ネオ・ジオン　ニュータイプ専用MS　MSN-06S
シナンジュ

SPEC
- 全高：22.6m
- 本体重量：25.2t
- 全備重量：56.9t
- ジェネレーター出力：3,240kW
- スラスター総推力：128,600kg
- センサー有効半径：23,600m
- 装甲材質：ガンダリウム合金
- パイロット：フル・フロンタル
- 武装：60㎜バルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・アックス／ビーム・ナギナタ／ビーム・ライフル／バズーカ／グレネード・ランチャー／シールド

PILOT
フル・フロンタル 大佐



「赤い彗星の再来」と呼ばれ、高いカリスマ性で「袖付き」と仇名されるネオ・ジオン残党軍を率いる。MS操縦技量も非常に高く、シナンジュ1機で連邦の巡洋艦2隻を沈めた実績を持つ。

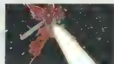
MECHANICAL ANALYSIS

UC計画に基づき開発中だった試作MSを、ネオ・ジオンが強奪して改修を加えた機体。ムーバブルフレームの一部にサイコフレームが組みこまれ、脚部と背部には大型推進装置フレキシブル・スラスターを装備。通常のMSをはるかに越える機動性と戦闘力で地球連邦軍を圧倒する。

▶ビーム・アックス
シールド裏に2基装備している近接戦闘用のビーム斧。シールドに装備したままでも使用できる。



▶ビーム・ライフル
シナンジュ専用に開発されたビーム射撃兵器。サイトセンサーを取り付ければ遠距離射撃にも対応する。



FRONT



▶バズーカ
ロケット・バズーカとも呼ばれるシナンジュ専用の実体弾式バズーカ。ビーム攪乱幕を使う相手に有効。

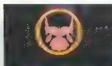
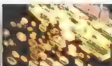


▶シナンジュへ迫る攻撃も本体の両腕で難なく迎撃し鉄壁の構え。



▶フル・フロンタルの技量により超長距離でも驚異の射撃精度を誇る。

REAR

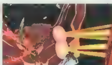



▶サイコシャード発生器

肩部側面に装備する新型サイコミュ兵装。シナンジュのサイコフレームと共鳴して単機でサイコフィールドに近い現象を発生させるが、不明な点も多い。

▶肩部大型メガ粒子砲

計4門を内蔵。火力は腹部の大口径ハイ・メガ粒子砲に劣るが、収束・拡散の選択が可能で広範囲へも攻撃可能。



FRONT

REAR

ネオ・ジオン　ニュータイプ専用MA　NZ-999

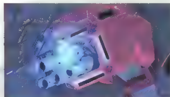
ネオ・ジオング

SPEC

全高：116.0m
全長：58.0m
本体重量：153.8t
全備重量：324.3t
ジェネレーター出力：35,660kW（測定不能）
スラスター推進力：28,827,500kg（測定不能）
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：フル・フロンタル
武装：有線式大型ファンネル・ビット／肩部大型メガ粒子砲／腰部Iフィールド・ジェネレーター／大口径ハイ・メガ粒子砲／サイコシャード発生器　60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／バズーカ／シールド

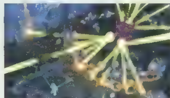
MECHANICAL ANALYSIS

フル・フロンタル専用に開発された巨大モビルアーマー。MSN-06Sシナンジュをコアユニットとして、ハル（外殻）ユニットを組み合わせる独特の機体構成となっている。大口径ハイ・メガ粒子砲などの重火力と大型スラスターによる大推力を併せ持つネオ・ジオン最強の機体。足のようなプロペラントタンクを切り離すと、接続部に新たなメインスラスターが出現する。

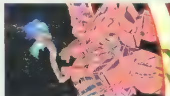


▶有線式大型ファンネル・ビット

遠隔操作が可能なサイコミュ兵装。ビーム発射機能の他、相手の操作系統を乗っ取る電子デバイスも内蔵。



▶肩と腰のメガ粒子砲もフル・フロンタルのサイコミュによって全方位攻撃を可能とする。



▶腰部スカート内のランディングギアを使いユニコーンを簡単に捕捉してしまった。

系譜図① Zガンダムの系譜

遠い作戦宙域へ、艦艇なしに単独でMSを送りこむことを目的としたZ計画の可変MS群。その進化の系譜をたどる。

RGZ 95C
リゼルC型
(ゼネラル・レビル配備機)
→P032

仕様変更

RGZ 95C
リゼルC型
[illegible]
→P032

指揮官機仕様に改造

RGZ-95
リゼル
→P031

MSN-001A1
デルタプラス
→P033

生産機の実現

MSN-001
デルタガンダム
本来、百式が可変型MSとして設計されていた頃の名称。プラン通りの実現はならず、実機として存在していない。

可変機構を断念

MSN-00100
百式
非可変型MSとして再設計された実験機。姿勢制御機構の補助装備、ウイング・バインダーによる高機動を実現

実戦データのフィードバック

技術データのフィードバック

運動機構を流用

MSZ 006A1
Zプラス
→P034

大気圏内用に量産化

技術の向上

RGZ-91
リ・ガズィ
→P035

簡易生産量産化

MSZ-006
Zガンダム
Z計[illegible]三世代M[illegible]の後の設計思想に多大な影響を与える。

巡航機構の流用

FXA 05D
Gディフェンサー
第二世代MSであるガンダムMk-Ⅱの、装甲や武装強化、そして航続力向上を狙ったオプション機として開発された。

近代化改修・高性能化

部品共通化

共同運用コンセプト
部品共通化

RGM 89
ジェガン
ジム・シリーズに変わる次世代機として開発された汎用機。リ・ガズィも生産性向上のため、パーツを共有している。

MSA 005K
ガンキャノン・ディテクター
→P035

技術流用・砲撃戦仕様に改造

可変技術の流用

MSA-005
メタス
Z計画で初めて可変機構の搭載に成功した実験機。装甲は薄く主戦力になりえないが、補助機として活躍した。

可変機構・センサー機構を流用

ラプラスの箱を巡る戦い

第一次～第二次ネオ・ジオン戦争

グリプス戦役

地球連邦軍 量産型可変MS RGZ-95

リゼル

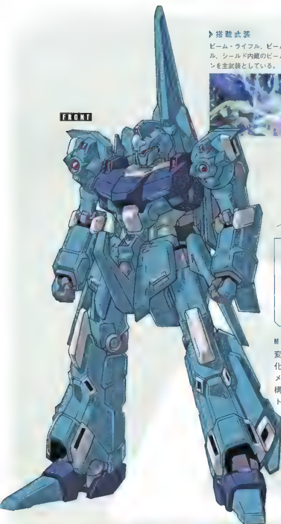
SPEC

全高：20.5m
本体重量：25.8t
全備重量：57.6t
ジェネレーター出力：2,220kW
スラスター推進力：81,500kg
センサー有効半径：14,920m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：リディ・マーセナス、ホマレ、地球連邦軍パイロット
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ロング・ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／グレネード・ランチャー／ビーム・キャノン／シールド



▶搭載武装
ビーム・ライフル、ビーム・サーベル、シールド内蔵のビーム・キャノンを主武装としている。

FRONT



PILOT

リディ・マーセナス

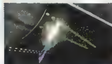


地球連邦軍ロンド・ベル隊に所属するMSパイロット。初代地球連邦首相であるリカルド・マーセナスの子孫にあたり、代々政治家を輩出してきたマーセナス家を飛び出して軍人となった。

MECHANICAL ANALYSIS

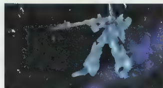
変形で戦地への高速移動を可能としたMSZ-006 Zガンダムの量産化を目的に開発。RGZシリーズに連なる可変MSだが、MSA-005 メタスを参考に単体でウェイブライダー形態へと移行する変形機構を採用し、量産機であるRGM-89 ジェガンと部品を共有。コストダウンと高い整備性を実現した。

▶機動力と数で敵機を圧倒
インダストリアル7外部での戦いでは、機動力を活かした連携でネオ・ジオンのギラ・ズールを圧倒した。

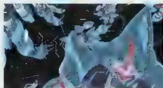


REAR





▶整備性の高さは装備の柔軟性へとつながる。C型用の長距離砲も共通で使用可能だ。



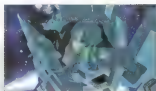
▶機体帰還率を上げるためのダミー・バルーン。非常に精巧でMSのカメラを惑わすには十分。

FLIGHT FORM





▶ジェガンとの連携
作戦行動の際にはウェイブライダー形態で他の機体を乗せることで、サブ・フライト・システムの代わりを務めることも可能。



▶通常機との差異

センサー類の色とバックパックに搭載されたウィング・ユニットが、通常機と比較した際の特徴となっている。



地球連邦軍 量産型可変MS RGZ-95C

リゼルC型（隊長機）

SPEC

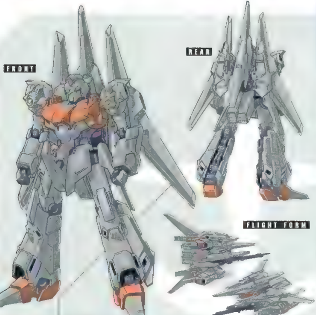
全高：20 5m
本体重量：28.1t
全備重量：62.8t
ジェネレーター出力：2,220kW
スラスター推進力：85,400kg
センサー有効半径：14,920m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル
ロング・ビーム・サーベル
ビーム・ライフル
グレネード・ランチャー
ビーム・キャノン
シールド

PILOT

ノーム・バシリコック 少佐

MECHANICAL ANALYSIS

リゼルの指揮官仕様。一般パイロット用にデチューンされている通常のリゼルに対し、このC型はスラスター推力のリミッター解除や高推力に耐えるためのフレーム補強など、エースパイロット向けの調整が施されている。



地球連邦軍 量産型可変MS RGZ-95C

リゼルC型（ゼネラル・レビル配備機）

SPEC

全高：20.5m
本体重量：28.1t
全備重量：62.8t
ジェネレーター出力：2,220kW
スラスター推進力：85,400kg
センサー有効半径：14,920m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ロング・ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／グレネード・ランチャー
ビーム・キャノン／シールド

MECHANICAL ANALYSIS

地球連邦軍のドゴス・ギア級戦艦「ゼネラル・レビル」に所属するリゼル。基本性能はC型と変わらないが、機体の基本色がグレー、胸部がオレンジ、センサーがイエローに変更されている。また、より短時間での戦場到達を可能にする強襲用のディフェンサーユニットも存在。ゼネラル・レビルからは、長距離用の兵装が施されたディフェンサーbユニットに換装した機体も出撃していた。



▶ディフェンサーbユニット

中・長距離戦闘仕様のバックパックユニット。ユニット内のジェネレーターによって、武装の稼働効率強化が図られている。

地球連邦軍 試作可変MS MSN-001A1

デルタプラス

SPEC

全高：19.6m
本体重量：27.2t
全備重量：60.8t
ジェネレーター出力：2,360kW
スラスター推進力：92,400kg
センサー有効半径：16,200m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：リディ・マーセナス
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／グレネード・ランチャー／ビーム・キャノン／シールド

PILOT

リディ・マーセナス 少尉



搭乗していたリゼルの中破により、デルタプラスへと乗り換えることに。デルタプラスの大気圏突入能力を使い、ミネバを連れて地球にいる父のもとへと向かう。

MECHANICAL ANALYSIS

「Z計画」で企画され、MSN-00100 百式の元となったMSN-001 デルタガンダムの設計思想を、可変機構まで忠実に継承した実験機的な側面の強いMS。背部のフレキシブル・バインダーの搭載で、ウェイブライダー時はMSZ-006 Zガンダムに勝る飛行性能を見せた一方、規格外部品の多用による整備性の低さなどの問題も。

FRONT

▶多数の搭載武装

リゼルと共通のビーム・ライフルに加え、シールド内蔵のビーム・キャノン、グレネード・ランチャーなどを搭載している。





▶ビーム・マグナム

RX-0 ユニコーンガンダムのビーム・マグナムを使用した際は、射撃の負荷に耐えきれず右腕部が機能不全を起こした。



FLIGHT FORM







▶バンシィの暴走

暴走したRX-0 バンシィによるアームド・アーマーVNの攻撃を受け、大破した。



▶大気圏突入能力

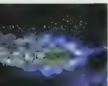
ウェイブライダーに変形することでオプションなしでの大気圏への突入、および1G重力下での飛行が可能。

REAR





▶バナージの考えを否定はしつつもリディはユニコーンガンダムと連携し戦う。



▶地球への帰還を急ぐリディは、シャクルズをブースターとして用いた。

地球連邦軍 量産型可変MS MSZ-006A1

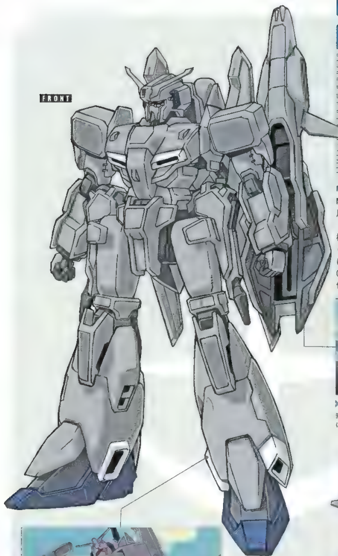
Zプラス

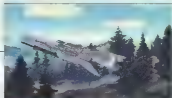
SPEC

全高：19.86m
本体重量：32.7t
全備重量：68.4t
ジェネレーター出力：2,070kW
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ビーム・キャノン／シールド

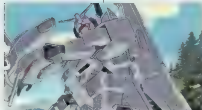
MECHANICAL ANALYSIS

MSZ-006 Zガンダムのウェイブライダー形態に有用性を見出したカラバが、アナハイム・エレクトロニクス社と共にZガンダムを大気圏内専用機として再設計した機体。コストダウンが試みられた結果一定数が量産され、グリプス戦役後には地球連邦軍にも正式採用されている。U.C.0096においては、シャイアン基地に数機が配備されていた。





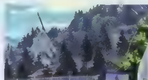
ウェイブライダー
変形MSの中でも、大気圏内における長距離巡航能力はとても高い。機動力を活かした戦局対応に優れる。



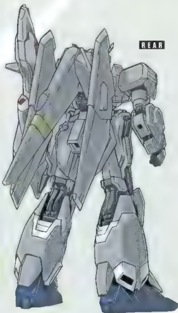
機体バリエーション
シャイアン基地に配備されていた機体は大気圏内での運用を想定したA1型だが、機体やセンサーのカラーリングは地球連邦軍シャイアン基地独自のもののようだ。



不意を突かれ抵抗できずロンド・ベル隊に制圧される。



リゼルと同型のビーム・ライフルで武装共有によるコストダウンを実行。





▶ヒーム・キャノン
両肩に2門備えた固定武装。中距離以上での威嚇や援護、対空砲撃などがおもな用途だ。

▶砲撃形態
砲撃時には腰部から補助脚が展開され、椅子に腰掛けるような姿勢で固定砲台として戦闘を行える





▶砲撃戦用MSでチームを組み、敵を待ち構える



地球連邦軍 量産型MS MSA-005K

ガンキャノン・ディテクター

SPEC

全高：18.5m
本体重量：34.3t
全備重量：54.5t
ジェネレーター出力：1,780kW
スラスター推進力：64,600kg
センサー有効半径：9,200m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：60mmバルカン砲／ビーム・キャノン／ビーム・ライフル／ビーム・ガン

MECHANICAL ANALYSIS

グリプス戦役時に活動した反連邦組織のカラバが、エゥーゴからの技術供与を受けて開発した砲撃支援用MS。MSA-005 メタスの可変機構を、飛行ではなく砲撃時の姿勢制御に利用しているのが特徴だ。その思いきりのよい技術の転用法は、重力のある地球圏を活動の場とした、カラバならではの設計思想といえる。





▶ＵＣ0096のリ・ガズィ
ラー・カイラムの格納庫に鎮座するリ・ガズィは、カラーリングが第二次ネオ・ジオン戦争時の機体とは異なる。

地球連邦軍 量産型MS RGZ-91

リ・ガズィ

SPEC

全高：20.5m
本体重量：24.7t
ジェネレーター出力：2,550kw
スラスター総推力：67,600kg
装甲材質：ガンダリウム合金
開発組織：アナハイム・エレクトロニクス社

MECHANICAL ANALYSIS

高性能ながら高コストだったMSZ-006 Ζガンダムの量産化を目的にしたRGZシリーズの中の1機。MS本体に変形機構を持たせるのではなく、大型のブースターと強力な重火器を搭載したオプションパーツのBWS（バック・ウェポン・システム）を装備することで戦闘機形態を取り、長距離の高速移動を実現している。

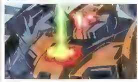
系譜図② ジムの系譜

高性能機体を大量生産する戦争の強さを見せた地球連邦軍のジム。戦いを優位に進める地球連邦軍量産型MSの変遷を読む。

NRX-044
アッシマー
初めて大気圏内の単独長距離飛行を成功させた、可変型試作MA。ニュータイプ研究所本部が開発を担当した。

高性能化

MSA-004K
ネモⅢ →P046



後方支援仕様に改造

MSA-003
ネモ →P046



推進機構を流用

RGM-79SP
ジム・スナイパーⅡ
索敵機能を強化し、狙撃任務も可能なエースパイロット用カスタム機。バーニアを多数搭載し、機動性も高い。

エース・カスタム化

RGM-79G/GS
ジム・コマンド
拠点防衛任務に特化した機体で、コロニー内と宇宙空間では仕様が異なる。次期量産機のデータ取得も兼ねていた。

高性能化

RGM-79D
ジム寒冷地仕様
ジムの後期生産型をベースに改良、寒冷地での運用を目指した機体。スラスター、通信機能が強化されている。

改良・寒冷地仕様に改造

設計流用・高性能化

RGM-86R
ジムⅢ →P045



技術統合・高性能化

近代化改修・高性能化

RMS-179/RGM-79R
ジムⅡ →P044



近代化改修・高性能化

RGM-79
ジム
地球[illegible]力
MS[illegible]
スに[illegible]
初は[illegible]
が出[illegible]で
力を発揮した。

水陸両用に改造

現地仕様変更

RMS-179
ジムⅡ・セミストライカー
→P044



RAG-79
アクア・ジム
→P045



フィードバック・簡易量産化

技術流用

RX-178
ガンダムMk-Ⅱ
ガンダムの正統後継機として、旧ジオン技術体系を排して開発された。ムーバブルフレームを本格採用した初のMS。

高性能化

RX-78
ガンダム
地球連邦軍がMSの戦力化を目指したRX計画で完成した実験機。性能は驚異的で、素人の操作でザクを圧倒したほど。

第一次～第二次
ネオ・ジオン戦争

グリプス戦役

一年戦争

RGM-96X
ジェスタ・キャノン
→P042

RGM-89De
ジェガン（エコーズ仕様機）コンロイ機
→P041

仕様変更

RGM-89De
ジェガン
（エコーズ仕様機）
→P041

RAS-96
アンクシャ →P043

RGM-89A2
ジェガンA2型
→P039

部品共通化

砲撃戦仕様に改造

特殊任務仕様に改造

RGM-96X
ジェスタ→P042

高性能化

RGM-89D
ジェガンD型 →P038

マイナーチェンジ

マイナーチェンジ

RGM-89
ジェガン
ジムに代わる次世代機。ジムとネモの設計思想を統合して信頼性を高めている。戦乱も少なく、数十年にわたり運用された。

対艦攻撃用に改造

偵察任務仕様に改造

FD-03
グスタフ・カール
→P048

RGM-89S
スタークジェガン
→P040

RGM-89S
プロト・スターク
ジェガン→P040

実戦データを反映

機体を流用

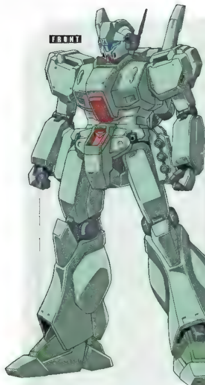
RGM-89DEW
EWAC ジェガン
→P039

コンセプト継承

ラプラスの箱を巡る戦い

地球連邦軍 量産型MS RGM-89D

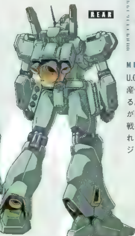
ジェガンD型





▶マウントラッチ

D型は肩部や股間部のマウントラッチを使用して、増加装甲や各種武装を搭載できる。



SPEC

全高：19.0m
本体重量：21.3t
全備重量：47.3t
ジェネレーター出力：1,870kW
スラスター推進力：62,000kg
センサー有効半径：16,800m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：バルカン・ポッド・システム／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ハンド・グレネード／シールド

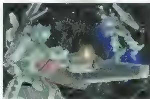
MECHANICAL ANALYSIS

U.C.0096の地球連邦軍主力MS。高い汎用性と生産性を持ち、長期的運用を目的に設計されている。優秀な基本性能を持つことと、地球連邦軍が軍縮を推し進めていた時代背景から、多彩な戦術に対応するバリエーション機たちが開発された。このD型は、高機動戦闘用の「スタークジェガン」への換装を前提とした機種である。



▶ビーム・サーベル

近距離での主力武装、ビーム・サーベル。ジェガンはバックパックではなく、腰の右側にあるラックにサーベルを収納している。



▶シールド

シールドにはミサイル・ランチャーが装備されている。ハンド・グレネードとともに、ビーム兵器への耐性が高い機体対策だ。

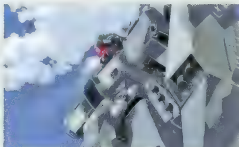


▶RX-0 フルアーマー・ユニコーンガンダムのブースター装着を補助するD型。



▶迷彩塗装

シャイアン基地に配備されている機体は、地球上という環境をふまえグレーを基調としたカモフラージュ塗装がされている。



▶装備品の流用

規格の統一が進んだからかU.C.0080年代に地球連邦軍のマラサイなどが使用していたビーム・ライフルを装備している。



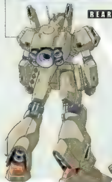
▶増設されたスラスター

バックパックの左右のスラスターは、各1基ずつ増設されている。

▶カラーリング

リゼルC型と同様に、ゼネラル・レビル配備機は専用のカラーリングになっている。





地球連邦軍 量産型MS RGM-89A2

ジェガンA2型

SPEC

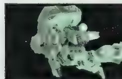
全高：19.0m
本体重量：24.2t
全備重量：50.6t
ジェネレーター出力：1,980kW
スラスター推進力：65,800kg
センサー有効半径：16,300m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：バルカン・ポッド・システム／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ハンド・グレネード／シールド

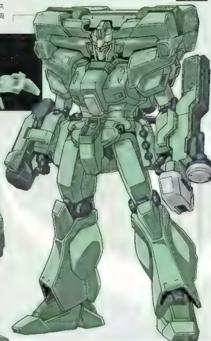
MECHANICAL ANALYSIS

初期型のRGM-89 ジェガンをベースとした改良機。推進力を強化し、肩部やバックパックなどにスラスターを増設することで、機動力を向上させている。他にも大型シールドの装備やバルカン・ポッド・システムへのセンサー追加など、D型とは違うRGM-89ジェガンの後の進化の系譜を拡大する要素を多く確認することができる。

▶センサー・ユニット

多くの監視用電子機器を搭載するセンサー・ユニットは非常に巨大。スラスターや手足と干渉しないよう両肩に乗せる形で装備する。







地球連邦軍 偵察用MS RGM-89DEW

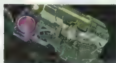
EWACジェガン

SPEC

全高：19.5m
本体重量：24.4t
全備重量：45.5t
ジェネレーター出力：1,870kW
スラスター推進力：62,000kg
センサー有効半径：38,400m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：ビーム・サーベル／ハンド・グレネード

MECHANICAL ANALYSIS

偵察任務に特化した装備を搭載する、RGM-89DジェガンD型をベースとする偵察用MS。頭部と左腕に大型のセンサー・ユニットを備え、右手にはカメラを装備。レーザー通信装置を使い、戦場の状況をいち早く伝える。武装は最小限だ。

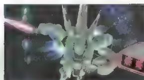


▶レーザー通信装置

ネェル・アーガマに配備された本機は、ネオ・ジオン艦隊の情報を母艦へと送信し、ハイパー・メガ粒子砲の砲撃をサポートした。

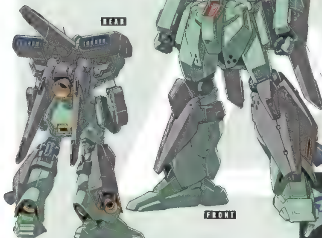
地球連邦軍 対艦攻撃用MS RGM-89S

スタークジェガン



3連装ミサイル・ポッド

ミサイル・ポッドは戦闘中でも分離可能。ネェル・アーガマ所属機のように、スラスターユニットのみを装着する例もある。



SPEC

全高：19.2m
本体重量：28.4t
全備重量：68.1t
ジェネレーター出力：1,870kW
スラスター推進力：76,600kg
センサー有効半径：16,800m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：バルカン・ポッド・システム／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／グレネード・ランチャー／3連装ミサイル・ポッド／ハイパー・バズーカ

MECHANICAL ANALYSIS

対艦攻撃を想定し、RGM-89D ジェガンに増加装甲や3連装ミサイル・ポッド、大型のスラスターなどの追加装備を装着した強化仕様機。各装備は弾切れ時や被弾時に切り離すこともでき、機体バランスの変化も事前から想定されている。

対ファンネル戦闘

ガランシェール追撃でクシャトリヤと交戦したロンド・ベル隊のパイロットは、ハイパー・バズーカの散弾でファンネルを迎撃するというテクニックを見せた。

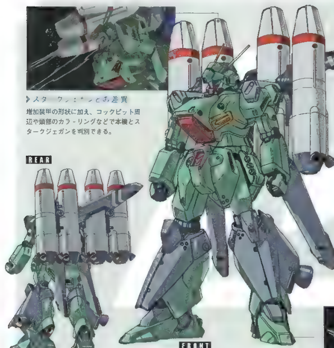
地球連邦軍 対艦攻撃用MS RGM-89S

プロト・スタークジェガン



スタークジェガンとの差異

増加装甲の形状に加え、コックピット周辺や頭部のカラーリングなどで本機とスタークジェガンを判別できる。



SPEC

全高：19.2m
本体重量：29.1t
全備重量：69.8t
ジェネレーター出力：1,870kW
スラスター推進力：78,500kg
センサー有効半径：20,700m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／60mmバルカン砲／ハンド・グレネード／大型対艦ミサイル／ハイパー・バズーカ／マシン・キャノン

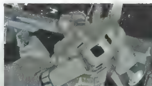
MECHANICAL ANALYSIS

その名の通り、スタークジェガンのプロトタイプにあたる試験機体。ベースはRGM-89 ジェガンで、大型の対艦ミサイルの運用にあたり、機体操縦担当と火器管制担当の2人のパイロットの搭乗を想定した複座型コックピットを搭載。



別装備

対艦ミサイルではなく、スタークジェガンの3連装ミサイル・ポッドを装備することも可能。



頭部センサー
バルカン・ポッド・システムは排され、サバイバビリティ向上のためにバイザー式のセンサーが装備されている。



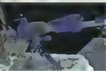


地球連邦軍 特殊部隊用MS RGM-89De

ジェガン（エコーズ仕様機）

SPEC
全高：19.0m
本体重量：22.8t
全備重量：49.5t
ジェネレーター出力：1,870kW
スラスター推進力：62,000kg
センサー有効半径：20,160m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材＋一部ガンダリウム合金
パイロット：エコーズパイロット
武装：ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ハンド・グレネード／メガ・バズーカ・ランチャー

MECHANICAL ANALYSIS
ネオ・ジオンの残党狩りを目的に組織された地球連邦軍の特殊部隊ECOAS（エコーズ）隊員が使用した機体。少数精鋭の部隊運用に合わせ、頭部のバイザー式追加センサーや増加装甲など、諜報能力や生存率を高める装備を備える。



メガ・バズーカ・ランチャー
「袖付き」との戦闘では、グリプス戦役時に使用されたメガ・バズーカ・ランチャーで支援砲撃を行った。

ファイア・ナッツ
破片と火炎で敵MSを攻撃する手榴弾の一種。同種のものを地球連邦軍のガンキャノン重装型などが装備している。







地球連邦軍 特殊部隊用MS RGM-89De

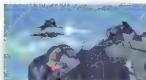
ジェガン（エコーズ仕様機）コンロイ機

SPEC
全高：19.0m
本体重量：22.8t
全備重量：49.5t
ジェネレーター出力：1,870kW
スラスター推進力：62,000kg
センサー有効半径：20,160m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材＋一部ガンダリウム合金
パイロット：コンロイ・ハーゲンセン
武装：ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ハンド・グレネード／メガ・バズーカ・ランチャー／ハンド・ガン／ファイア・ナッツ／ダガー・ナイフ



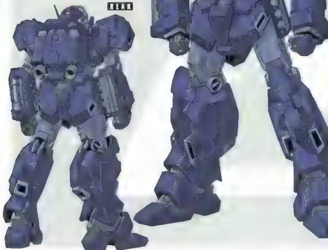
PILOT
コンロイ・ハーゲンセン 少佐

MECHANICAL ANALYSIS
コンロイの得意戦法からハンド・ガン、ダガー・ナイフ、ファイア・ナッツなどの近接戦闘を想定した武装を揃えている。また、頭部のバイザーも狙撃任務用のレンズを備えた特別製だ。



▶トライスター

ロンド・ベル隊のラー・カイラムに配備された本機には、エースパイロット部隊「トライスター」の3人が搭乗した。



地球連邦軍 特殊作戦用MS RGM-96X

ジェスタ

SPEC

全高：19.3m
本体重量：24.8t
全備重量：57.2t
ジェネレーター出力：2,710kW
スラスター推進力：89,030kg
センサー有効半径：14,200m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材＋一部ガンダリウム合金
パイロット：ナイジェル・ギャレット、ダリル・マッギネス、ワッツ・ステップニー
武装：バルカン・ポッド・システム／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ハンド・グレネード／シールド

PILOT

ナイジェル・ギャレット 大尉、ダリル・マッギネス 中尉、ワッツ・ステップニー 中尉

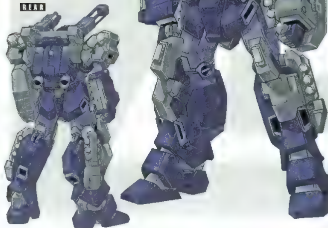
MECHANICAL ANALYSIS

「UC計画」にのっとりRX-0 ユニコーンガンダムの護衛機として開発。その用途上非常に高いスペックを持ち、RX-93 νガンダムの9割に達する高性能を実現。同世代において最上級機にあたる。



▶ビーム・キャノン

右肩のビーム・キャノンは最大火力を誇る主力武装。左肩の4連マルチ・ランチャーは中距離での支援に使う。



地球連邦軍 特殊作戦用MS RGM-96X

ジェスタ・キャノン

SPEC

全高：19.3m
本体重量：39.7t
全備重量：75.4t
ジェネレーター出力：2,710kW
スラスター推進力：89,030kg
センサー有効半径：14,200m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材＋一部ガンダリウム合金
パイロット：ワッツ・ステップニー
武装：バルカン・ポッド・システム／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ハンド・グレネード／グレネード・ランチャー／ビーム・キャノン／4連マルチ・ランチャー

PILOT

ワッツ・ステップニー 中尉

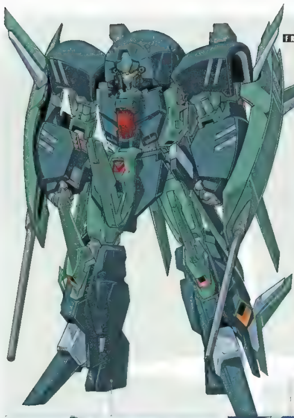
MECHANICAL ANALYSIS

RGM-96X ジェスタの火力・装甲強化仕様。機体各部に追加装甲や武装を装着して攻撃と防御の両面を補強。中距離での砲撃支援を主任務としつつも、性能を活かして前線での対艦攻撃も行える。

地球連邦軍 量産型可変MS RAS-96

アンクシャ

FRONT



SPEC

全高：22.3m
本体重量：28.3t
全備重量：43.9t
ジェネレーター出力：2,200kw
スラスター総出力：79,600kg
センサー有効半径：14,200m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：60㎜バルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ムーバブル・シールド・バインダー

MECHANICAL ANALYSIS

グリプス戦役時に開発されたNRX-044 アッシマーの後継機。整備の効率化や生産性を高めるためにRGZ-95 リゼルとの規格の共有化が進められている。モノアイの変更などはジオン系の意匠にアレルギーを持つ地球連邦軍上層部の意向が働いたという説もあるが真偽は不明。MA形態時は他のMSを搭載し、サブフライトシステム的な運用がなされることもある。

REAR

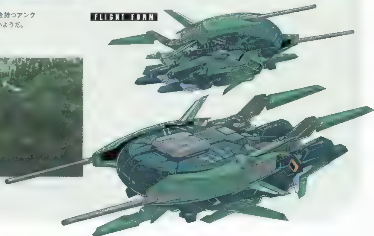




▶アッシマーの弱点を克服
アッシマーが持っていなかったビーム・サーベルを装備し、近接戦闘もできるようになった。

▶果たして戦果は
大気圏内で自由に大空を舞うアドバンテージを持つアンクシャだが、UC計画の機体相手にはやや分が悪いようだ。

FLIGHT FORM





▶地球連邦軍航空部隊の要
ラプラスの箱を巡る戦いにおける、連邦軍航空部隊の主力として登場する場面も。

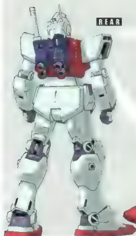
地球連邦軍　量産型MS　RMS-179

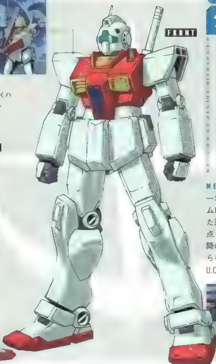
ジムII



▶流用できる多彩な武装

湾岸防衛用の機体はバズーカだけでなくハープーン・ガンを装備する機体もいた。





SPEC

全高：18.1m
本体重量：40.5t
全備重量：58.7t
ジェネレーター出力：1,518kw
スラスター総出力：62,000kg
センサー有効半径：8,800m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：60㎜バルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／シールド

MECHANICAL ANALYSIS

一年戦争で地球連邦軍の主力だったRGM-79 ジムに、全天周モニターやリニア・シートといった近代化改修を施した機体。グリプス戦役の時点で旧型化し、主力の座をRGM-86R ジムIII以降の機体に譲っている。しかし、その配備数から各基地に実働可能な機体がまだ多数存在し、U.C.0090年代中期以降も使用されている。



▶ジムIIIと小隊を編成

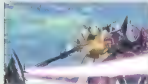
ジムIIIと共にジオン残党軍を迎撃。後継機を援護する立ちまわりを期待されていたのかもしれない。

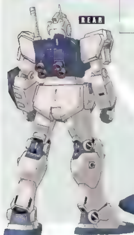
地球連邦軍　量産型MS　RMS-179

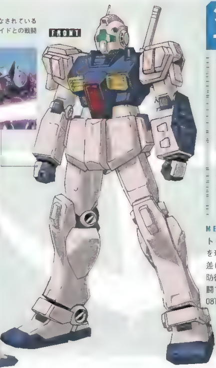
ジムII・セミストライカー

▶白兵戦で性能を発揮

OSが近接戦闘に特化した書き換えがなされているともいわれるが、イフリート・シュナイドとの戦闘では惜しくも撃破される。







SPEC

全高：18.1m
本体重量：43.5t
全備重量：57.5t
ジェネレーター出力：1,518kw
スラスター総出力：62,000kg
センサー有効半径：8,800m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材＋一部ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：60㎜バルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ツイン・ビーム・スピア／シールド

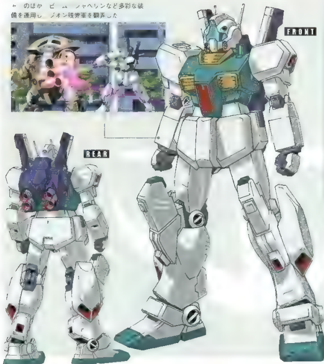
MECHANICAL ANALYSIS

トリントン基地に配備されたRMS-179 ジムIIを現地改修した機体。基本的にジムIIとの性能差はないが、両肩と左前腕に装甲が追加され、防御力が補強されている。ジオン残党軍との戦闘では、ツイン・ビーム・スピアを装備しMS-08TX/S イフリート・シュナイドと対峙した。

▶豊富な武装で敵を翻弄

肩のミサイル・ポッド、腰のミサイル・ランチャーのほか、ビーム・ジャベリンなど多彩な装備を運用し、ジオン残党軍を翻弄した





地球連邦軍　量産型MS　RGM-86R

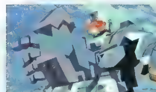
ジムIII

SPEC

全高：18.0m
本体重量：38.6t
全備重量：56.2t
ジェネレーター出力：1,560kw
スラスター総出力：81,200kg
センサー有効半径：10,900m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材＋一部ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：60㎜バルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ジャベリン／ビーム・ライフル／大型ミサイル・ランチャー／ミサイル・ポッド／シールド

MECHANICAL ANALYSIS

RMS-179 ジムIIに、さらなる改修をほどこした量産型MS。RX-178 ガンダムMk-IIやRMS-154 バーザムなどグリプス戦役時のMSで培われた技術を転用することで高性能を獲得する。機体各所にミサイル・ポッド、大型ミサイル・ランチャーなどのオプション兵器の装備が可能で、高い戦闘力を誇る。しかし現在はさらなる高性能機RGM-89D ジェガンの登場で、機種転換が進められている。



▶ハンド・アンカー

前腕に装備されたハンド・アンカーは水中で敵機を捕らえる装備。近いサイズのMSならば有効だが、シャンブロに対してはサイズ差がありすぎたようだ。



地球連邦軍　量産型水中用MS　RAG-79

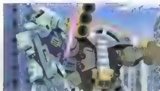
アクア・ジム

SPEC

全高：18.0m
本体重量：49.5t
全備重量：64.3t
ジェネレーター出力：1,280kw
スラスター総出力：89,500kg
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：ビーム・ピック／ハンド・アンカー／ミサイル・ランチャー／ハープーン・ガン／魚雷ポッド

MECHANICAL ANALYSIS

一年戦争時代、ジオン軍の水陸両用MSに対抗すべく、RGM-79 ジムをベースに開発された水中用MS。水中推進用の機構や、ワイヤー付きハンド・アンカーなどの専用装備を備え、海岸基地や空母で運用された。地球圏での戦闘が行われなくなった時代には水中用MSの意義も薄れ、後継機が登場しないまま長期間運用された。



▶とんな兵器もそつなく使いこなす

ビーム・サーベルでジュアッグと拮抗した勝負を繰り広げたほか、170mmキャノンを抱えて砲撃を行う姿も。

MECHANICAL ANALYSIS

グリプス戦役の際、反ティターンズの立場で戦闘に参加した組織・エゥーゴが使用した主力MS。RGM-79SP ジム・スナイパーIIと、RMS-106 ハイザックで得られたノウハウを参考に、アナハイム・エレクトロニクス社が開発を行い、RMS-179 ジムIIを上回る性能でグリプス戦役時の様々な戦いに投入された。同戦役の終了後は、地球連邦軍に編入されて運用されている。

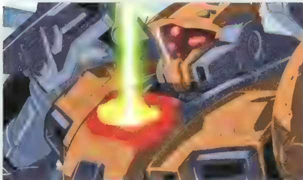


地球連邦軍　量産型MS　MSA-003

ネモ

SPEC

- 全高：18.5m
- 本体重量：36.2t
- 全備重量：55.6t
- ジェネレーター出力：1,620kw
- スラスター総出力：72,800kg
- センサー有効半径：10,020m
- 装甲材質：ガンダリウム合金
- パイロット：地球連邦軍パイロット
- 武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／ジム・ライフル／170mmキャノン砲／シールド
- 開発組織：アナハイム・エレクトロニクス社



▶その性能は未知数

出撃直前にコックピットを撃ち抜かれ、何もできぬまま沈黙してしまったネモIII。その性能は結局わからぬままとなった。

地球連邦軍　量産型MS　MSA-004K

ネモIII

SPEC

- 全高：21.4m
- 本体重量：45.4t
- 主動力：熱核融合炉
- ジェネレーター出力：1,620kw
- スラスター総出力：68,600kg
- センサー有効半径：12,050m
- 開発組織：アナハイム・エレクトロニクス社

MECHANICAL ANALYSIS

エゥーゴが開発したMSA-003 ネモの発展型MSで、肩部分に大型のビーム・キャノンを装備した火力支援用機体。完成したのはグリプス戦役の末期で、十分な数が配備されたとはいいがたかったようだ。同戦役終了後はネモと同様に地球連邦軍に編入、トリントン基地などに配備。



▶対空砲撃による撃墜

ガンキャノン・ディテクターと同行動をとり、空から迫る敵をキャノンで撃破。拠点防衛に威力を発揮した。

地球連邦軍　量産型MS　RMV-1

ガンタンクII

SPEC

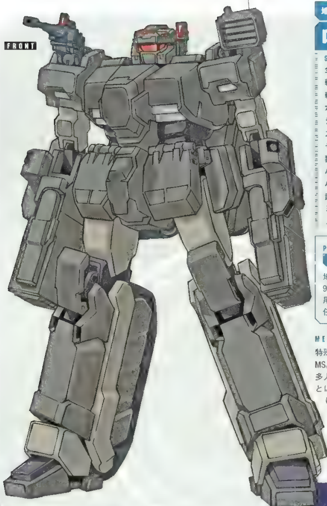
- 全高：16.9m
- 本体重量：98.4t
- 主動力：熱核融合炉
- ジェネレーター出力：211kw
- センサー有効半径：6,000m
- 開発組織：アナハイム・エレクトロニクス社

MECHANICAL ANALYSIS

RX-75 ガンタンクを純粋な装甲戦闘車両として再設計した機体。一年戦争末期に配備されて以来、ラプラスの箱を巡る戦いの時代まで基地防衛任務中心に配備されていたようだ。機動性ではほかのMSに劣るものの、分厚い装甲や強力な砲撃能力は今も評価されており、ジオン残党軍との戦闘でも活躍を見せた。

地球連邦軍　特殊部隊用MS　D-50C

ロト



FRONT

SPEC

全高：12.2m
戦車時全長：9.66m
戦車時全幅：5.78m
本体重量：16.8t
ジェネレーター出力：980kw
スラスター総出力：32,400kg
センサー有効半径：8,800m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：ダグザ・マックール／エコーズパイロット
武装：ビーム・バーナー／マシン・キャノン／ミサイル・コンテナ／メガ・マシン・キャノン／ロング・キャノン

PILOT



ダグザ・マックール 中佐

地球連邦軍特殊部隊、エコーズ920部隊の司令官。特殊部隊専用に作られたMSロトで、極秘任務にあたっている。

MECHANICAL ANALYSIS

特殊部隊ECOAS（エコーズ）所有の特殊任務用MS。小柄な機体とタンク形態への変形機構、多人数の運搬が可能な構造などが特徴で、もとはテロに対する人員輸送や対人制圧を主眼に設計された。ラプラスの箱を巡る戦いでも、メガラニカへの潜入やパラオでのバナージ・リンクス奪還作戦など特殊なミッションで活躍した。



REAR





TANK FORM



▶テロの時代に生まれたMS

兵の輸送のほか、各種センサーや通信機能を活用しミッション中は指令本部としての役割も果たす。

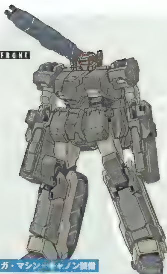


▶接近戦が最大の弱点

マシン・キャノンやミサイル・コンテナなど中長距離戦用装備が充実する一方、接近戦用武器はコロニー潜入用のビーム・バーナーのみ。死角から接近してきたシナンジュに抵抗できなかった。

地球連邦軍　特殊部隊用MS　D-50C

ロト（砲撃戦仕様）









MECHANICAL ANALYSIS

変形時の安定性を考慮して、肩に砲撃戦用の武装を行ったタイプのバリエーション。地形踏破性の高い戦車や戦闘車両としての運用を想定している。宇宙空間でもその射撃性能は高く、パラオ攻略戦でもこれらの機体が多数投入された。



▶支援用武器

メガ・マシン・キャノンは銃身が回転しながら連射を行う武装。中距離で前線のMSを援護するのに適している。ロング・キャノン装備と通常の中間的な運用を想定している。

地球連邦軍　量産型MS　FD-03

グスタフ・カール





SPEC

全高：22.0m
本体重量：29.0t
全備重量：60.0t
ジェネレーター出力：3,425kw
スラスター総出力：79,500kg
センサー有効半径：21,300m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：バルカン砲／グレネード・ランチャー／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／シールド

MECHANICAL ANALYSIS

次世代の量産型を探る地球連邦軍が開発した、最新鋭の量産型MS。ラプラスの箱を巡る戦いの際は、稼働実験としてシャイアン基地で先行運用されている。基本性能はガンダムタイプにも通じる高さを誇るといわれるが、トライスターに対しては不意を突かれ、抵抗できずに武装解除させられた。



▶シャイアン基地への配備

シャイアン基地で警戒任務に就いていたが、パイロットがお菓子持参で緊張感皆無だったこともあってか、大した抵抗もできずにトライスターに制圧されてしまった。

地球連邦軍　試作型MS　RX-160S

バイアラン・カスタム

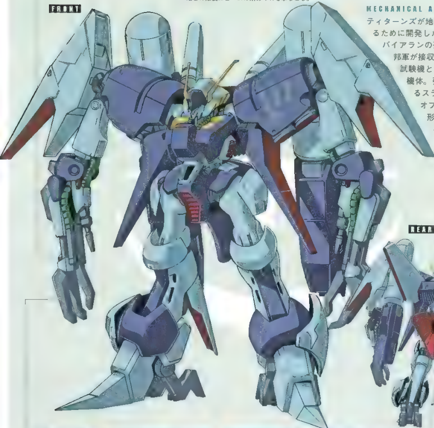
SPEC

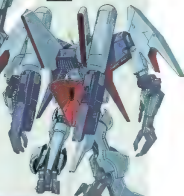
全高：20.6m
本体重量：38.9t
全体重量：60.3t
ジェネレーター出力：1,840kw
スラスター総出力：98,300kg
センサー有効半径：11,200m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：地球連邦軍パイロット
武装：ビーム・サーベル／メガ粒子砲／クロー・アーム

▶メガ粒子砲
変形機構なしでも高い機動性で空中戦を展開。地上の敵機にビームの雨あられを撃ちこむ。

MECHANICAL ANALYSIS

ティターンズが地球圏の制空権を得るために開発した試作MS、RX-160バイアランの残存機体を地球連邦軍が接収し、改修して技術試験機として利用していた機体。強力な推力を発するスラスターを装備し、オプションパーツや変形を行わずに飛行するベース機体のコンセプトを強化したうえで、武装にも様々な変更が加えられている。



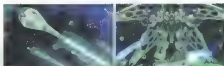



▶クロー・アームとビーム・サーベル
中間距離でクロー・アームを使い敵を捕獲、接近戦ではビーム・サーベルと格闘戦もこなせる。


▶スラスターによる高機動
劣勢の地球連邦軍のもとへ、特徴である機動力を活かし素早く援護に現れた。

ネオ・ジオン　ニュータイプ専用MS NZ-666

クシャトリヤ



▶ファンネル
遠隔操作のサイコミュ兵器。各バインダーに6基ずつ内蔵されており、射出後も戻すことで再充電が可能。

REAR

SPEC

全高：22.3m
本体重量：29.7t
全備重量：74.02t
ジェネレーター出力：16,540kW
スラスター総推力：197,800kg
センサー有効半径：18,500m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：マリーダ・クルス
武装：マシン・キャノン／ビーム・サーベル／ビーム・ガン／ファンネル／メガ粒子砲／マシン・キャノン 他

PILOT

マリーダ・クルス 中尉



「袖付き」の女性パイロット。人工的にニュータイプ能力を与えられた強化人間であり、プル・トゥエルブとも呼ばれる。ガランシェール隊に所属し、ジンネマンのことを父と慕っている。



▶バインダーをコンパクトにたたみガランシェールへ搭載される。



▶戦闘をためらうバナージを一時は完全に制圧した



▶メガ粒子砲
メガ粒子砲はクシャトリヤ本体の胸部に4基、肩部装甲のバインダー4つにそれぞれ2基ずつ搭載されている

MECHANICAL ANALYSIS

ネオ・ジオンが開発した20m級サイコミュ搭載機で、NZ-000クィン・マンサの後継機にあたる。武装、推進器、ファンネル・コンテナといった複数の機能を集約したバインダーとサイコフレームによって、NZ-000クィン・マンサと同等の火力を保持しつつ小型化に成功。サイコフレームは胸部のコックピット周辺の構造材の一部に使用されている。

FRONT



▶ビーム・サーベル
接近戦用武装のビーム・サーベルは両腕の袖口に普段は収納されている。収納時はビーム・ガンとしても使用可能。



▶テストロイモードの圧倒的な力で機体は見る影もなく破壊される



▶格納庫内での戦闘では修理中でもローゼン・ズールを抑えつけた

ネオ・ジオン　ニュータイプ専用MS NZ-666

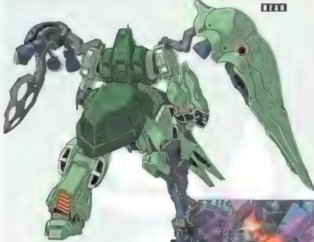
クシャトリヤ・ベッセルング

SPEC

全高：22.3m
本体重量：破損中のため不明
全備重量：破損中のため不明
ジェネレーター出力：破損中のため不明
スラスター総推力：破損中のため不明
センサー有効半径：破損中のため不明
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：マリーダ・クルス
武装：――

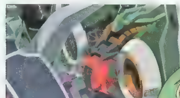
MECHANICAL ANALYSIS

パラオ攻略戦においてRX-0 ユニコーンガンダムに撃破され、地球連邦軍のネェル・アーガマへ収容されたクシャトリヤを「袖付き」側の主導で必要最低限の補修作業が行われた状態の機体。残っている武装といえるのは肩部装甲のバインダー1基と、胸部メガ粒子砲の4基中2基のみ。左腕は失われており右脚はフレームのみ、ファンネルも全滅している状態だ。



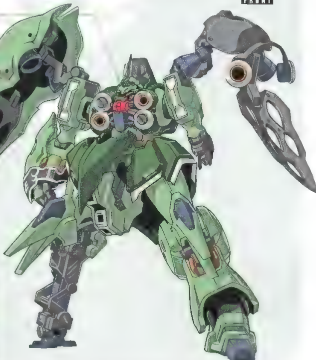
▶右脚部

膝から下の装甲がはがされてフレームがむき出しだが、移動に支障はなく、敵を踏みつけることも可能だ。



▶モノアイ　コックピット周り

胸部の装甲が失われてコックピットはむき出し。モノアイも地球連邦軍の部品を流用しており、青くなっている。

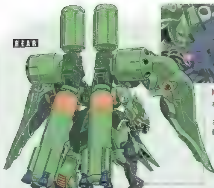


▶ハインター

特徴的な4基のバインダーは左前1基のみに。右前側も辛うじてフレームは残っているものの機能は失われている。



REAR

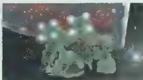


▶ビーム・ガトリングガン

右脚の仮設フレームにはクシャトリヤ用のオプション武器であるビーム・ガトリングガンを内装している。



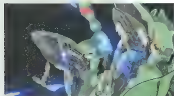
▶復活したバインダーのメガ粒子砲はバンシィ・ノルンを押し返す



▶大型のブースターによって主に直進機動力が大幅に上がった

▶改造ファンネル

小型のシュツルム・ファウストを装着させたファンネル。誘導ミサイルのような使いかたをする武装に改造した。



ネオ・ジオン　ニュータイプ専用MS NZ-666

クシャトリヤ・リペアード

SPEC

全高：現地改修により不明
本体重量：現地改修により不明
全備重量：現地改修により不明
ジェネレーター出力：現地改修により不明
スラスター総推力：現地改修により不明
センサー有効半径：現地改修により不明
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：マリーダ・クルス
武装：ビーム・サーベル／マシン・キャノン
胸部メガ粒子砲／ビーム・ガン／ビーム・ガトリングガン／ハイパー・ビーム・ジャベリン「改造ファンネル」3連装シュツルム・ファウスト／Iフィールド・ジェネレーター

MECHANICAL ANALYSIS

ネェル・アーガマのクル　の手によってクシャトリヤ・ヘ　セルングに補修作業が行われた機体。補修時に使用されたパーツや部品には、地球連邦軍用のものが数多く流用されている。欠損した後部のバインダー2基に代わり、大型プロペラント・ブースターを装備した。この装備により機動性と加速度は本来のクシャトリヤ以上の性能を誇る。

FRONT

▶ハイパー・ビーム・ジャベリン

近接戦闘用武装として、欠損した左腕にハイパー・ビーム・ジャベリンが結合されている。

ジオン残党軍　水陸両用試作MA AMA-X7

シャンブロ

SPEC

全高：31.8m（陸上戦闘形態）
全長：77.8m（水中巡航形態）
本体重量：196.8t
全備重量：283.9t
ジェネレーター出力：21,460kW
スラスター総推力：226,480kg
センサー有効半径：12,800m（陸上）240,000m（ソナー／水中）
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ロニ・ガーベイ
武装：リフレクター・ビット　拡散メガ粒子砲　大口径メガ粒子砲　大型アイアン・ネイル

PILOT

ロニ・ガーベイ



地球で活動するジオン残党軍の女性パイロット。ジオンの残党をまとめ上げた元ジオン軍人の資産家マハディ・ガーベイの娘でもある。父を殺した地球連邦軍を恨み、復讐の機会を待つ。

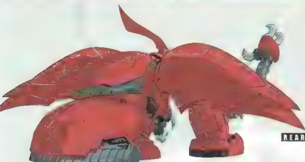
MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争時のネオ・ジオンが設計した兵器案をもとに、ジオン残党軍が「袖付き」の援助と技術供与を受けて開発した巨大MA。その完成までに6年の歳月を要している。構造部材に最新鋭のサイコミュ技術であるサイコフレームを採用、電磁流体推進ユニットおよびホバー・ユニットによって水中、陸上どちらでも行動が可能だ。

▶リフレクター・ビット

肩部の拡散メガ粒子砲を反射し拡散させるリフレクター・ビットを本体の背面部に多数収納





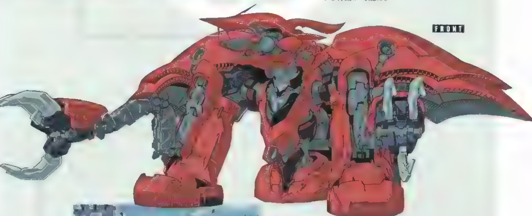
REAR

▶大口径メガ粒子砲

頭部のハッチを開くことで大口径のメガ粒子砲を撃つことができる。その射程範囲は広く、一撃で都市や拠点を壊滅させてしまうほどだ。



FRONT





▶大型アイアン・ネイル

アーム部分はある程度自在に伸縮することが可能だ。ネイル部分で対象を貫通したり、捕縛や圧砕したりもできる。

ザクの系譜

宇宙空間、ミノフスキー粒子下で勝利するために生まれたザク。MSという革新を作ってきた機体の進化が見せる未来とは。

ジオン公国およびその残党

MS-06D
ザク・デザートタイプ →P067



現地改修

MS-06K
ザク・キャノン
→P065



PVN 42/4
マゼラ・アタック
大型の陸戦兵器 砲塔はコックピットが配置され 航空機となる特異な機構を有し、単独で飛行しながら射撃できた

機体流用・現地改修

MS-06M/MSM 01
ザク・マリンタイプ
地球侵攻作戦において、海上での戦力展開を目的にザクIIをベースに開発した機体 実験機の意味合いが強かった。

接収・改修

機体流用・現地改修

砲戦機を武装流用

MS 06V 6
ザクタンク（グリーンマカク）
→P067



機体流用・現地改修

砲撃仕様に改造

水陸両用に改造

MS 06J
陸戦型ザクII
地球侵攻作戦に備え、重力下における運用に特化した仕様に変更されたザクII 地上用の武装も併せて開発された

機体流用・現地改修

地上・重力下戦特化

RGM-79
ジム
していた。

技術統合

MS-06C
ザクII C型
高い放射能防護力を有する初期型のザクII。核兵器使用が 耐核装備を外したF型に

高性能化

MS-05
ザクI
史上初めて量産、戦力

耐核装備除去・軽量化

機体流用

MS-06F
ザクII F型 →P067



技術統合

MS 06E
ザク強行偵察型
ザクII F型をベースに機体各所に補助ブースターやスラスターを増強、そしてセンサー類を大幅強化した偵察機

偵察任務仕様に改造

索敵機能を流用

MS 05L
ザクI・スナイパータイプ →P065

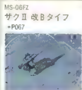


マイナーチェンジ

MS-06F2
ザクII 後期生産型
ザクII F型の装甲を強化しつつ、軽量化も実現させた後期生産型 コクピットも生存性を高めた仕様に変更された。

統合整備計画

MS-06FZ
ザクII 改Bタイプ
→P067





装備変更

ビーム兵器を流用

MS-06FZ
ザクII 改
生産体系の整理を目的とした統合整備計画に基づいて生産されたザクII ホバリング走行も可能な推力も得る。

脚部機構を流用

MS-14A
ゲルググ
登場があまりにも遅すぎ、ほとんど戦果を残せず終わった次世代機。ガンダムクラスの性能を有するといわれた

装備変更

MS 21C
トラッツェ
一年戦争後 アフース ノ ートが各 を流用 て生産 た簡易的なMS。一撃離脱能力は高く評価された。

推進機構等を流用

ガトル
戦闘航宙機 機関砲と大型ミサイルを武装とあり 脱出ポッドともなるコクピットが2つ配置されている

ネオ・ジオン

袖付き期

AMS-129M
ゼー・ズール
→P061

AMS-119
ギラ・ドーガ指揮官機（袖付き）

RMS-119
アイザック
（袖付き）→P064

MS-06D
ディザート・ザク
→P066

AMS-119
ギラ・ドーガ
重武装仕様　袖付き）
→P059

AMS-129
ギラ・ズール（ギルボア機）
→P057

AMS-[illegible]29
ギラ・ズール
（アンジェロ・ザウパー専用機）
→P058

AMS-129
ギラ・ズール
→P056

AMS-119
ギラ・ドーガ
（袖付き）→P059

AMS-129
ギラ・ズール
親衛隊機
→P057

MSN-06S
シナンジュ
→P028

MSN-03
ヤクト・ドーガ
（袖付き）
→P062

YAMS-132
ローゼン・ズール
→P060

AMX-011
ザクⅢ（袖付き）
→P063

MS-21C
ドラッツェ（袖付き）→P063

指揮官機仕様に改造
水陸両用に改造
重武装仕様に改造
指揮官機仕様に改造
推力強化
技術変更
機体流用
予備パーツ流用
サイコフレーム技術流用

地球連邦

RMS-119
アイザック
ハイザックをベースに偵察機に改修したMS。頭部の巨大なレト　ームには、複眼式のアイ・センサーも有する

RMS-192M
ザク・マリナー
→P066

RMS-108
マラサイ→P064

RMS-106
ハイザック
一年戦争後、地球連邦軍が自軍の技術に旧ジオン軍系の技術を導入して開発　た、ザクを意識　たMS

機体流用・現地改修
高性能化
技術継承
コンセプト継承

シャア政権期

AMS-119
ギラ・ドーガ
分散したザク系技術を、本来のコンセプトに立ち返　て再結集した

MSN-03
ヤクト・ドーガ
ギラ・ド　ガをベ　ス、開発　たNT専用機だが　仕様　満たず

MSN-04
サザビー
ヤクト・ドーガの技術とサイコフレームを大型の機体で仕上げた

技術変更
NT専用に改造
技術流用

ハマーン政権期

AMX-011
ザクⅢ
ネオ・ジオンが開発した、ハイザック等と違い、純粋なジオン系技術のみでザクⅡの後継を目指したMS

AMX-011S
ザクⅢ改
ザクⅢを強化人間用に改修した機体　プロペラント・タンクやスラ　スタ　機構　ジェネレ　タ　を強化　た

AMX-[illegible]03
ハンマ・ハンマ
腕部、組み　んだ有線式ビ　ム砲　よるオ　ルレンジ攻撃を、サイコミュな　で実現　た実験用MS

技術継承
マイナーチェンジ
技術変更
コンセプト継承

ネオ・ジオン　量産型MS AMS-129

ギラ・ズール

FRONT

SPEC

全高：20.0m
本体重量：21.8t
全備重量：55.2t
ジェネレーター出力：2,470kW
スラスター総推力：62,100kg
センサー有効半径：18,200m
装甲材質：チタン合金セラミック複合
パイロット：サボア、ネオ・ジオンパイロット
武装：ビーム・ホーク／ビーム・マシンガン／シュツルム・ファウスト／ハンド・グレネード／ビーム・ガトリングガン／ランゲ・ブルーノ砲・改　他

PILOT

サボア

ガランシェールのMSパイロット。インダストリアル7周辺で警戒中にロンド・ベル隊と戦闘になり命を落とす。

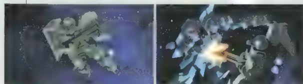


ネェル・アーガマ運用機



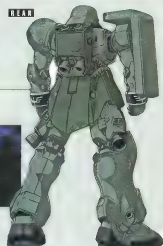
MECHANICAL ANALYSIS

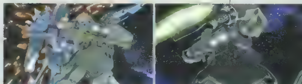
ネオ・ジオンの次期主力MSとして、アナハイム・エレクトロニクス社で開発された量産型MS。AMS-119 ギラ・ドーガをベースにスペックの向上を図った発展型となっている。手首や胸部には「袖付き」の由来であるマーキングが施されており、運用する部隊や搭乗者の階級によって、袖飾りの模様やスパイクの形などが異なっているのが特徴だ。



▶ビーム・マシンガン

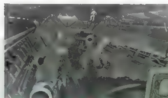
ペレット状のビームを連射できる射撃用兵装。写真のビーム・マシンガンは銃身にアドオン式のグレネード・ランチャーを装備している。





▶ビーム・ホーク／シュツルム・ファウスト／ハンド・グレネード

近距離用兵装のビーム・ホークや単発式ロケット砲のシュツルム・ファウスト、ハンド・グレネード2基が腰部に装着、収納されている。



▶ランゲ・ブルーノ砲・改（重装型バックパック）

重装型バックパックにはサブジェネレーターと2基の大型プロペラントタンク、そしてバランサーを装着。



ネオ・ジオン 量産型MS AMS-129
ギラ・ズール（ギルボア機）

SPEC

全高：20.0m
本体重量：21.8t
全備重量：55.2t
ジェネレーター出力：2,470kW
スラスター推進力：62,100kg
センサー有効半径：18,200m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：ギルボア・サント
武装：ビーム・ホーク／ビーム・マシンガン／シュツルム・ファウスト／ハンド・グレネード／ビーム・ガトリングガン／ランゲ・ブルーノ砲・改



▶ランゲ・ブルーノ砲・改（銃）

ギラ・ドーガの重武装用ユニットであるランゲ・ブルーノ砲をビーム兵器に改修した遠距離支援兵装である。

MECHANICAL ANALYSIS

ツノ付きの指揮官機仕様。劇中では宇宙空間での戦闘のため、ランゲ・ブルーノ砲・改を装着。長距離射撃での攻撃を想定しているが、ビーム・ホークも装備しており、接近戦闘を行うことも可能だ。右肩部にはビーム・ガトリングガンも装備されている。

PILOT

ギルボア・サント



ガランシェール隊の一員。艦長のジンネマンからの信頼も厚い。人懐っこい面相を持った、三児の父親でもある。衛星パラオではバナージに対し親身になって接し、家族ぐるみで世話をした。



▶ビーム・マシンガン

ランゲ・ブルーノ砲・改を装備することが多い親衛隊機だが、一般機同様、ビーム・マシンガンでの攻撃も行う。



▶シールド

一般機のように固定式ではなく、独立したシールドを使用。シールドにはシュツルム・ファウストも収納可。



FRONT



ネオ・ジオン 量産型MS AMS-129
ギラ・ズール（親衛隊機）

SPEC

全高：20.0m
本体重量：22.3t
全備重量：56.5t
ジェネレーター出力：2,670kW
スラスター総推力：74,520kg
センサー有効半径：18,200m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：キュアロン、セルジ、親衛隊員
武装：ビーム・ホーク／ビーム・マシンガン／シュツルム・ファウスト／ハンド・グレネード／シールド／ビーム・スナイパー・ライフル

PILOT

親衛隊員





若き将校たちによるフル・フロンタルの親衛隊。隊長アンジェロの命令にも従う従順な部下。

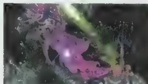
MECHANICAL ANALYSIS

一般機のギラ・ズールよりもジェネレーター出力の性能が向上し、バックパックも大容量タイプのプロペラントタンクに変更されている。外装の装飾が豪華になり、両肩のスパイク付きのアーマーも特徴だ。

ギラ・ズール（アンジェロ・ザウバー専用機）

MECHANICAL ANALYSIS

フル・フロンタル親衛隊の隊長を務めるアンジェロ・ザウバー専用のギラ・ズール親衛隊機。パーソナル・カラーである紫色で塗装されているのが特徴だ。重装用バックパックの大型プロペラント・タンクにより、推力の強化と長時間の作戦行動が可能。長距離支援用のビーム兵器ランゲ・ブルーノ砲・改を使い、MSN-06S シナンジュをサポートする。



▶パラオでは音もなく忍び寄りビーム・サーベルの一刺しで決めた

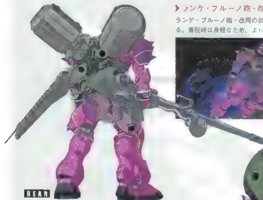


▶「袖付き」のギラ・ズールで唯一のパーソナルカラーが認められている

▶ランゲ・ブルーノ砲・改　着脱時

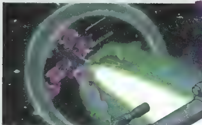
ランゲ・ブルーノ砲・改用の装備を外すこともできる。着脱時は身軽なため、より機敏な動きが可能。





▶ランゲ・ブルーノ砲・改

長距離支援用ビーム兵器。後衛からシナンジュの援護をするため、ランゲ・ブルーノ砲・改を装備する機会が多い。



SPEC

全高：20.0m
本体重量：27.3t
全備重量：61.4t
ジェネレーター出力：2,870kW
スラスター総推力：77,625kg
センサー有効半径：19,200m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：アンジェロ・ザウバー
武装：ビーム・ホーク／ビーム・マシンガン　ランゲ・ブルーノ砲・改／ビーム・ショット・ライフル／シールド

PILOT

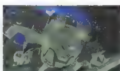
アンジェロ・ザウバー 大尉



反政府組織の「袖付き」でフル・フロンタル親衛隊の隊長を務める男性パイロット。フロンタルに心酔しており、絶対の忠誠を誓う。紫の塗装を施した専用のギラ・ズールに搭乗して戦う。

FRONT





指揮官機
衛星パラオでの戦いでは、ツノ付きである指揮官機のギラ・ドーガも戦闘、参加していることが確認されている。

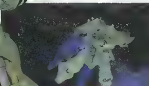


ネオ・ジオン　量産型MS AMS-119
ギラ・ドーガ（袖付き）

SPEC
全高：20.0m
本体重量：23.0t
全備重量：50.8t
ジェネレーター出力：2,160kW
スラスター総推力：54,000kg
センサー有効半径：16,400m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ビーム・ソード・アックス／ビーム・マシンガン／グレネード・ランチャー／シュツルム・ファウスト／シールド



パラオ攻略戦でも多数のギラ・ドーガが出撃した。



ビーム・マシンガン
ギラ・ズールと同じく、ギラ・ドーガも射撃用兵装のビーム・マシンガンを標準装備として用いている。

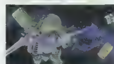
MECHANICAL ANALYSIS
グリプス戦役後期にネオ・ジオンの次期主力MSとして開発が始まり、第二次ネオ・ジオン戦争で活躍した機体。多様な武装を使用できる汎用性の高さが重視され、ニュータイプ用MSのMSN-03 ヤクト・ドーガや、後年の「袖付き」の主力機AMS-129 ギラ・ズールが本機をベースにして誕生したことからも、その基本設計の優秀さがうかがえる。





ネオ・ジオン　量産型MS AMS-119
ギラ・ドーガ（重武装仕様／袖付き）

SPEC
全高：20.0m
本体重量：28.0t
全備重量：62.1t
ジェネレーター出力：2,160kW
スラスター総推力：75,200kg
センサー有効半径：16,400m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ビーム・ソード・アックス／ビーム・マシンガン／ランゲ・ブルーノ砲



ランゲ・ブルーノ砲
ランゲ・ブルーノ砲・改がビーム兵装であるのに対し、ランゲ・ブルーノ砲は実弾を使用した長距離支援兵装だ。

MECHANICAL ANALYSIS
ギラ・ドーガに長距離支援兵装であるランゲ・ブルーノ砲を換装した仕様の機体。背面部には重装バックパックが装着され、2基の大型プロペラントタンクとバランサーが装備されている。この重装バックパックをもととした運用思想は後にも引き継がれ、ビーム兵装として再設計されたランゲ・ブルーノ砲・改が作り出された。







▶インコム・ユニット

両腕を本体から分離し、有線式による遠隔操作が可能。大型クロー を有した前腕部には3連装メガ粒子砲も内蔵されている。



ネオ・ジオン　サイコミュ複合搭載型MS YAMS-132

ローゼン・ズール

SPEC

全高：22.5m

本体重量：25.8t

全備重量：72.6（腕部改修後：50.8）t

ジェネレーター出力：4,950kW

スラスター総推力：257,200kg

センサー有効半径：18,200m

装甲材質：チタン合金セラミック複合材＋一部ガンダリウム合金

パイロット：アンジェロ・ザウパー

武装：インコム・ユニット／3連装メガ粒子砲／メガ粒子砲／Iフィールド・ジェネレーター／シールド／サイコ・ジャマー

PILOT

アンジェロ・ザウパー 大尉



ラプラス史跡での戦いで中破したギラ・ズール（アンジェロ・ザウパー専用機）に改修を施したローゼン・ズールに搭乗。危険視するバナージ・リンクスを倒すため、新機体で戦場を駆る。

MECHANICAL ANALYSIS

中破したAMS-129 ギラ・ズール（アンジェロ・ザウパー専用機）をベースに、AMX-103 ハンマ・ハンマのコンセプトを継承して開発されたMS。そのため、ギラ・ズールのバリエーション機体でありながら、ハンマ・ハンマの後継機でもある。NZ-666 クシャトリヤ・ベッセルング戦で右腕を自損し、その後は右腕部にシールドを接合。

右腕改修後





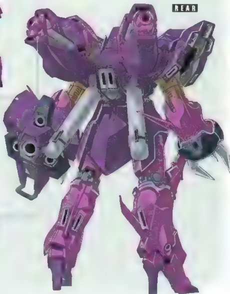
▶3連装メガ粒子砲

両腕とシールドに内蔵。シールドのものは収束発射だけでなく、Iフィールドを利用した拡散発射も可能。



▶サイコ・ジャマー

背部コンテナに搭載した特殊デバイスを用いてサイコ・フィールドを形成し、サイコミュ兵器を無効化する。





アイアン・ネイル
鋭い爪で対象を切り裂く兵装。アイアン・ネイルは収納・着脱ができ、展開時でもヒート・ナイフなどを手に持つことが可能である。



FRONT

ネオ・ジオン　水陸両用量産型MS AMS-129M

ゼー・ズール

SPEC

全高：20.3m
本体重量：28.9t
全備重量：42.8t
ジェネレーター出力：2,470kW
スラスター総推力：92,400kg
センサー有効半径：18,200m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ヒート・ナイフ／アイアン・ネイル／ビーム・マシンガン／グレネード・ランチャー

MECHANICAL ANALYSIS

「袖付き」の主力MS、AMS-129ギラ・ズールをベースに「袖付き」が開発し、ジオン残党軍がU.C.0096のトリントン基地襲撃時に使用した。背部のハイドロジェット推進機やフィンなどの装備を装着し、水中での機敏な行動を実現している。外見上の特徴となっているアイアン・ネイルに加え、ギラ・ズールと共用のビーム・マシンガンなどの武装も携行。

REAR





ビーム・マシンガン
左肩にセットされたケースにはビーム・マシンガンが収納されており、陸上では射撃戦が主な役割となる。



装備した推進器により水中の機動力は船舶を遥かに凌ぐ。



基本フレームが同じため上陸後はギラ・ズールに準じた性能を発揮。

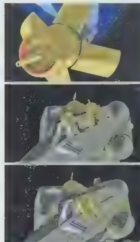
ヤクト・ドーガ（袖付き）

MECHANICAL ANALYSIS

第二次ネオ・ジオン戦争で使用されたニュータイプ用MSの改修機。ベース機体はAMS-119 ギラ・ドーガで、構造材の一部にサイコフレームを使用。高いサイコミュ機能により6基のファンネルを操っていた。「袖付き」の配備機はかつてクェス・パラヤの乗機だったもので、戦闘で失われた片腕にギラ・ドーガの腕が流用されている。

SPEC

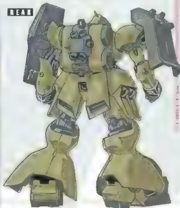
全高：21.0m
本体重量：28.6t
全備重量：65.2t
ジェネレーター出力：3,340kW
スラスター総推力：76,000kg
センサー有効半径：20,500m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ヒート・ナイフ付ビーム・サーベル／ビーム・マシンガン／ファンネル／ミサイル／シールド



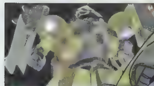
ファンネル

左肩のファンネル・ポート・シールドには2基のファンネルを搭載。オールレンジ攻撃が可能となっている。

REAR



FRONT



右腕

本機の右腕はかつての戦争で欠損。そのため、ベース機であるギラ・ドーガの腕が取り付けられている。



ネオ・ジオン　量産型MS MS-21C

ドラッツェ（袖付き）

SPEC

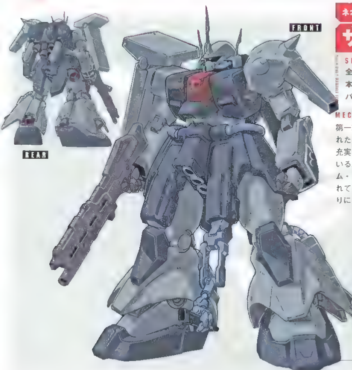
全高：29.8m
本体重量：23.9t
全備重量：49.0t
ジェネレーター出力：596kW
スラスター総推力：117,500kg
センサー有効半径：10,900m
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ビーム・サーベル／ガトリング・ガン

MECHANICAL ANALYSIS

U.C.0083に勃発したデラーズ紛争で開発された量産型MS。MS-06F2 ザクⅡ 後期生産型をベースに、ガトルの加工したパーツを搭載。直線的な機動力を高めた機体である。「袖付き」の機体には右腕のガトリング・ガンをはじめとした改修が行われ、各所にエングレービングを施されている。



▶宇宙空間専用の設計で高い機動力を発揮



ネオ・ジオン　量産型MS AMX-011

ザクⅢ（袖付き）

SPEC

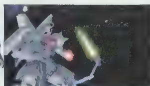
全高：23.1m
本体重量：46.8t
パイロット：ネオ・ジオンパイロット

MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争時にアクシズで開発されたザク系の量産型MS。重装甲で内蔵兵器が充実し、汎用性に優れた高性能な機体となっている。口吻部には奇襲用に役に立つ頭部ビーム・キャノンを内蔵。また「袖付き」で運用されている機体は、腰部ビーム・キャノンの代わりにサブ・マニピュレーターが搭載されている。

▶サブ・アーム展開

腰部のサブ・マニピュレーターに収納されたサブ・アームが展開可能。不意打ちの手段としても有効だ。



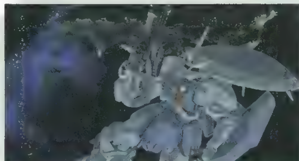
ネオ・ジオン　偵察用MS RMS-119

アイザック（袖付き）

SPEC
全高：19.2m
本体重量：41.6t
全備重量：73.5t
ジェネレーター出力：1,430kW
スラスター総推力：64,800kg
センサー有効半径：26,000m
装甲材質：チタン合金セラミック複合材
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ビーム・サーベル／ザク・マシンガン改／シールド

MECHANICAL ANALYSIS

ジオン軍のMS-06F2 ザクII後期生産型をベースに地球連邦軍が開発したハイザックを、偵察用および早期警戒機として改修したMS。部隊の目としての役割を担っており、主にレーダーによる警戒と索敵を担当する。サイド6の特別行政区パラオに潜伏していた、ネオ・ジオン残存艦隊に所属する機体が確認されている。



▶ザク・マシンガン改
120mm口径の実弾を連射するフルオート式マシンガン。ザク・マシンガンの改修型だ。



▶背面
頭部に各種センサーを内蔵したレドーム、バックパックにデータ・ポッドを搭載している。

ジオン残党軍　攻撃型MS RMS-108

マラサイ

SPEC
全高：17.5m
本体重量：33.1t
全備重量：59.4t
ジェネレーター出力：1,790kW
スラスター総推力：74,600kg
センサー有効半径：10,900m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／フェダーイン・ライフル 他

MECHANICAL ANALYSIS

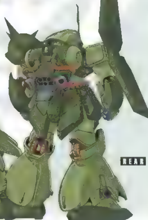
U.C.0087のグリプス戦役期にティターンズが運用したMS。RMS-106 ハイザックの後継機種にあたり、ジェネレーターの出力強化によって安定したエネルギー供給能力の獲得に成功した。劇中では、トリントン基地襲撃に参戦したジオン残党軍の機体として登場。グリーン系の塗装が施された本機が複数体確認された。



▶海ヘビ
射出したワイヤーを対象に巻き付け、高圧電流を流す手持ち式オプション装備。電子機器の破壊やパイロットの気絶が狙いとなる。

FRONT





REAR



▶ビーム・スナイパー・ライフル

対象を 撃で撃破できるほどの威力を誇る長距離狙撃用ライフル。一定数の射撃を行うたびに赤熱化したバレルの交換が必要。

ジオン残党軍　長距離狙撃用量産型MS MS-05L

ザクI・スナイパータイプ

SPEC

全高：17.5m
本体重量：67.9t
全備重量：
ジェネレーター出力：899kW(+700kW)
スラスター総推力：8,400kg
センサー有効半径：
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ヨンム・カークス
武装：ビーム・スナイパー・ライフル／バルカン砲

PILOT

ヨンム・カークス



ニューギニアに本拠地をおくジオン残党軍の現リーダーで、ザクI・スナイパータイプのパイロット。前リーダーのマハディ・ガーベイ亡き後、父親代わりとしてロニの面倒を見ている。

MECHANICAL ANALYSIS

旧式化したMS-05 ザクIを再利用する目的で、長距離狙撃用に改修したMS。大型のバックパックに搭載されたサブ・ジェネレーターを利用することで、ビーム・スナイパー・ライフルを稼働させている。劇中ではヨンム・カークスが搭乗。ファット・アンクル改のMS格納庫に機体を固定し、高空からの狙撃で友軍のMSを援護した。



▶180㎜キャノン

右肩部に搭載された180㎜キャノンが本機のメイン兵装。対空の撃墜用だけでなく、支援砲撃としても高い有効性を示す。

ジオン残党軍　砲撃用MS MS-06K

ザク・キャノン

SPEC

全高：17.7m
本体重量：59.1t
全備重量：83.2t
ジェネレーター出力：976kW
スラスター総推力：83,200kg
センサー有効半径：4,400m
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：ヒート・ホーク／180mmキャノン／ザク・マシンガン／ビッグ・ガン／ザク・バズーカ　他

MECHANICAL ANALYSIS

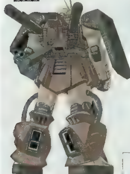
ザクIIのバリエーション機のひとつで一年戦争末期に開発された中距離支援仕様のMS。ランドセルに180㎜キャノン砲と2連スモーク・ディスチャージャー、腰部にビッグ・ガンと呼ばれる2連ロケット弾ポッドを装備している。劇中では、ジオン残党軍の運用する機体としてトリントン基地襲撃に参戦した。

ジオン残党軍　局地戦用MS MS-06D

ディザート・ザク



▶ロケット・ランチャー
高火力を誇る実弾のロケット砲。通常時は右肩部のシールドに固定されており、射出して使用。







▶ジェットスキー
足にジェットスキーを装着することで、砂上を高速で滑走することが可能に。その機動力はドム系のホバリング走行に引けを取らない。

SPEC
全高：18.5m
本体重量：44.7t
全備重量：69.5t
ジェネレーター出力：1,440kW
スラスター総推力：8,400kg
センサー有効半径：8,800m
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：頭部バルカン／ヒート・ホーク／ザク・マシンガン／ロケット・ランチャー／クラッカーポッド／ハンド・グレネード／3連ミサイル・ポッド／シールド

MECHANICAL ANALYSIS
MS-06 ザクⅡのバリエーション機のひとつであり、砂漠用の改修が図られたザク・デザートタイプを反連邦系のゲリラ組織がさらに改修したMS。オプションのジェットスキー・ユニットを装着することで、砂上での機動力を飛躍的に高めることができる。ジオン残党軍に所属する機体として、トリントン基地襲撃に参戦している。

ジオン残党軍　水陸両用量産型MS RMS-192M

ザク・マリナー



▶サブロック・ランチャー
両肩にはそれぞれ3基の対潜ミサイルが搭載されている。対潜ミサイルは水中だけでなく、陸上でも射出することが可能となっている。

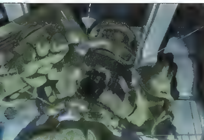




▶サブロック・ガン
手持ちのサブロック・ガンは水中戦のメイン武器で、連射可能なロケット砲。上陸後も使える主力武装だ。

SPEC
全高：17.5m
本体重量：48.8t
全備重量：68.3t
ジェネレーター出力：1,440kW
スラスター総推力：8,800kg
センサー有効半径：4,600m
装甲材質：チタン合金＋一部ガンダリウム合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：サブロック・ガン／サブロック・ランチャー／マグネット・ハーケン

MECHANICAL ANALYSIS
ジオン軍の水陸両用MSであるMS-06M/MSM-01ザク・マリンタイプを地球連邦軍が接収し、改良を施した機体。その後、ネオ・ジオンによって接収され、現在はジオン残党軍が運用している。トリントン基地襲撃の際に2機が配備。海上からのミサイル攻撃で地球連邦軍MSの動きをけん制し、友軍MSの上陸成功に大きく貢献していた。



ジオン軍　量産型MS　MS-06F

ザクII F型

MECHANICAL ANALYSIS

一年戦争でシオン軍が運用した主力量産型MS。このザクIIをベースとしたバリエーション機が数多く開発されている。コロニー・インダストリアル7のアナハイム・エレクトロニクス社の施設に展示されている機体は左腕が欠損し、コックピットを貫かれて中破していた。

SPEC

全高：展示機体により不明
本体重量：展示機体により不明
全備重量：展示機体により不明
ジェネレーター出力：展示機体により不明
スラスター推進力：展示機体により不明
センサー有効半径：展示機体により不明
装甲材質：超硬スチール合金



ジオン残党軍　局地戦用MS　MS-06D

ザク・デザートタイプ

MECHANICAL ANALYSIS

MS-06 ザクIIを砂漠・熱帯戦用に改修した局地戦用MSで一年戦争期にジオン軍が開発した。砂漠地帯での機動性向上を図るため、軽量化や出力の強化、補助推進装置の設置が行われた。サハラ砂漠に不時着したガランシェールの掘り起こし作業を行った姿が確認されている。

SPEC

全高：現地改修機により不明
本体重量：現地改修機により不明
全備重量：現地改修機により不明
ジェネレーター出力：現地改修機により不明
スラスター推進力：現地改修機により不明
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵



ジオン残党軍　作業MS　S-06V-6

ザクタンク（グリーンマカク）

MECHANICAL ANALYSIS

一年戦争期にジオン軍によって改造された作業用MS。前線で損傷したMS-06 ザクIIの上半身と、PVN.42/4 マゼラアタックの車体部・マゼラベースを組み合わせて作られている。ザク・デザートタイプと共に砂漠に不時着したガランシェールの掘り起こしに駆り出されていた。

SPEC

全高：現地改修機により不明
本体重量：現地改修機により不明
ジェネレーター出力：現地改修機により不明
センサー有効半径：現地改修機により不明
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵



ジオン残党軍　量産型MS　MS-06FZ

ザクII改 Bタイプ

MECHANICAL ANALYSIS

年戦争末期に開発されたMS-06 ザクIIの最終生産型である。型式番号からFZ型とも呼ばれている。武装を含めて全面的に改修を行っており、性能面ではF型と比較してかなり向上されている。トリントン基地襲撃時に、フリッツヘルムのBタイプの存在が確認されている。

SPEC

全高全高：17.5m　本体重量全高：56.2t
全備重量全高：74.5t
ジェネレーター出力全高：976kw
スラスター推進力全高：79,500kg
センサー有効半径全高：3,200m
装甲材質：チタン・セラミック複合材
パイロット：ジオン残党兵
武装：ザク・マシンガン／ハンド・グレネード／ヒート・ホーク／シュツルム・ファウスト



ジオン残党軍　局地戦用MS　MS-07C-3

グフ重装型

MECHANICAL ANALYSIS

MS-07C-1 グフをベースに火力と装甲を強化したジオン軍の陸戦用MS。フィンガーバルカンの口径を85ｍｍに強化し、腕部に弾倉を外付けできるよう改良。ジオン残党軍に所属する機体が残っており、トリントンに出撃している。しかし基地襲撃作戦では存在を確認できず。

SPEC

全高：現地改修機により不明
本体重量：現地改修機により不明
ジェネレーター出力：現地改修機により不明
スラスター推進力：現地改修機により不明
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：5連装85mmマシンガン
30mmマシンガン

ホバーによる地上の高速移動を実現した結果、重装甲をも獲得したドム
その設計思想は時代を超えて受け継がれていく



ラプラスの
箱を巡る戦い

第一次
ネオ・ジオン戦争

一年戦争

ネオ・ジオン　量産型MS AMX-009

ドライセン
(袖付き)

SPEC

- 全高：22.0m
- 本体重量：36.7t
- 全備重量：67.9t
- ジェネレーター出力：2,380kw
- スラスター推進力：107,800kg
- センサー有効半径：13,100m
- 装甲材質：ガンダリウム合金
- パイロット：ネオ・ジオンパイロット
- 武装：ヒート・サーベル／ジャイアント・バズ
  3連装ビーム・キャノン／トライ・ブレード

MECHANICAL ANALYSIS

ハマーン政権期のネオ・ジオンで開発された量産型MS。地球での活動を考慮し、ジオン軍で量産されていたMS-09 ドムやMS-09R リック・ドムの開発思想をもとに設計された。宇宙、地上を問わず高機動と重装甲を両立させた平均能力の高い機体となっている。装備面でも使い勝手のよい腕の3連装ビーム・キャノンや、トリッキーな背面のトライ・ブレードまでバリエーションが広い。

トライ・ブレード

背中に3つ装備された遠隔射出兵器。撃ち出すと羽状のブレードが展開し高速で回転しながら相手へ到達、そのまま回転する鋭利なブレードによって攻撃を行う。弾や敵弾の防御にも使える。





ジオン残党軍　量産型MS MS-09G

ドワッジ

SPEC

全高：18.2m
本体重量：43.5t
全備重量：81.7t
ジェネレーター出力：1,440kw
スラスター推進力：128,500kg
センサー有効半径：8,800m
装甲材質：チタン合金＋一部ガンダリウム合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：バルカン砲／ヒート・サーベル／ヒート・トマホーク／ザク・マシンガン／ハンド・グレネード

FRONT



▶「動く戦争博物館」

地球連邦軍兵士が揶揄したように、ジオン残党軍は持てるMSのすべてを投入したと思われる。戦力不足を示すように、ドワッジはザクのヒート・トマホークとマシンガンを携行していた。



REAR



MECHANICAL ANALYSIS

ジオン残党軍が第一次ネオ・ジオン戦争などで使用した。MS-09 ドムの最終生産仕様となり、一年戦争終結後には第二世代MSに準ずるためのアップデートがなされている。ラプラスの箱を巡る戦いにおいてはジオン残党軍が地球連邦軍のトリントン基地を襲撃した際、輸送機から降下。僚機とともに俊敏な動きで警護のジム隊を圧倒した。

ジオン残党軍　局地戦用重MS MS-09F/TROP

ドム・トローペン

SPEC

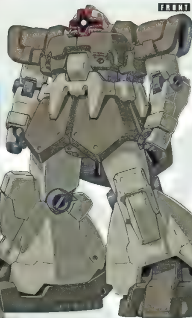
全高：18.5m
本体重量：44.8t
全備重量：79.0t
ジェネレーター出力：1,196kw
スラスター推進力：47,200kg
センサー有効半径：6,320m
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：ヒート・サーベル／MMP-80マシンガン／ハンド・グレネード

▶持てる装備で目前の敵を討つ

本来の装備ではないシュツルム・ファウストの砲弾を巧みに投げ、ジム隊がひるんだところを襲うなど、先陣として見事な戦いを示した。このためリーダー格の乗機とも考えられる。



FRONT



REAR



MECHANICAL ANALYSIS

ジオン軍の重MS、MS-09 ドムの派生型で、砂漠や熱帯での運用するために開発された。ホバリング機能も砂漠用に改められ防砂、防塵対策も施されている。MS-09G ドワッジやMS-06D ディザート・ザクらとともに軽快なホバー走行でトリントン基地を襲った時はMMP-80マシンガンを持っており、ヒート・サーベルで迎撃のジム隊を撃破した。

MS-14A
ゲルググ（袖付き）
→P070

近代化改修・装飾変更

MS-14A
ゲルググ
一年戦争末期に登場したジオン軍の次世代機。ザクの運用性が良すぎたことが開発遅延の要因となった。

近代化改修

MS-14J
リゲルグ
ゲルググにリニア・シートやスラスター増強を図った練習用改修機だが、もとの性能が高いため戦闘も可能だった。

武装強化・装飾変更

MS-14J
リゲルグ（袖付き）
→P071

砂漠戦仕様を強化

MS-14D
デザート・ゲルググ
→P071

ラプラスの箱を巡る戦い | 第一次ネオ・ジオン戦争 | 一年戦争

ネオ・ジオン　量産型MS MS-14A

ゲルググ（袖付き）

▶ビーム・ナギナタ

特徴的な武装が日本の長刀を思わせるビーム・ナギナタ。両端にビームの刃を持ち、手首を回転させて攻撃や防御を行う。ラプラスの箱を巡る戦いの最終決戦でも見られた



REAR



FRONT

SPEC

全高：19.2m
本体重量：42.1t
全備重量：73.3t
ジェネレーター出力：1,440kw
スラスター推進力：61,500kg
センサー有効半径：6,300m
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ビーム・ライフル／ビーム・マシンガン
　ビーム・ナギナタ／シールド

MECHANICAL ANALYSIS

一年戦争末期、MS-06 ザクやMS-09 ドムに変わる次世代量産型MSとして開発された。開発時点で最大級のジェネレーター出力を実現し、ジオン軍初のビーム兵器を扱う機体となる。しかし熟練したパイロット不足や生産速度の遅さなどもあり、戦局を好転させるには至らなかった。「袖付き」においても旧式化が著しく、後方での警備などを主任務としていたようだ。



ネオ・ジオン　量産型MS MS-14J

リゲルグ（袖付き）

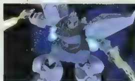
SPEC

全高：21.0m
本体重量：43.7t
全備重量：82.6t
ジェネレーター出力：1,890kw
スラスター推進力：150,800kg
センサー有効半径：8,700m
装甲材質：チタニウム・コンポジット
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ビーム・マシンガン／グレネード・ランチャー／ミサイル・ポッド／ビーム・サーベル／ビーム・ナギナタ



MECHANICAL ANALYSIS

第二次ネオ・ジオン戦争時にMS-14A ゲルググを改修、旧式化していた機体が巨大なウイング・バインダーによって優れた運動性を得た。新兵の訓練用に使用されるが時には実戦にも参加する。ビーム・マシンガンやグレネード・ランチャーを主武装とする。ネオ・ジオンの機体は青紫色に塗られ、ネェル・アーガマとの最終決戦に姿を見せている。



ビーム・ナギナタで勇躍参戦する

リゲルグはビーム・サーベルを基本装備とするが、ラプラスの箱を巡る戦いにおいて使用したのはビーム・ナギナタ。回転させながら戦場へと飛来した。

ジオン残党軍　局地戦用MS MS-14D

デザート・ゲルググ

SPEC

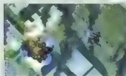
全高：19.8m
本体重量：43.7t
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：ビーム・ナギナタ／ビーム・ライフル／アームド・バスター

MECHANICAL ANALYSIS

MS-14A ゲルググを、砂漠で運用すべく開発された。砂中潜行用スコープを装備したほか、左腕には主武装となる実体弾兵器アームド・バスターを装備。このほかゲルググ従来の武装も備える。生産はごく少数にとどまったという。トリントン基地を襲った機体はMS-06F2 ザクII後期生産型用のロケットブースターをバックパックに装備、飛翔能力も有していた。

主武装のアームト・ハスター

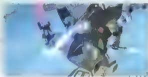
トリントン基地のバイアラン・カスタムに、主武装となるアームド・バスターを放つ。しかし　驚異的な飛行性能を有するバイアラン・カスタムには命中しなかった

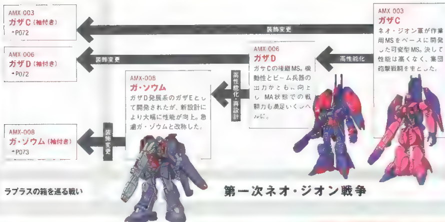




ロケット・ブースターによる飛翔

バイアラン・カスタムを追いロケットブースターで急上昇するが、攻撃をことごとくかわされる。ビーム・ナギナタの接近戦に持ちこむも切り刻まれ、空中という意外な場所で最期を迎える。

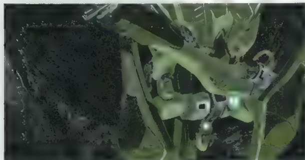




ネオ・ジオン　量産型可変MS　AMX-003
ガザC（袖付き）

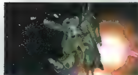
MECHANICAL ANALYSIS

一年戦争後、逃げ延びたジオン軍残党のアクシズが開発した作業用MSを源流とする機体。MS形態から飛行砲台としても運用できるMA形態へ、簡易的な可変機構を持ち、ナックル・バスターによる集団での砲撃支援を基本戦術とした。

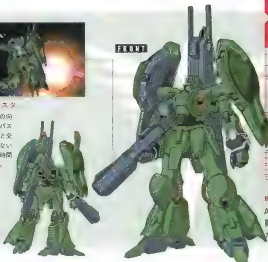


SPEC

- 全高：18.3m（MS時）
- 本体重量：40.8t
- 全備重量：72.5t
- ジェネレーター出力：1,720kw
- スラスター総推力：79,200kg
- センサー有効半径：10,600m
- 装甲材質：ガンダリウム合金
- パイロット：ネオ・ジオンパイロット
- 武装：ビーム・サーベル／ナックル・バスター
  ビーム・ガン



▶ナックル・バスター
ガザCよりも出力の向上したナックル・バスターでジェガン隊と交戦。Eパック式でないため次弾発射まで時間がかかってしまう。



ネオ・ジオン　量産型可変MS　AMX-006
ガザD（袖付き）

SPEC

- 全高：17.0m
- 本体重量：28.7t　全備重量：68.4t
- ジェネレーター出力：2,140kw
- スラスター総推力：98,200kg
- センサー有効半径：10,800m
- 装甲材質：ガンダリウム合金
- パイロット：ネオ・ジオンパイロット
- 武装：ビーム・サーベル／ナックル・バスター／ビーム・ガン／ミサイル・ランチャー／メガ粒子砲（MA時のみ）

MECHANICAL ANALYSIS

AMX-003 ガザCの運用思想を引き継ぎつつ、格闘能力や出力をはじめ全面的な性能向上を図ったMS。コックピット位置なども変更された。

▶ビーム・サーベル
前腕部に収納されており、逆の手で抜き取る。
変形時などは射撃武器としても使用。



ネオ・ジオン　量産型可変MS AMX-008

ガ・ゾウム（袖付き）

SPEC

全高：18.0m
本体重量：31.6t
全備重量：58.2t
ジェネレーター出力：1,840kw
スラスター推進力：92,280kg
センサー有効半径：11,200m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：ビーム・サーベル、ミサイル・ランチャー、ビーム・ガン、ハイパー・ナックル・バスター

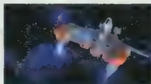
MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争末期に設計、製造されたガザシリーズの発展機で、「袖付き」仕様となったもの。フレーム構造一新にあたり対艦、対要塞用の運用を見据えた装備が追加された。主要武装のハイパー・ナックル・バスターがジェネレーター直結でなくなったため、エネルギー効率が向上し総合能力は大きく上昇している。









▶高速機動形態
スラスターをすべて後方に集中させた形態。
その速さでユニコーンガンダムに肉薄した。

強襲戦仕様に改造

AMX-101E
シュツルム・ガルス
→P075

共同運用コンセプト

AMX-101
ガルスJ
近接戦闘特化型のMS。地球圏にいた技術者も参加しており、連邦系技術も採用したバランスの良い機体だった。

航行用推進機構を流用

AMX 102
ズサ
ガルスJを支援する目的で開発された火力重視のMS。脱着可能の専用ブースターによる一撃離脱戦闘も可能

砲撃戦仕様に改造

AMX 008
ガ・ゾウム

ビーム・キャノン流用

AMX-102
ズサ（袖付き）
→P075

装飾変更

AMX-101K
ガルスK
→P074

ラプラスの箱を巡る戦い

第一次ネオ・ジオン戦争

ジオン残党軍　MS AMX-101

ガルスJ

MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争時、ネオ・ジオンが地球圏攻略のために量産化を視野に入れて開発した機体。がっしりした体躯は中・近距離戦への適性も感じさせ、それまでの主力機だったガザシリーズとは根本的に設計が異なることがわかる。

SPEC
全高：19.5m
本体重量：52.7t
全備重量：78.3t
ジェネレーター出力：2,840kw
スラスター推進力：121,900kg
センサー有効半径：11,200m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：エネルギー・ガン／ビーム・ライフル／ビーム・サーベル／ミサイル・ポッド／フィンガー・ランチャー

ジオン残党軍　砲撃用MS AMX-101K

ガルスK

SPEC
全高：19.5m
本体重量：57.2t
全備重量：78.3t
ジェネレーター出力：2,840kw
スラスター推進力：121,900kg
センサー有効半径：11,200m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：ビーム・キャノン／3連装ミサイル・ポッド／ビッグ・ガン／ジャイアント・バズ

FRONT

REAR

▶高火力でガンタンクⅡ撃破

トリントン基地襲撃ではビーム・キャノンの一撃により、瞬時にガンタンクⅡを爆発に追いこむ。ザクキャノンのビッグ・ガンを携行していたが対空戦闘は不慣れのようで、空からの攻撃で撃破された

MECHANICAL ANALYSIS

AMX-101 ガルスJの派生機で、肩部に大型のビーム・キャノンを搭載した支援型。固定武装のフィンガー・ランチャーなどは廃されている。

ネオ・ジオン 強襲用MS AMX-101E

シュツルム・ガルス

SPEC

全高：19.5m
本体重量：24.9t
全備重量：39.4t
ジェネレーター出力：2,840kw
センサー有効半径：11,200m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：チェーン・マイン／マグネット・アンカー／スパイク・シールド

MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争時、AMX-101 ガルス J をベースとして拠点突破用に開発された。装甲や航行用推進器を大幅にオミットして、ガルスJの半分程度に軽量化。スパイク・シールドは攻防いずれにも効果的で、格闘戦もこなす。





▶近距離格闘戦
スパイク・シールドはもちろん、キックなども使いジェガンとギラ・ズールを撃破。あと一歩でネェル・アーガマへ侵入できるところだった。

▶堅牢なスパイク・シールド
シュツルム・ガルスの「主武装」と言えるスパイク・シールドはザクⅡとギラ・ドーガのシールドを組み合わせたもので、近距離からレーザー攻撃を受けても耐えられる。

ネオ・ジオン 量産型MS AMX-102

ズサ（袖付き）

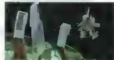
SPEC

全高：15.0m
本体重量：23.7t
全備重量：74.0t
ジェネレーター出力：1,820kw
スラスター推進力：120,400kg
センサー有効半径：10,800m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：30mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ミサイル・ポッド／拡散ビーム砲／ビーム・マシンガン／ショットガン／シールド

▶ショットガン
ショットガンを装備した機体は前線まで出てきてAMX-101E シュツルム・ガルスを援護。ネェル・アーガマの一員となった元ガランシェールのギラ・ズールを撃破する



▶ミサイル・ポッドの支援
本来の運用は前線の友軍を背負ったミサイル・ポッドで支援すること。AMX-006 ガザDと共に得意のミサイル攻撃でRX-0 ユニコーンガンダムを捉えようとした





MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争時、後方支援のため開発された。ほかのMSよりも小さな機体に多数のミサイルを搭載、大型のブースター・ポッドで機動性も高い。「袖付き」仕様機はグリーンに塗装されている。AMS-119 ギラ・ドーガのシールドとショットガンを装備した1機がAMX-101E シュツルム・ガルスと共にネェル・アーガマに取りついた。

系譜図⑧ 水陸両用機の系譜

水陸両用MS開発はゴッグの成功によって拡大。しかしジオン軍敗北により1年戦争以降系譜は途絶えた。

MSM-03
ゴッグ
ジオン軍初の本格的水陸両用MS。水圧対策で丸く厚い装甲を持つが、結果的に防御力を高めている。



水陸両用MSの低コスト化

MSM 07
ズゴック
→P076

格闘戦特化に改造

MSM 08
ゾゴック
→P077

ジェネレーター流用

MS-06F
ザクII
ジオン軍の緒戦の快進撃を支えた傑作MS。高い汎用性を持ち、さまざまな改修機が開発された



MSM 04
アッガイ
ザクIIのパーツを流用して、低コスト化を目指した水陸両用MS。低出力のため廃熱が少なく、隠密性に優れる。



共同運用コンセプト

中距離支援仕様に改造

MSM 04G
ジュアッグ
→P077

一年戦争



ジオン残党軍　水陸両用量産型MS MSM-07

ズゴック

SPEC

全高：18.4m
本体重量：65.1t
全備重量：96.4t
ジェネレーター出力：2,480kW
スラスター推進力：83,000kg
センサー有効半径：5,200m
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵
武装 アイアン・ネイル／メガ粒子砲／240mmロケット・ランチャー

MECHANICAL ANALYSIS

ジオン軍が一年戦争時に投入した、優秀な水陸両用MS。両腕のアイアン・ネイルとメガ粒子砲、頭部の240mmロケット・ランチャーにより攻撃力は高く、水陸どちらのフィールドでも軽快な機動力を発揮する。



▶上陸作戦
トリントン基地ではメガ粒子砲を放ち、地球連邦軍にとっては一年戦争時と変わらぬ脅威。

ジオン残党軍　特殊任務用MS MSM-08

ゾゴック



ブーメラン・カッターが戦況を動かす

格闘戦を重視した機体だが、ブーメラン・カッターは飛び道具と格闘を合わせた中間的な使い方の武器。ただし独特の軌道から、よく狙う必要がある



FRONT



REAR

SPEC

全高：18.2m
本体重量：77.4t
全備重量：107.3t
ジェネレーター出力：1688kw
スラスター推進力：97,400kg
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：ヒート・ソード／ブーメラン・カッター／アーム・パンチ／ジャイアント・バズ／シュツルム・ファウスト

MECHANICAL ANALYSIS

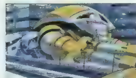
MSM-07ズゴックを、格闘戦能力の向上に重きを置いて発展させた。伸縮式のアーム・パンチ、頭部のブーメラン・カッターなどユニークな武装が特徴。トリントン基地に現れた機体は、ヒート・ソードとシュツルム・ファウストを持っていた。開発から17年後、片腕になっても戦い続けたことが完成度の高い機体であることを証明した。

ジオン残党軍　特殊任務用MS MSM-04G

ジュアッグ

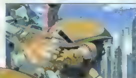
3連装ロケット・ランチャー

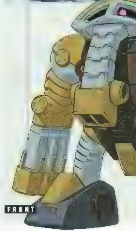
腕の3連装ロケット・ランチャーや胸のビーム砲など、拠点攻撃用に作られた武装の威力は旧型ということを差し引いても高い。MSに対して十分過ぎる効果を発揮した。



強引な格闘戦も展開

本来は拠点攻撃や後方支援が役割のシュアッグだが、パイロットのテクニックが高く格闘戦でネモを撃破。新型相手に格闘で互角以上に戦っていた。





FRONT



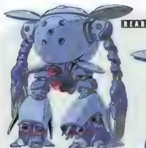
REAR

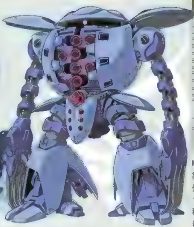
SPEC

全高：17.4m
本体重量：137.3t
全備重量：198.7t
ジェネレーター出力：2,660kw
スラスター推進力：97,900kg
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：3連装ロケット・ランチャー／ビーム砲

MECHANICAL ANALYSIS

一年戦争時、地球連邦軍総司令部のあるジャブロー攻略用に特化した機体として開発された。そのための装備として両腕の3連装ロケット・ランチャーや胸部のビーム砲、さらに重装甲を備えている。U.C.0096時は連邦の首都ダカールを襲い、迎撃のジム隊を相手に重武装の威力をいかんなく発揮するが、惜しくも撃破された。







▶唸るアイアン・ネイル

強力なアイアン・ネイルはU.C.0096になっても健在で、連邦軍MSを力技で撃破した。しかしカプールも、善戦の末に撃破されたことが惜しまれる。

ジオン残党軍　水陸両用量産型MS AMX-109

カプール

SPEC

全高：16.5m
本体重量：38.7t
全備重量：57.5t
ジェネレーター出力：3,680kw
スラスター推進力：6,800kg
センサー有効半径：12,300m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：アイアンネイル／レーザー・ビーム／ソニック・ブラスト／ミサイル

MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争時にネオ・ジオンで開発された水陸両用MS。腕部や脚部などを収納することで球状となり、水上および水中を高速移動する。ダカールおよびトリントン基地襲撃に投入された機体がRMS-179 ジムⅡやRAG-79 アクア・ジムを撃破した。



ネオ・ジオン　攻撃型合体可変MS AMX-107

バウ（袖付き）

SPEC

全高：22 05m
本体重量：38.2t
全備重量：70.9t
ジェネレーター出力：2,410kw
スラスター推進力：75,040kg
センサー有効半径：12,200m
装甲材質：ガンタリウム合金
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／マシン・キャノン／ミサイル／ビーム・マシンガン／シールド

MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争時、アクシズが開発。上半身（バウ・アタッカー）と下半身（バウ・ナッター）が変形合体する。開発時は無人機だったバウ・ナッターにコックピットが設けられたほか、60mmバルカン砲やミサイルなど武装も増えている。



ネオ・ジオン　要塞防衛用MS MS-12

ギガン（袖付き）

SPEC

全高：脚部改造機により不明
本体重量：脚部改造機により不明
全備重量：脚部改造機により不明
ジェネレーター出力：736kw
スラスター推進力：脚部改造機により不明
装甲材質：超硬スチール合金
パイロット：ネオ・ジオンパイロット
武装：180mm無反動砲　ガトリング・ガン／クロー・アーム

MECHANICAL ANALYSIS

支援攻撃向きの火砲、二足歩行型でない脚部、操縦手と砲手の2人が搭乗するなど、ジオン軍MSながら地球連邦軍のRX-75ガンタンクに似た思想を感じさせる。脚部にプロペラントタンクとスラスターを装備した宇宙戦仕様も存在。



ネオ・ジオン　量産型MS AMX-004G

量産型キュベレイ

SPEC

全高：18 4m
本体重量：35.2t
全備重量：62.1t
ジェネレーター出力：1820kW
センサー有効半径：10,900m
パイロット：ネオ・ジオン兵
武装：ハンド・ランチャー／ビーム・サーベル／ファンネル／アクティブ・カノン

MECHANICAL ANALYSIS

ネオ・ジオンの指導者ハマーン・カーンの専用MS、AMX-004 キュベレイを量産型とした。主武装は変わらずファンネルだが、搭載数が増えたほかアクティブ・カノンなども追加。ネオ・ジオン内乱ではニュータイプ部隊の乗機として投入された。

ヒート・ダート

肩部、左腕、腰部に計14本装備している小型のヒート系兵装。使用時は刀身が高温になり、MSの装甲を貫通するほどの威力を発揮する。

ジャイアント・バズ

かつてはMS-09ドムの主兵装として使われた兵装。安定した動作で確実なダメージを与えられる実体弾火器で、トリントン基地襲撃の際にも使用。







ジオン残党軍　試作MS MS-08TX/S

イフリート・シュナイド

SPEC

全高：17.2m
本体重量：52.4t
全備重量：84.4t
ジェネレーター出力：2,202kW
スラスター総推力：77,000kg
センサー有効半径：12,200m
装甲材質：超硬スチール合金＋一部ガンダリウム合金
パイロット：ジオン残党兵
武装：ヒート・ダート／ショットガン／ジャイアント・バズ

MECHANICAL ANALYSIS

一年戦争期に少数生産された白兵戦用試作MS、MS-08TXイフリートの改修機。十数年にわたる改修で総合性能が大きく向上しており、なかでもジェネレーター出力は原型機の2倍以上となっている。体中のハードポイントにヒート・ダートをマウント、足裏にはツメ状のアンカーが内蔵され、特に接近戦で高い戦闘力を発揮する。



ヒート・ダートの鋭い斬れ味はMSの装甲を紙のように裂いた。



地球連邦軍　準サイコミュ試験用MS ARX-014

シルヴァ・バレト

SPEC

全高：22.2m
本体重量：33.5t
全備重量：70.5t
ジェネレーター出力：5,250kW
スラスター総推力：87,300kg
センサー有効半径：13,500m
装甲材質：ガンダリウム合金
パイロット：ガエル・チャン
武装：60mmバルカン砲／ビーム・サーベル／ビーム・ライフル／インコム／有線式ハンド／ビーム・キャノン／対艦ミサイル／2連装ミサイル・ランチャー／ビーム・ランチャー／グレネード・ランチャー

PILOT

ガエル・チャン



カーディアスの秘書とボディーガードを務める屈強な元軍人。カーディアス死後はサイアムに仕える。主が夢を託したバナージを守るべく、シルヴァ・バレトでネオ・ジオングに挑む。

▶インコム

背部のバックパックに格納された準サイコミュによる有線式兵器。ドーベン・ウルフのインコムに改良を加えたもの。

▶有線式ハンド

前腕部を分離させてオールレンジ攻撃を行う準サイコミュ兵器。ビーム・サーベルなどの武装を持たせて使用することもできる。

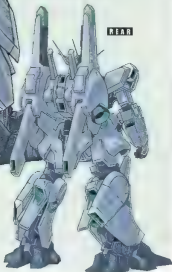


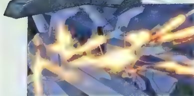
MECHANICAL ANALYSIS

第一次ネオ・ジオン戦争終結後に接収したAMX-014 ドーベン・ウルフをもとに、連邦軍が開発した準サイコミュ搭載MS。ニュータイプの研究で知られるオーガスタ研究所の元スタッフらがアナハイム・エレクトロニクス社で改修を行った。準サイコミュの技術研究用テストに使用された後、一部の機体がビスト財団に引き渡された。

FRONT

REAR





▶バナージを守るためガエルは全武装を駆使してネオ・ジオングに挑む。

episode 7 一年戦争の機体群

ここではepisode 7の一年戦争を振り返るシーンで登場した主な機体の中から、このシーンでのみ登場するメカを紹介しよう。



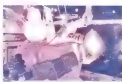
地球連邦軍 試作戦闘機 FF-X7-Bst
コア・ブースター



地球連邦軍 汎用試作型MS RX-78
ガンダム

ジオン軍 グワジン級大型戦艦
グレート・デギン



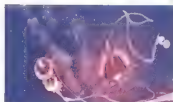


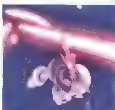
地球連邦軍 強襲揚陸艦 SCV-70
ホワイトベース

地球連邦軍 宇宙戦艦
マゼラン

ジオン軍 先行量産型MS YMS-14
先行量産型ゲルググ

ジオン軍 ニュータイプ専用試作型MA MAN-08
エルメス







ジオン軍 指揮官用量産型MS MS-06S
指揮官用ザクII

ジオン軍 宇宙重巡洋艦
チベ



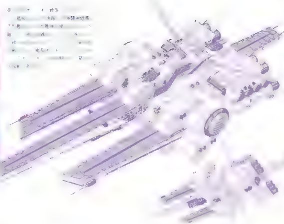
ジオン軍 宇宙空母
ドロス



ジオン軍 拠点攻撃用試作型MA MA-08
ビグ・ザム

戦艦や大型輸送機、海上兵器など、MS以外に活躍したメカの数々
これらの機体は、ときにMSを凌駕する活躍場面もあった。



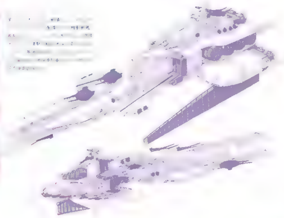


地球連邦軍 強襲揚陸艦

ネェル・アーガマ

全長：380m

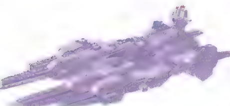


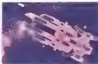


地球連邦軍 機動戦艦

ラー・カイラム

全長：487m





地球連邦軍 宇宙戦艦

ゼネラル・レビル

全長：630m




地球連邦軍 超巨大輸送機

ガルダ

全長：317m

地球連邦軍
ヒマラヤ級対潜空母

[illegible]

地球連邦軍
サラミス級宇宙警備艇

[illegible]

地球連邦軍
ミデア改

地球連邦軍の大気圏内用輸送機。MS輸送用コンテナが配備され、戦場へのMS輸送という危険な任務に投入され[illegible]

地球連邦軍
イージス艦

港に停泊しているアーレイ・バーク級ミサイル駆逐艦。宇宙世紀の時代においても、海上保安を担っている。

地球連邦軍 潜水艦
ボーンフィッシュ

地球に降下したネオ・ジオン艦ガランシェールを捜索していたと思われる地球連邦軍の潜水艦。

地球連邦軍 宇宙戦艦
アイリッシュ級
（画面左上）

地球連邦軍 宇宙輸送艦
コロンブス
（画面中央）

ネオ・ジオン 宇宙戦艦
レウルーラ
全長：250m

ネオ・ジオン 航宙貨物船
ガランシェール
全長：146m

小型機・その他

宇宙で、地上で、MSや艦船の戦闘をサポートし、時には重要な役割をはたした小型機や輸送機、そして特殊な兵器群

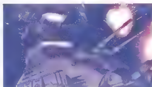
ネオ・ジオン 軽巡洋艦

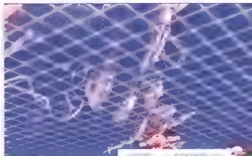
ムサカ



ネオ・ジオン 軽巡洋艦

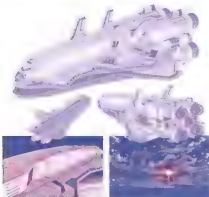
ムサイ改





ジオン軍 軽巡洋艦

ムサイ



地球連邦軍

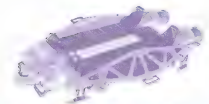
バンシィ打ち上げ用シャトル



民間 TOLRO-800

トロハチ

全長：3m



地球連邦軍 サブフライトシステム

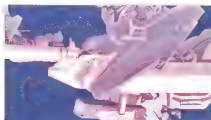
89式ベースジャバー





ジオン残党軍 輸送機

ファット・アンクル改



地球連邦軍 サブフライトシステム

94式ベースジャバー



地球連邦軍 大気圏内用サブフライトシステム

ベースジャバー



地球連邦軍 対モビルスーツ重誘導弾 M-101A3

リジーナ



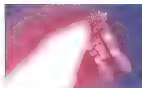
地球連邦軍 メガ粒子砲 FHA-02MI

メガ・バズーカ・ランチャー



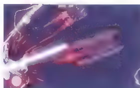
地球連邦軍 航空機

デッシュ



ネオ・ジオン 宇宙用移動砲台

スキウレ



ネオ・ジオン 宇宙用サブフライトシステム

シャクルズ



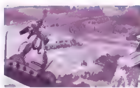
ジオン残党軍 航空機

ルッグン



ジオン残党軍 爆撃機

ド・ダイⅡ



ジオン残党軍 大気圏内用サブフライトシステム YS-11

ド・ダイYS



ジオン残党軍 大気圏内用サブフライトシステム

ベースジャバー

ここからは『機動戦士ガンダムUC』で新規にデザインされた、主要なMSの設定画を紹介していこう。これらは制作された設定画のごく一部で、全体としてはこの10倍以上の量が描き起こされている

ユニコーンガンダム

ビーム・マグナム
ユニコーンガンダムのメイン武装。エネルギー源のEパックをマガジン状態で携帯し、エネルギーが切れたら装填できる機構を持つ

ユニコーンモード 頭部
「ユニコーン」という名を体現するユニコーンモードの頭部。フェイス部分は完全に覆われていて、カメラアイは外から確認できない

ユニコーンモード コックピット
頭部のドーム状のパーツが目立つ。パイロットの生体スキャンを行う際には頭上とグリップ部のパーツが前にスライドする。

ビーム・ガトリングガン
4つの銃身を持ち、正面から見て時計回りに回転しながら連続でビーム弾を撃ち出す。大型のEパックにより数十発程度が発射可能

ハイパー・バズーカ
大型バズーカ弾を射出する。フルアーマー時の主要武装。射撃時、砲身が伸びたり、バズーカ弾のマガジン交換機構がある

ユニコーンガンダム（ユニコーンモード）
ユニコーンモードの直立状態。ほかのMSと比較して脚の長いプロポーション。装甲にはデストロイモードで分割する部分も確認できる。

ユニコーンモード専用シールド
普段左肘に装備[illegible]ルド。ユニコーンモードではIフィールド発生部分が隠され、物理衝撃に対しての備えが重視される

コントロール・グリップ
ユニコーンモードではグリップ型のコントロール装置で操作する。[illegible]制などのスイッチが並ぶ

コックピット開閉機構
戦艦内などで頻繁にアップで描かれるコックピット部分も詳細な設定画が存在。開閉機構についても説明がされている

ユニコーンモード 足裏
ユニコーンモードでは前後がほぼ平面になるよう揃えられている。地上での安定性を向上させるときには前半部のツメが展開する。

ユニコーンモード ビーム・サーベル
前腕部のビーム・サーベルはユニコーンモードだと開ききらず、逆の手で抜いて使用する。なお肩にも同じものを装備している。

デストロイモード コントロール・グリップ

コントロールグリップ部は握る形ではなく、指先をかけて手のひら全体で覆う形へ。変形によって操作も変わる珍しいシステムだ。

頭部変形パターン

デストロイモードへの変化でもっとも複雑な頭部は詳細な変形シークエンスが設定されている。フェイスマスクはヘルメット部分に収納

デストロイモード 頭部

ブレードアンテナが展開し、マスク部分が収納されると「ガンダムフェイス」が現れる。側頭部の細かいパーツ移動も確認できる

デストロイモード ビーム・サーベル

デストロイモードでは前腕部のビーム・サーベルが手首方向まで折り返し、ビーム・トンファーとして機能するようになる。

ユニコーンガンダム（デストロイモード）

もっとも細かくラインが描かれた画稿では、パーツ分割により現れたサイコフレームや腰、足首の細かいパーツも詳細に描かれている。

デストロイモード コックピット

コックピットの背面全体にユニットが集まり、肩から頭にかかる部分も完全に囲われたように。揺りかごをイメージさせる形だ

デストロイモード 足裏

デストロイモードではハイヒールのように踵と前方部がはっきりと分かれた形に。ツメの展開はユニコーンモードと同様に機能する

デストロイモード 専用シールド

デストロイモードでは中央部分が展開し、Iフィールド発生装置が露出。裏側を見ると上下に大きく伸びていることがわかる

6話待機時のフルアーマー状態

フルアーマーの出撃前に艦内で武装した状態も3Dモデルで設定されていた。これにバズーカとブースターが装備され出撃となる

バンシィ

▶デストロイモード　頭部

大きく広がったアンテナが特徴的。それだけに、さまざまな角度でアンテナがどう見えるかを設定しておくことが作画上重要となる。

▶ユニコーンモード　頭部

武装を除けばユニコーンガンダムと最も差異のある頭部。アンテナ部が目立つが、フェイスマスクやバルカン部分も違いがある。

▶バンシィ(デストロイモード)

デストロイモードでの設定画稿では、両腕のアームド・アーマーもそれぞれ使用時の状態へと変形しているのがわかる。

▶バンシィ(ユニコーンモード)

バンシィにアームド・アーマーBSとアームド・アーマーVNを装備した状態の設定画稿。アームド・アーマーのボリューム感が強い。

■展開状態

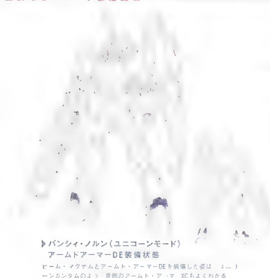
■収納

▶右腕追加武装

アームド・アーマーBSと呼ばれる射撃武器。射撃時は折りたたまれた部分が前方へと展開し、腕ごと対象へ向けて使用する。

▶左腕追加武装

アームド・アーマーVNと呼ばれる格闘武器。左拳を覆うような巨大なツメで相手を掴み、超振動によって粉々に粉砕する。



▶バンシィ・ノルン(ユニコーンモード)
アームドアーマーDE装備状態

ビーム・マグナムとアームト・アーマーDEを装備した姿は ユニコーンカンタムのよう 背部のアームト・ア・マ XCもよくわかる



▶バンシィ・ノルン(ユニコーンモード)
アームドアーマーDE背面装備状態

ア ムド・ア マ DEを背中に装着した状態。アームド・アーマーDEのブースター機能を利用して 移動速度を重視した形態た



▶バンシィ・ノルン(デストロイモード)
アームドアーマーDE背面装備状態

デストロイモ トになると、各ア ムト・ア マ も変形 特に背部のXCによ て巨大化したような印象を受ける



▶バンシィ・ノルン(デストロイモード)
アームドアーマーBS装備状態

デストロイモートでアームド・アーマーDEを背部に装備すると XCの展開と合わせてフレームが紋章のようにも見える



▶ビーム・マグナム

バンシィ・ノルン専用のビ ム・マグナム 銃身の下部にリボルビング・ランチャーか追加され 火力が強化されている。



▶アームト・アーマーXC 展開機構

背面に追加で装着されたア ムド・アーマーXCの詳細画稿 ユニコーンモート時とデストロイドモート時の違いがよくわかる

シナンジュ

▶コックピット
コックピットではモニター上部にもネオ・ジオンの紋章が入っており、シナンジュの胸部とイメージがシンクロする

▶ビーム・ライフル
基本武装であるビーム・ライフル。銃身の下にはグレネード・ランチャーを装着できるようになっている

▶頭部
頭部のアップ画稿ではバルカン周囲の造形や、普段だとブースターでなかなか見にくい後ろからの様子もわかりやすい

▶専用バズーカ
ギラ・ズールなどよりも大型の専用バズ カ 上部のセンサーが特徴的だ

▶背部スラスター
加速時には上下パーツが開き、内部のスラスターがせり出してくるようになっている。

▶シナンジュ
基本の設定画稿。脚部のブースターや肩のアーマーによって恰幅のいい印象。プロペラントタンクも特徴的といえる。

▶シールド
シールドの裏面には武装がセットされている。上部にビームアックス、下部にはグレネード・ランチャー

▶コックピット開閉機構
胴体部の複雑な装甲の重ねあわせを解説した画稿。開く順番や、動く装甲の個別の形状などが説明されている。

▶脚部・足裏
脚部の外側にはフレキシブルスラスターがあり、加速時に動くことで、より効率的な加速を実現する

ネオ・ジオング



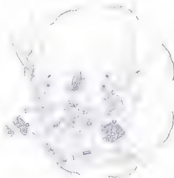
▶ネオ・ジオング（ブースター装着状態）上面

合体しているシナンジュのアップ画稿。背中にシールドが上下逆に装備された状態で収まっている



▶ネオ・ジオング（ブースター装着状態）

ネオ・ジオング登場時のブースター装備状態。そのサイズは、かのビグ・ザムのほぼ2倍に達する





▶ネオ・ジオング（ブースター分離状態）下面

ブースター分離後、スカート内のスラスターが展開された状態。episode 7 では展開する様子が描写されている。



▶ネオ・ジオング（サイコシャード展開状態）上面

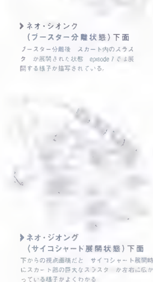
ネオ・ジオングを上面から見ると背部の巨大な4連ブースターがよくわかる。サイコシャードとの距離感も掴みやすい。

▶ネオ・ジオング（サイコシャード展開状態）

肩や腰に装着していたサイコシャードが展開された状態。仏像における光背のような、一種の神々しさも感じる

▶指先

近づくシェスタを攻撃していた指先は、ビーム砲に加えて、さらに小型のハッキング用ワームロッドが出てくる。



▶ネオ・ジオング（サイコシャード展開状態）下面

下からの視点画稿だと、サイコシャード展開時にスカート部の巨大なスラスターが左右に広がっている様子がよくわかる

リゼル

頭部
アンテナが量産機ならぬ雰囲気を持つ頭部。カメラアイの部分はシールドを取った場合の内部構造も設定が起こされている

ビーム・ライフル
エネルギーパック交換式のMS時におけるメイン武装。ウェイブライダー時はシールドと腰部のパーツで挟む形で合体する

シールド
MS形態だと左肘に固定されたシールド。内側にはビーム・キャノンが組みこまれており、変形時は進行方向へ射出するメイン武装となる

ビーム・サーベル
ビーム・サーベルは前腕部の外側にあるボックスに収納されており、使用時に射出されるシステム。

リゼル
ビーム・ライフルを右手に持った基本となる装備状態。肩部や腕部といった情報量の多い部分も細かく設定されている

背面とバックパック
普段は見ることができないバックパックを外した状態のリゼルとバックパックの裏側。シンプルなジョイントでつながっている。

・胸部ブロックを上へ起こす
・フロントスカートを前方へ展開

足を上方へせり上げます
ウェストから股に出来た
スペースへ脚を収納します

足をバックパックの
サイドブロックへ収納

〜ここまではMSZ-006 Zガンダムと

サブフライトシステム運用時
他のMSと連係した運用を想定されており、サブフライトシステムの役割も果たす。そのために運搬MS用のグリップが出てくる機構も存在。

変形シークエンス
ウェイブライダー形態への変形機構はMSZ-006 Zガンダムを彷彿とさせる。変形設定は関節の位置や可動範囲といった部分も注目点だろう

クシャトリヤ



▶サブマニピュレーター
ファンネル・コンテナの先に収納されている。画稿では折りたたみの機構や内側も詳細な描写がある。

▶クシャトリヤ　頭部
大きなアンテナの目立つ頭部。カメラはモノアイで、ジオン系MSとひと目でわかるデザインだ

▶ファンネル・コンテナ
肩に4つ装備されたファンネル・コンテナの裏側がわかる設定画稿。アーマー部からの動きも説明されている。

▶クシャトリヤ　足裏
巨大な脚部を支える足裏。中央部には[illegible]の小型スラスターがあるのがわかる。

▶クシャトリヤ
上腕や胸部、そして特徴でもあるバ[illegible]ルとのサイズ差もひと目で納得だ

▶ファンネルミサイル　コンテナ
改修後ファンネルミサイルのコンテナとなった肩アーマー部。ファンネル時と見比べると違いがよくわかる

▶クシャトリヤ・リペアード
一度破壊されたクシャトリヤをネェル・アーガマで再び戦闘できるよう改修。右脚は仮のもの。左腕は直接トマホークが接続されている。

▶クシャトリヤ・リペアード　武装
リペアードへの改装で増えたグレネード・ランチャーとハイパー・ビーム・ジャベリン。

▶クシャトリヤ・リペアード　頭部
破壊されたモノアイも、ネェル・アーガマで修復したため、地球連邦軍MSのようだ。

シャンブロ

▶シャンブロ
アームの複雑な関節や、首回りの可動部分も細かく設定。水陸両用らしさのある肩アーマーの重なる部分も見所だ



▶シャンブロ　水中進行形態
登場時にも見せた、水中行動時の形態。一年戦争でのMAM-07 グラブロに近いシルエットをしている

▶シャンブロ　水中格闘形態
両腕を前方へ向けてツメを広げた格闘形態。肩にあたるアーマーも上面へ移動しメガ粒子砲が前面へと向いている

▶リフレクタービット
リフレクタービットは打ち出し時は棒状だが、空中で外装を分離してプレートが展開する

ローゼン・ズール

▶頭部
頭部の周囲も複数の装甲が重層的に囲んでおり、花のようにも見える

▶ローゼンズール
サイコ・ジャマーコンテナやインコム・ユニットなど上半身はボリュム感がありながら　足部はハイヒールというメリハリのあるデザイン

▶サイコ・ジャマー
肩のユニットから射出されるサイコ・ジャマーはまさしく薔薇のような形状　奥の方にはストックも確認でき　劇中では6個を扱った

▶シールド
初期は左腕クロー側についていたシールド。Iフィールド・ジェネレーターとメガ粒子砲を持つ、終盤では破損した右腕に取り付けられていた。

▶足裏
非常に高いハイヒール状の足部。宇宙空間のみでの運用ならば、機体重量を支えるのは最小限で問題ないがゆえの形状と思われる。

▶インコム・ユニット
前腕部はクローを有線で操るインコム・ユニット。画稿からは中継インコムが手首側に重なっていて配置されていく様子も描かれている

ギラ・ズール

▶ギラ・ズール（キュアロン機）
キュアロン機は固定シールドと別に装備でシールドを持ち　シュツルム・ファウストを多数所持しているのが特徴だ

▶ギラ・ズール（親衛隊機）
親衛隊仕様はシールドが別武装で　肩のスパイクが特徴的　細かい部分では大腿部のスラスターなども変化している。

▶ギラ・ズール（アンジェロ機）
持っているランゲ・ブルーノ砲・改は、バックパックに巨大なプロペラントタンクとスタビライザーが装着された高火力武装。

▶ギラ・ズール
一般兵用の最も基本的な装備状態　頭部の左側にマークがあるのはカランシェール隊や親衛隊など所属部隊で付けられたものだけだ。

2nd CHAPTER

STORY & CHARACTER

ストーリー＆キャラクター



宇宙世紀100年に刻まれた 戦乱の軌跡

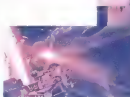
機動戦士ガンダム シリーズの中核となる歴史軸「宇宙世紀」。巨大人型兵器・モビルスーツが誕生し、人類は大きな戦乱に巻き込まれる。希望に満ちていた世紀が一体なぜ ? 『機動戦士ガンダムUC』では、歴史の裏に秘められていた事実が明らかになる

宇宙世紀年表 U.C.0001 - 0100

作品名	年	月	日	全体史
UC	0001			[illegible] 連邦首脳を投き [illegible]
	0035			[illegible]
	0050			[illegible] は90億人を超える
	0068			サイド3、ムンゾ自治共和国議長、ジオン・ズム・ダイクン、独立宣言の直前に死去
				ジオンの遺児、キャスバル・レム・ダイクンとアルテイシア・ソム・ダイクン、サイド3を離れる
	0069			ジオン公国発足。その主導者はかつてジオンを支えたザビ家一党だった。
	0071	1		ジオン公国ギレン・ザビ「優性人類生存説」を発表 地球連邦政府打倒を説く
	0073			ジオン軍、新兵器の開発に成功。兵器タイプをモビルスーツと命名する
	0078	3		地球連邦軍、RX計画を始動
			3	[illegible]
		4	10	ジオン軍 サイド2「アイ[illegible]
		1	5	[illegible] 地球連邦軍の艦隊と接触 本格的な艦隊戦 [illegible]
			6	[illegible]
			3	[illegible]
		3	18	[illegible]
			7	地球連邦軍 ペガサス級強襲揚陸艦ホワイトベースとRX-78ガンダム 開発完了
			8	ジオン軍特務部隊がサイド7を急襲 史上初のMS同士による戦闘が発生
MS IGLOO2 重力戦線		9	18~23	ホワイトベース、RXシリーズを回収し、ルナツー経由でジャブローへ向かうも北米へ。
			4	ガルマ・ザビ大佐戦死。シャア・アズナブル少佐、この[illegible]
		10	6	ジオン軍ギレン・ザビ総帥、ガルマ・ザビ追悼式の場で、全世界に対して演説を行なう。
			5	ランバ・ラル隊 白兵戦闘中に ラル大尉戦死 2日後 [illegible]
一年戦争	0079		7	地球連邦軍 オデッサ方面に展開するジオン軍を攻撃。[オデッサ作戦]
		11	[illegible]	オデッサ陥落 ジオン軍残存兵力の一部が地上各方[illegible]
			30	[illegible] 失敗。[ジャブロー降下作戦]
				[illegible]
機動戦士ガンダム			2	地球連邦軍 ティアンム艦隊及び複数の艦隊がジャブロー基地より出撃。
			9	[illegible]
ポケットの中の戦争 0080			24	地球連邦軍 ジオン軍ソロモン要塞を攻略 ドズル[illegible]
			25	[illegible]
		12	29	[illegible]
			30	[illegible]
			31	地球連邦軍残存兵力 ジオン公国最終防衛拠点「ア・バオア・クー要塞」に攻撃開始。
			翌日	ジオン軍ギレン・ザビ総帥、キシリア・ザビ少将が相[illegible]
			31	ジオン軍各部隊 603技術試験隊の支援を得て「Eフィールド」より撤退を開始

U.C.POINT＞1
始まりはテロの悲劇から

改暦の祝典が開催される首相官邸「ラプラス」が、テロで消失。そこで失ったのは人類の歴史を変える大いなるものだった



新世紀の可能性を奪った惨劇

U.C.POINT＞2
宇宙と地球の軋轢

半世紀が過ぎると、地球政府は移民政策を凍結してしまう。資源を供給するのみとなった90億の宇宙移民者に、地球への怒りが蓄積する





宇宙移民の不満が独裁者を作り出す

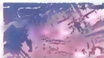
初めの小さな一歩が人類を大きな不幸に引きずりこんだ

多くの人々がスペースコロニーで生活する宇宙世紀。サイド3の思想家、ジオン・ズム・ダイクンは「宇宙に進出した人類は、やがてその広大な環境に適応し、高い洞察力と認識力を持つようになる」とニュータイプの出現を予言した。しかし、最初の100年中約20年は、統べるアースノイドと虐げられるスペースノイドの争いで、総人口の半数以上が死亡する悲劇の時代となった。



U.C.POINT＞3

大規模な全面戦争が勃発



宇宙移民者の不満に便乗したザビ家率いるジオン公国。虐殺も厭わない戦法は復讐の連鎖を生む。



コロニー落としは地球環境を激変させた

U.C.POINT＞4

誤解されるニュータイプ

戦争がニュータイプを排除しあう関係に仕立てる

人類を革新へと導くはずだったニュータイプは、皮肉なことに戦争から生まれた。それ故に、戦うことに利用され続ける運命となる

U.C.POINT＞5

ジオンの消滅

正統後継者のシャアも夢を実現できなかった



真の宇宙世紀憲章には人類が求めた未来が……

シャアが行方不明となり、残党に祭り上げられたミネバが怨嗟に終止符を打つ。ジオン共和国は自治権を放棄し、宇宙移民独立の夢も消え去った。

宇宙世紀の基本方針を示す宇宙世紀憲章には「将来、宇宙に適応した新人類の発生が認められた場合、その者たちを優先的に政府運営に参画させることとする」と記されていたが、発表直前に起こったテロで失われてしまう。後に公開された際、その条項は削除されていたが、地球連邦政府は本来、ジオンが提唱する理論と同じ志を持っていたのだ。宇宙世紀0096年、ミネバ・ザビによってこの事実が公開されるが、スペースノイドの恨みとアースノイドの増長が融和することはなく、その後も争いが続いていく。

	年	月	日	出来事
デラーズ紛争	0080			[illegible]
			28	旧ジオン軍部隊の[illegible]トス[illegible]ザビ中将の[illegible]とともに[illegible]惑星アクシスに到着
	008[illegible]	8	15	[illegible]ト」を結成、ゲリラ活動を開始
		8	3	[illegible]
			[illegible]	[illegible]
	0083		2	アルビオン、コロニー[illegible]下阻止[illegible]デラーズ・フリート残存部隊も壊滅
		12	4	[illegible]
		3	0	[illegible]ーズの登録を採用
	0084	9	2	[illegible]ご地球連邦軍[illegible]編入する
	0085	7	31	[illegible]大量虐殺を行う。【30バンチ事件】
		3	2	エゥーゴ、サイト7「グリーンノア1」で運用されていた試作MSを強奪する
		5	11	エゥーゴ、地球連邦軍ジャブロー基地を襲撃するも[illegible]力は撤退しており戦果なし
	0087	8	17	エゥーゴの指導者ブレックス・フォーラ准将暗殺。今際の際、シャアに後事を託す
		10		地球圏へ帰還したアクシス、ティターンズと盟約を結ぶ
		11	16	エゥーゴ、ダカールの連邦議会を占拠。シャアが演説[illegible]
		1	18	エゥーゴと手を結んだアクシズ[illegible]、惑星基地アクシ[illegible]
				[illegible]旗艦「ドゴス・ギア」内で暗殺
			2	エゥーゴ、アクシズが占領するグリプス2の奪取に成功【メールシュトローム作戦】
		2	22	アクシズを含めた乱戦の最中にティターンズが壊滅し、エゥーゴも戦力の大半を喪失
			28	ネオ・ジオンと名称を改めたアクシズは、各サイドへ部隊を派遣、それらを制圧する
第一次ネオ・ジオン戦争	0088	3		エゥーゴ残存艦艇「アーガマ」、サイト1「シャングリ[illegible]」
		8		ネオ・ジオン、地球に対して本格的な侵攻を開始
			29	[illegible]
		10	3	ネオ・ジオン、ダブリン市にサイト4のコロニーを落下させる
		11	14	地球連邦政府、ネオ・ジオンにサイト3を譲渡。ネオ・ジオンが地球よりの撤退を開始
		12	25	ネオ・ジオンでグレミー・トトが反旗を翻す。反乱軍とネオ・ジオン軍の間に戦闘が勃発
			6	反乱軍、サイト3「コア3」と小惑星基地アクシズを衝突させる
	0089		17	エゥーゴ、ネオ・ジオンを制圧。ハマーン・カーンは戦死、ミネバ・ザビが行方不明に。
		3	15	[illegible]トリスⅡ」が出航する。
	0090	3		地球連邦、反地球連邦運動の抑えを目的とした外郭[illegible]
	0092	12	22	シャア・アズナブルを総帥に戴くネオ・ジオン艦隊がスウィート・ウォーターを占拠
	0093	2	27	シャア総帥、インタビュー番組で地球連邦政府に対する事実上の宣戦布告を発言する。
		3	4	ネオ・ジオン、5thルナを地球へ落下させ、地球連邦[illegible]
		3	12	ネオ・ジオン、保有戦力引き渡しを偽装した奇襲で、アクシズを奪取
			同日	ネオ・ジオン、地球に対するアクシズ落としに失敗。シャア総帥の消息が途絶える
UC	0096			ルウム宙域にある独立コロニー、インダストリアル7が襲撃を受け市民が多数死亡
				ジオン軍残党勢力によってダカール市にある連邦議会ビルが破壊される
				[illegible]
				ザビ家の生き残りミネバ・ザビにより、失われた真の宇宙世紀憲章が発表される
				[illegible]内でブッホ・ジャンク社の一団と交戦
	0100			ジオン共和国、自治権を放棄。これにより連邦政府は一連の戦乱終結を宣言

宇宙世紀の就活戦線

機動戦士カンタム_シリーズで戦いつづけるMSや、戦いから勝利を目指す組織たち そのどれもが、技術者・メーカーの開発努力かなければ成立しなかった 思わず就職したくなる そんな軍事産業の興亡こそ真の戦いた

紹介企業ファイルNo.1

アナハイム・エレクトロニクス社

最初の百年を制した世界最大コンツェルン

代表商品 νガンダム、ジェガン・シリーズ
本拠地 地球
企業評価 事業規模★★★ 創出性★★ 展開力★★★

ラプラスの箱をちらつかせ、初代当主のサイアムが築いた地球連邦政府との太いパイプ アナハイム・エレクトロニクス社はその影響力と強く結びつき政財界を牛耳る存在へと登[illegible]

自社の巨大宇宙ドック艦もまた企業力の象徴 軍との緊密な関係を築いて新兵器開発に励む

沿革 家電からコロニー建設まで、幅広い分野で活躍する総合メーカー。最大の収益は軍事部門であり、 年戦争以前から地球連邦軍を支えるトップメーカー 。戦後、ジオン系企業を吸収して開発力を強化。さらに政治力を駆使して、グリプス戦役以降の各勢力へ精力的に商品を供給し続け、宇宙世紀最後の20年におけるMS開発をほぼ独占、確固たる地位を築いた。しかし、大型化の一途 MS技術は、サナリィの提唱するMSの小型化に対応しきれず、UC0100以降は次第に主導権を失っていった

紹介企業ファイルNo.2

ZEONIC ジオニック社

MSを世に生み出し歴史を変えた企業

代表商品 ザク・シリーズ、グフ、ゲルググ
本拠地 ジオン公国
企業評価 事業規模★★ 創出性★★★ 展開力★★

[illegible] 地球連邦軍[illegible]

[illegible] MS [illegible]

沿革 軍事力強化を推 進め ジオン公国のもと 機動兵器やMSの開発 実用化に史上初めて成功した企業 MSの基礎技術である姿勢制御技術AMBACシステムを始め、M&Y公社と共同開発した熱核反応炉、ジオン軍開戦当初の圧倒的な勝利を決定づけたザク・シリーズなど 世界に与えたインパクトは計り知れない 開戦後 ザクの成功がかえって次期主力MSの開発を遅らせ、ゲルググは戦局に影響を与えることができなかった。戦後はアナハイム・エレクトロニクス社に吸収され、ジオン系技術体系の存続に貢献した。

紹介企業ファイルNo.3

M&Y公社

すべての発明の源となったミノフスキー技術を確立

代表商品 M&Y型熱核反応炉
本拠地 ジオン共和国 公国
企業評価 事業規模★ 創出性★★★ 展開力★

熱核反応炉は効率よく小型化できた半面 破壊された爆発はコロニーに穴を開けるほど

巨大な軍艦が大気圏内を飛行できるのもミノフスキー技術が確立したゆえんだ

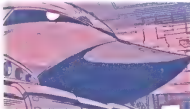
沿革 ミノフスキー粒子を発見したミノフスキー博士と、共同研究者イヨネスコ博士によるミノフスキー物理学会が発展的解消する形で誕生した半官半民企業 ミノフスキー粒子は大型艦船等を浮遊させるミノフスキークラフトや、ミノフスキー粒子によってエネルギーの圧縮に成功したビーム兵器群、ビーム兵器の無効化も可能なIフィールドの基礎開発に貢献した。なかでもM&Y型熱核反応炉の開発は、MS動力源の小型化に寄与してMS実現へ糸口をつないだ画期的な存在であり、ジオン公国の軍事技術を格段に向上させている

紹介企業ファイルNo.5

MIPエム・イー・ペー社

失敗を成功に活かし傑作機を誕生させる

代表商品 ズゴック、ビグロ、クラブロ
本拠地 ジオン公国
企業評価 事業規模★★　創出性★★　展開力★



海中で作戦展開するマッドアンクフ隊はMIP製兵器を高率で保有する部隊だ。

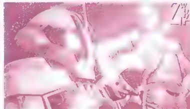
[沿革] ジオニック社、ツイマッド社とともに、ジオン軍を支えた中核企業。ジオン軍主力兵器の提案でザクに敗北したMIP社は、不採用となった機体にAMBACを取り入れることでMAビグロの開発に成功している。また、水陸両用MSの分野では、最初のコンペティションにこそ間に合わず、ツイマッド社のゴッグが先行採用されてしまうものの、ズゴックをロールアウト。性能面でゴッグを凌駕し、水陸両用MSの世界で一矢を報いた。戦後、ジオン公国を支えた他の2社同様アナハイム・エレクトロニクス社に吸収された。

紹介企業ファイルNo.4

ZIMMADツイマッド社

MS開発に貢献したジオン公国重工業界の双璧

代表商品 ツダ、ゴッグ、ドム、ギャン
本拠地 ジオン公国
企業評価 事業規模★★　創出性★★★　展開力★



ジオン軍の技術力を喧伝するため、ツダ開発担当者がプロパガンダに出演することもあった。

沿革 MS開発初期から参画する企業。開発したMSツダが、主力MSのコンペティションにおいて選考から外れ、のちにプロパガンダ制作に利用されている。だが、史上初の本格的な水陸両用MSゴッグや、重MSドムの制式化などを次々と成功させ技術力の高さは折り紙付きである。機動性能の高いツダやドムからもわかるように推進系技術が得意だが、次期主力MSのコンペティションではギャンを提案するも再びジオニック社のゲルググに破れている。ギャンの思想は、戦後に地球連邦軍採用のカルバルディβへと受け継かれた。

紹介企業ファイルNo.7

ブッホ・コンツェルン

独立の夢を叶える企業は企業の枠を越えて成長する

代表商品 デナン・シリーズ、ベルガ・シリーズ、ビギナ・ギナ
本拠地 地球
企業評価 事業規模★★　創出性★★★　展開力★★★



独自の武装体系を持つため 出……

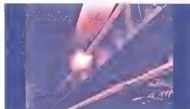
沿革 ジャンク会社を祖とする巨大コンツェルン。一年戦争以前に連邦議会へ創業者一族を送り込んだり、ラプラス戦争後に私設武装グループを暗躍させたりするなど、剣呑な側面をみせる。創業家は名家ロナ家の名を手に入れ、選民思考の強いコスモ貴族主義による国家統治を目指した。創業初期より航宙機の製造などで技術力を高めており、サナリィの提唱するMSの小型化も独自のアプローチで先にリーチ。U.C.0123のコスモ・バビロニア建国時には高性能なMSを運用している。だが、企業としての存在は過去のものとなっていた

紹介企業ファイルNo.6

コロニー公社

フロンティアを生み出したスペース・ノイドの希望

代表商品 コロニー
本拠地 地球
企業評価 事業規模★★★　創出性★　展開力★★

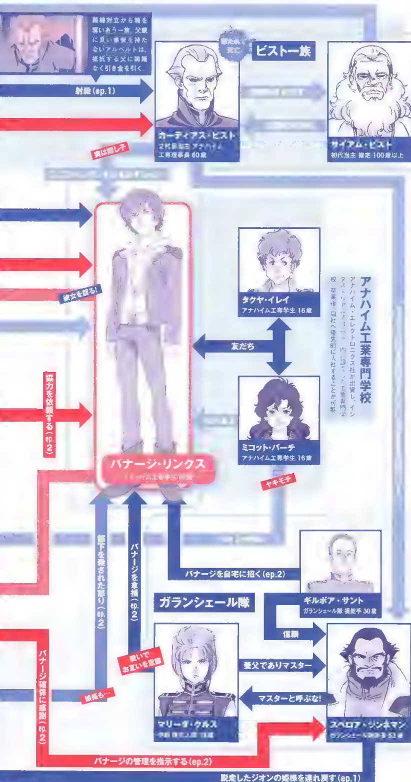


信頼されている……全性は高いが、まれに宇宙……われる事件も発生している

沿革 増えすぎた人口を宇宙へ移民させるため、築かれた各サイド。その基礎となる宇宙空間における人工の大地、コロニーを管理生産した。巨大なプロジェクトゆえ、地球連邦政府の資金で設立した公社であるが、政治的に中立を維持したため、スペース・ノイドからも信頼されている。これは、宇宙空間への移送を請け負った宇宙引っ越し公社やヘリウム3の輸送を受け持った木星船団公社も同様である。戦後、増えた難民の受け入れ先として戦災にあったコロニーを再利用する、コロニー再生計画で各企業と提携、事業を進めた。

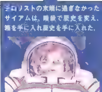
人物相関図

宇宙世紀最大の闇は血の歴史を再びたぎらせる



EPISODE 1
EPISODE 2

ビスト財団


テロリストの末端に過ぎなかったサイアムは、略奪で歴史を変え、箱を手に入れ歴史を手に入れた。



リカルド・マーセナス
初代地球連邦政府首相
宇宙世紀元年当時 64歳

マーセナス一族


アルベルト・ビスト
アナハイム・エレクトロニクス
社重役33歳

憎しみ

ラプラスの箱を渡さないよう交渉(ep.1)

実は異母兄弟

口車に乗せ戦わせる(ep.2)


リディ・マーセナス
ロンド・ベル隊 少尉 23歳
ネェル・アーガマ所属パイロット

鬱陶しい(ep.2)

政治家一族に頼る(ep.2)


オードリー・バーン
ミネバ・ザビ
身分を隠したジオンの姫 16歳

巻き込みたくなかった

彼の力に驚く

彼女を救いたい

やり方に不満

ロンド・ベル隊

て、ラプラスの箱奪取に出…





オットー・ミタス
ロンド・ベル隊 大佐 45歳
ネェル・アーガマ 艦長

人質にして盾にする(ep.2)


ダグザ・マックール
エコーズ 中佐 38歳
920隊 司令

厳格かつ融通の利かない軍人という印象に反発(ep.2)

狂信的な崇拝





ネオ・ジオン残党（袖付き）

フル・フロンタル
大佐 国籍・年齢不詳

アンジェロ・ザウパー
大尉 親衛隊隊長 19歳

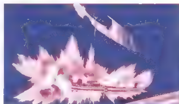
ユニコーンの日

100年の呪縛から解き放たれた白い機体

STORY

コロニー、インダストリアル7のアナハイム工専に通うバナージ・リンクスは、ある日、コロニー内を落下する少女オードリーを助けた。彼女は何者かに追われながら、コロニー内にあるビスト財団の屋敷を目指していた。どこか謎めいたオードリーに惹かれたバナージは、彼女をビスト財団へと案内する。そして、突如コロニーで始まる地球連邦軍とネオ・ジオンの戦闘。地球連邦政府を転覆させるほどの「力」を持つといわれる、ラプラスの箱を巡る戦火の火蓋は切られた。バナージとオードリーの運命もまた、大きく変化しようとしていたのである。

宇宙世紀元年の式典で深刻なテロ事件発生



U.C 0001 西暦に別れを告げる改暦セレモニーに沸く首相官邸ラプラスが、テロにより突如大爆発。首相リカルド・マーセナスはじめ、多くの人々が宙に消えた

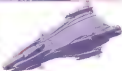


テロリストたちも爆発に巻き込まれるが、ただひとり生き残った青年は、宇宙を漂う謎の"箱"を手にした。これがラプラスの箱である



バナージ・リンクス

アナハイム工専に通う16歳。幼い頃、母が死んだせいか、周りに溶けこめず、つねに疎外感を感じている。ユニコーンとの出会いが、彼の人生を変える



GARENCIERES
ガランシェール →P083

民間船に偽装したジオンの輸送艦。MSを4機積むことができる。おもに宇宙と地球の間の往還機として使用されており、大気圏再突入、重力下飛行も可能



ビスト財団とのラプラスの箱の引き渡し交渉のために、インダストリアル7へ向かうガランシェール。情報をつかんだ地球連邦軍は、引き渡しを阻止するために強襲する

FOOTNOTE





ニュータイプの片鱗か？

バナージは、学校の仲間たちともどこか距離をおいた付き合いしかできない。気がつくと、いつも遠くを見るような眼差しをしていて、自分の本当の居場所を求めていた。

突然歴史の授業が中止になり、移動している通路でミコットと話している時に、肉眼で見えるはずの無いMSを見る。そして、バナージはそのMSからビジョンを受け取る。

オードリー・バーン

カーディアス・ビストの愛娘。ネオ・ジオンの姫として育てられた聡明な娘で、ラプラスの箱の危険性を察知し、箱が巻き起こす戦乱を止めようと奔走する。16歳

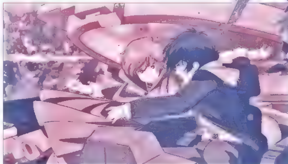
ラプラス・プログラムとは？



カーディアス・ビストは、コックピットに同乗して、ユニコーンの最終テストを終えた。その後「NT-Dを封印し、ラプラス・プログラムを起動させる」とし開発終了を宣言した

2人の出会いは何を意味するのか？

オードリーは、ガランシェールの入港時に艦を抜け出す。不注意からコロニー内に落ちるが、それを感知したバナージがトロハチで救助。彼はこの後の事件を思いもしなかった。



NZ 666 KSHATRIYA

クシャトリヤ →P050

ネオ・ジオンが開発したニュータイプ専用機。武装コンテナやスラスターとなる4枚羽根、ファンネルなどの重武装に加え、サイコフレーム搭載の高性能MS





オードリーを助けてビスト邸へ！

オードリーとバナージは、道成ユニットでマリーダに追いつかれてしまう。バナージは事情がわからないまま、オードリーを守って戦ってしまう

メガラニカにあるビスト邸に着いた2人は、お屋敷があったことに驚く。バナーシは屋敷に入ると、なぜか懐かしさを感じる。その後、協力させてくれるよう頼むが拒否されてしまう

クシャトリヤVSロンド・ベル隊！

カーディアスとジンネマンの会談の中、ロンド・ベルのMS隊が発見され戦闘になる。ガランシェールの脱出を助けるため、クシャトリヤはコロニー内で迎え撃つ

RGZ-95 ReZEL

リゼル →P031

ラプラスの箱の鍵とは？

カーディアスは、ラプラスの箱その物ではなく、ラプラスの箱の鍵を渡すと言う。戦闘が激化する中、ジンネマンは納得しないが、交渉を終わらせオードリーの引き渡しを求めた。

AMS-129 GEARA ZULU

ギラ・ズール →P056

セリフ

誰も自分を必要とはしてくれない…

コロニー内外で戦闘激化!

コロニー内での、ロンド・ベルのリゼル隊とクシャトリヤの戦闘で、コロニーに穴が開いてしまう。バナージはオードリーを心配して飛び出しタクヤとミコットも彼を追って危機を脱する

クシャトリヤに撃墜された、ロトが落ちてきたところにいたミコット、タクヤ、そしてオードリー。危ないところを、リディ少尉のリゼルに助けられて、ネェル・アーガマに収容される

「ならば、これを持って行け……」

バナージは、カーディアスを父と呼び、母や父、屋敷での生活など昔のことを思い出した。そして、オードリーを助けるために、ユニコーンに乗って戦うことを選んだ

「父さんって……おれ、今……おれ……」

連邦の攻撃で混乱する中、アルベルトの凶弾に倒れるカーディアス。バナージに自分が父であることを告げ、箱の「鍵」を秘めているユニコーンガンダムを託して死んでいく

カーディアス・ビスト

ビスト財団……理事長……

「ここから……出て行けえー!」

NT-D発動!

クシャトリヤがファンネルで攻撃してくると、突然ユニコーンの機体のあちこちから赤い光が迸り、Iフィールドを展開。おそるべき戦闘能力を発揮する、NT-Dモードに覚醒した瞬間だ。

爆炎の中から現れるユニコーン。迎え撃つクシャトリヤのファンネルをかわして組みついていく。そのままバーニヤを最大にして、コロニーの外へ飛び出していった

RX 0 UNICORN GUNDAM
DESTROY MODE

ユニコーンガンダム(デストロイモード) →P020

……社が極秘に開発した機体……計画……機であり……箱……鍵……される

キャラ

EPISODE 2

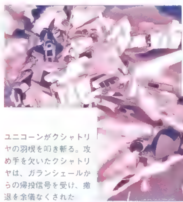
赤い彗星

シャアの魂を受け継いだフル・フロンタル登場

STORY

NT-Dに覚醒したユニコーンの前に、撤退するクシャトリヤ。ネオ・ジオンの戦艦レウルーラでは、ユニコーンの強さに舌を巻く男の姿があった。シャアの再来と言われるフル・フロンタルだ。一方、ユニコーンは地球連邦軍のネェル・アーガマに収容され、その謎の機体はさまざまな憶測を呼ぶ。ミネバやバナージの学友ミコット、さらにはアナハイム・エレクトロニクス社の重役アルベルト・ビストもネェル・アーガマに集まる中、フロンタルが駆るシナンジュが来襲。すさまじい戦闘力を持つシナンジュに、バナージはユニコーンで立ち向かう。

「ガンダムは…敵!」



一年戦争時、ジオンを苦しめた連邦の白い機体「ガンダム」。ユニコーンの姿は、まさにそのものだった。マリーダのクシャトリヤはユニコーンに果敢に挑む。

ユニコーンがクシャトリヤの羽根を叩き斬る。攻め手を欠いたクシャトリヤは、ガランシェールからの帰投信号を受け、撤退を余儀なくされた



マリーダ・クルス

クシャトリヤのパイロット。人工的にニュータイプ能力を与えられた強化人間で、プル・トゥエルブとも呼ばれる。ガランシェールの艦長ジンネマンを父と慕い、ミネバを護る



戦闘を終えてユ[illegible]ン形態に戻ったユニコーンガンダムは、ネェル・アーガマに収容される。NT-Dの後遺症で意識不明になっているバナージは、過去のビジョンを見る。



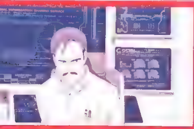
オットー・ミタス

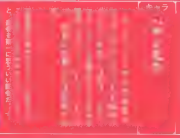
地球連邦軍大佐。ロンド・ベル隊ネェル・ア[illegible]ガマ艦長。うかつな部分もあるが、副官を始めとしたクルーに助けられている。また、ここぞというときには男を見せる



収容したユニコーンのコックピットを開けようとするダグザ。アルベルトが干渉してくる中、アナハイムの技術者に、NT-Dとユニコーンについて教えられる。

FOOTNOTE





キャラ

[illegible]を第一に思ういい艦長だ。

「おれたちの艦は、おれたちの手で守るさ」



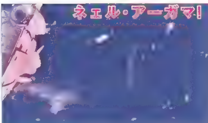
リディ・マーセナス

名門　モ　　　出身　　　首相 　カ　ト　マ　セナスの子孫で地球連邦軍ロ　ト・　　隊所属のMSパイロット　23歳で階級は少尉　ミネバやバナージ　対　て友好的な態度を見せる彼だが　戦いの中で徐々　自分を見失



ミネバと出会い　どこか　機嫌のリディが出撃。特別優れたパイロットではないが　　ナ　　　とっていい兄貴分。な　そう　と思わせておいて　とんでもないキャラに変貌していく

罠にかかるネェル・アーガマ！



進路をふさぐサラミスの残骸をカ　ノ　ェ　隊が仕掛けた罠と知らずに撃ってしまう。ネェル・アーガマの位置を探知していたフル・フロンタルが気づき出撃

フル・フロンタル

仮面をか　　　　物腰も　　　ア　瓜　つな　　カ　　　　の再来と呼ばれる　ネオ・ジオンの首魁　　ラプラスの箱を強く求めるか　　　イハ　　　　　信頼されて　ない



圧倒的な赤い彗星



シナンジュの攻撃を受けるネェル・ア　ガマは MS隊を緊急発進させるが、相手にならずに撃破されていく「赤い彗星・シャアの再来」と誰もが言うのも　納得する強さを見せつける

MSN-06S SINANJU
シナンジュ →P028

　オン　オ　か　　　　イ　ム・エ　クトロ　クス社から強奪　た試作機で　サイコフレ　ムを搭載する　　　　ンカ　タムの原型ともいえる機体　　フロ　タルの乗機として地球連邦軍を恐怖　陥れる　　　　機体は　ャアの再来　フル・フロンタルを　　印象づける



REWLOOLA

レウルーラ →P083

[illegible]

エコーズの奇策!?

地球連邦軍特殊部隊エコーズの隊長ダグザは、ミネバを人質としてフロンタルに休戦を申し入れる。汚いやり口に、バナージはやり切れない思いに包まれた

「だが、そこにいるミネバ様が本物であるという確証もない」

オードリーを巡り、ダグザとフロンタルの交渉が進むが、条件が折り合わず決裂する。そんな中、オードリーを助けるため、バナージがユニコーンで出撃することを決意する

バナージがユニコーンで出撃するのを助けて艦橋に帰ってきたアルベルト。艦の行き先を自分で決めようとするなど、我が物顔に振る舞っているために、ネェル・アーガマの乗員たちから反感を買っている

アンジェロ・ザウバー

[illegible]

「また敵となるか、ガンダム!」

フロンタルに随行して戦場に現れたアンジェロ。フロンタルに心酔している彼は、自分たちが負けるとは考えない傲慢な青年だ。その分、やられた時の怒りは相当なもの。

シナンジュでユニコーンに挑むフロンタル。シナンジュのデータを参考にして開発されたユニコーンに対して苦戦していても、余裕を失わない。出で立ちや言動、行動力はシャアそのものだ

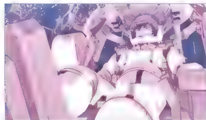
セリフ

[illegible]



ユニコーン捕獲!

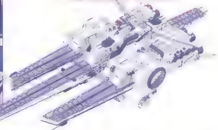
撤退するシナンジュを深追いし、クシャトリヤの襲撃を受けたバナージは気を失ってしまう。ユニコーンはそのままクシャトリヤに捕獲されて、連れ去られることに



シナンジュのキックで吹き飛ばされた後に、ユニコーンが再びNT-D発動をする。2度の発動で、意識を保ちコントロールしているバナージは、非凡な才能を持っているらしい

NAHEL ARGAMA
ネェル・アーガマ →P082

地球連邦軍の……強襲揚陸艦。第一次ネオ・ジオン戦争時、活躍したが、その同型艦が存在しない……艦隊へ組み込み……く、独立作戦に動くことが多



ユニコーン奪還計画



アルベルト主導で、ユニコーン奪還計画が立てられる。ネェル・アーガマ1艦では不可能な作戦だが、陽動を使ってエコーズ2隊の潜入作戦により、成功率をあげようとした。

ガランシェールのギルボアの家ですごすバナージ。ギルボアや子どもたちと話をすることで、さらに混乱していく。そして、連れ出したマリーダと話し、なにかを感じ取る



揺れるバナージ!



バナージはフロンタルとの会談時、「貴様のせいで我々も貴重な兵を失った……」という、アンジェロの言葉に衝撃を受けた。初めて人を殺したことに気がつき、悩み始める。



人物相関図
箱は人々の希望となり 希望は復讐心を掘り起こす

EPISODE 3
EPISODE 4

ビスト一族

ビスト財団
ラプラスの箱を手に入れたサイアムが築いた財団。……で、地球連邦や、アナハイム・エレクトロニクス社に絶大な影響力を持つ。


マーサ・ビスト・カーバイン
AE社創業家に嫁ぐ55歳


アルベルト・ビスト
AE社重役33歳

船外に吸い出されそうになったところを救う（ep.3）


バナージ・リンクス

ネオ・ジオン残党（袖付き）


バナージの怒りはフル・フロンタルへビームとなって放たれるも、……


ギルボア・サント
ガランシェール隊 操舵手
撃墜され死亡

救出に向かう


マリーダ・クルス
中尉 強化人間 18歳

NT-Dで導く軌道（ep.3）

自ら呼び水となりNT-D発動を試す（ep.3）
この人だけは墜とす！（ep.3）
憎みを理解するも戦い方に反発（ep.4）
人を想って泣く人間は信頼（ep.4）
頼む…（ep.3）
マリーダ奪還を主張（ep.3）
マスターはこの人だけ
バナージと戦わせNT-D発動を狙う（ep.3）


スベロア・ジンネマン
ガランシェール隊 隊長 52歳


フル・フロンタル
大佐 首魁 年齢不詳

マリーダを道具として使う方針に怒り（ep.3）

ガランシェール隊
……を目指し……族的つながりの強い隊員で構成されている。

ミネバ引渡しを求め圧力を掛ける(ep.4)

ミネバ引渡しに同意(ep.4)

議長に仲介を求める(ep.4)

マーセナス一族

初代地球連邦政府首相を務めたリカルドを始め、一族から政治家を輩出しつづける名家。ラプラスの箱の真実を知る数少ない家系のひとつ。

ローナン・マーセナス
中央議会議員
移民問題評議会議長 52歳

ブライト・ノア
ロンド・ベル隊 大佐
ロンド・ベル隊司令 36歳

甘い言葉を一喝(ep.4)

頼りないと判断(ep.4)

自分の家に嫁げば守れると口説く(ep.4)

ミネバ・ザビ／オードリー・バーン
ザビ家一党最後のひとり 16歳

リディ・マーセナス

良い上司に恵まれた

ロンド・ベル隊

……謀略の中核に位……政治的に追い……糸口を模索する

トライスター
ロンド・ベル隊 ラー・カイラム所属MS部隊 ナイジェル・ギャレット大尉 隊長 ダリル・マッギネス中尉 ワッツ・ステップニー中尉

大人の優しさ

MSの熱核反応炉を誘爆させる核爆発の自爆は失敗に終わり、ジオン残党軍の抵抗は終わった。

連携して撃破し自爆を阻止する(ep.4)

憎しみの呪縛から解き放ちたい(ep.4)

バナージの代わりに撃破(ep.4)

矜持を教え、希望を託す(ep.3)

オットー・ミタス
ロンド・ベル隊 大佐
ネェル・アーガマ 艦長 45歳

アンジェロ・ザウバー
大尉 親衛隊隊長 19歳

ジオン残党軍

……年戦争後も活動を続ける残党軍……別個の部……生き残……

自爆失敗

ヨンム・カークス
ニューギニア地区ジオン残党軍
リーダー 39歳

ロニ・ガーベイ
ジオン残党軍
パイロット18歳

ロニの悲しみを聴いたバナージは撃てない。その手からライフルを取り上げリディが撃つ。

斬られて死亡

ダグザ・マックール
エコーズ
920 隊司令 38歳

ダグザは自ら……死の瞬間までバナージに希望を見た。

ビーム・サーベルで殺害(ep.3)

トリントン基地攻撃を断念(ep.4)

EPISODE 3

ラプラスの亡霊

ラプラスの残骸がもたらす新たなる戦火の種

STORY

シナンジュとの戦いの末、ネオ・ジオンに捕まり衛星パラオに連行されたバナージへ、連邦の内通者から脱出の秘密連絡が入った。地球連邦軍のパラオ攻撃に乗じて脱走し、合流地点へ急ぐバナージ。一方、ネェル・アーガマでは、リディがミネバを連れて地球へ脱走しようとしていた。激戦の末、バナージはネェル・アーガマに帰還。リディとミネバは地球へと姿を消す。ネェル・アーガマは、ユニコーンが指し示す地点、旧首相官邸ラプラスの残骸へ向かう。ラプラスの箱を求めてネェル・アーガマを追うネオ・ジオンも現われ、再び激しい戦闘が始まった。



MSN-001A1 DELTA PLUS

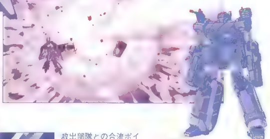
リディがミネバを地球へ連れて逃げるために乗ったMS。ウェイブライダーへ変形可能で、単機での大気圏突入能力を持つ。この後、リディの搭乗機となる

パラオ攻略戦開始



パラオの連結部を爆破するため、エコーズのロト部隊がパラオに接近。ロトから降りた工作隊が爆弾を仕掛けていく。ダグザは別行動で、バナージ救出へと向かった。

ハイパーメガ粒子砲発射!!



パラオの連結シャフト部爆破。行動開始したネェル・アーガマのハイパーメガ粒子砲が炸裂し、連結部を失ったパラオは、小惑星同士が互いに衝突した衝撃に襲われる。

D-50C LOTO

→P047

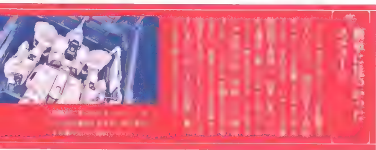
エコーズが運用するサナリィ製のMS。タンク形態に変形可能、8名の兵員輸送能力も持つ。パラオ攻略戦では、ダミーで偽装し工作員を輸送し、爆破を成功させた

パラオからの脱出行



救出部隊との合流ポイントを事前に連邦の潜入者から知らされていたバナージは、大混乱するパラオを移動中にユニコーンを発見。その場で乗りこみ脱出することを選択した。

FOOTNOTE



AMX 006 GAZA D
ガザD（袖付き）→P072

AMX 009 DREISSEN
ドライセン（袖付き）→P068

パラオ防衛部隊には、ガザDやドライセン[illegible]ギラ・ドーガなどのネオ・ジオン系の[illegible]MSが存在する

旧型主体のパラオ防衛部隊が激戦を繰り広げる中、シナンジュの部隊が後れて参戦する。パラオの表面から砲撃していたロトを駆逐すると、ユニコーンの動向を監視していた

パラオを戦場にしたいのか、あんたたちは！

バナージがユニコーンでパラオを脱出すると、ドライセンなど「袖付き」のMSに襲われる。反撃で撃破すると、人を殺した自らの選択がうまくいかない苦悩を感じてしまう

地球へ降りるオードリー

戦いながらネェル・アーガマを目指すバナージは、リディとオードリーを乗せ、地球へと降下しようとするテルタプラスに遭遇。突然のことに戸惑いつつ、バナージはリディにオードリーを託す。

戦争は回避したい。オードリーの思いをかなえるため、連邦議員である父に頼ろうという甘ったれた考えの末リディは部隊の撤退と共に地球を目指すことにする

「オードリーを頼みます！」

「袖付き」のMSがユニコーンから離れていった直後、クシャトリヤのファンネルに襲われるユニコーン。乗っているのがマリーダだと気がつき呼びかける



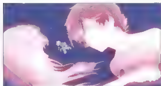
クシャトリヤが、自らのファンネルによって攻撃される
これがNT-Dの本領を発揮し、敵のサイコミュを支配して
しまう、ユニコーンガンダムの力だとフロンタルは言う

ファンネルを支配するユニコーン



マリーダの説得に失敗して激昂したバナージはNT-Dを発動させる。フロンタルの読み通り、感応波を発する強化人間である、マリーダに刺激された結果だ

共鳴する意識!!

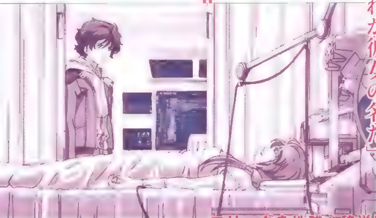


ユニコーンが止めを刺そうとした時、マリーダとバナージの意識が共鳴。記憶や想いを共有する。そして、バナージはクシャトリヤを拿捕しネェル・アーガマに帰還した



レウルーラで戦闘を観察するフロンタル。ここでマリーダの過去が明かされる。彼女は、第一次ネオ・ジオン戦争の時に作られた強化人間部隊の一人、プルトゥエルブだった

「プル・トゥエルブ……それが彼女の名だ」



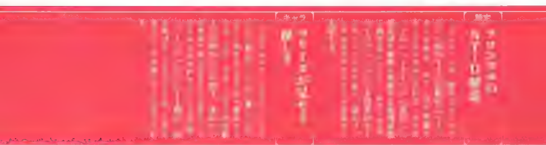
マリーダを地球へ移送!

医務室で治療を受けるバナージとマリーダは互いの心を通わせる。そのころ、アルベルトは捕らえたマリーダを、北米オーガスタ研究所に運ぶようマーサから指示された。



アルベルト・ビスト

カ[illegible]ナハイム・エレクトロ[illegible]社[illegible]重役[illegible]ナージ[illegible]異母兄[illegible]カ[illegible]乗[illegible]箱[illegible]オ[illegible]ンから死守する[illegible]作戦、も[illegible]



宇宙世紀元年の演説発信！

「おまえは私の希望……」

ダグザを補助席に乗せラプラスの残骸調査に向かうユニコーン。指定ポイント通過後、演説を発信し始め、NT-Dが発動しかける。そこへシナンジュが戦闘を仕掛けてきた

ラプラスの箱の指定座標へ

緯度0経度0高度200キロメートル。旧首相官邸ラプラスの残骸は、日に一度必ずこのポイントを通過する。そして、ユニコーンが示した座標はまさにここだった

生身でシナンジュにバズーカをぶち込むダグザ。自らが囮となり、ユニコーンに反撃のチャンスを与える。その後、シナンジュの攻撃を生身で受け、跡形もなく消えていった

ダグザ・マックール

[illegible]

怒りにかられてNT-Dを発動させたバナージ。ギラ・ズールのアンジェロが大笑いしながら襲いかかるが一瞬で撃退される

大気圏突入!!

シナンジュとユニコーンが眼下に地球の大地を見ながら火花を散らす。やがて、重力に捕まったユニコーンは、大気圏へと落ちていった。その後を、ガランシェールが追いかけて降下していく。

AMS-129 GEARA ZULU (ANGELO SAUPER USE)

ギラ・ズール（アンジェロ・ザウバー専用機） →P058

[illegible] 長距離支援用ビーム [illegible] 砲・改を装備 [illegible] ナンジュの戦術をサポートする役目を担 [illegible]

場面

[illegible]

EPISODE 4

重力の井戸の底で

重力に囚われた地上で繰り広げられる「箱」争奪戦

STORY

連邦の首都ダカールを襲う、ジオンの地球残存勢力。同じ頃、ガランシェールは砂漠地帯に降下していた。大気圏落下時にガランシェールにしがみついたユニコーンも一緒だった。ユニコーンが次に示した場所は、コロニー落としの傷痕が残る、トリントン。地球残存勢力と合流したガランシェールはトリントン基地へ向かう。一方、ブライト・ノアを司令とする連邦ロンド・ベル隊もジオンの動きを追い、トリントンへ。ビスト財団は、捕らえたマリーダを再調整し、トリントンへ送りこもうとしていた。ラプラスの箱を巡るネオ・ジオン、連邦、財団の思惑が新たな戦場を生む。

ダカールの戦い



地球連邦の首都ダカ　ルで、積年の恨みを晴らさん、とばかりに暴れ出すジオン残党軍。ガランシェールの作戦遂行のために彼らは必要不可欠だ

ホワイトベース、アーガマ　・　カイラムと歴戦の艦に乗ってきた伝説の艦長　中間管理職の憂いを残しつつ父親的威厳も持ち、頼れる指揮官として再登場　36歳になった



ビスト財団の女帝マ　サ・ビストの意向に従う連邦にあって、独立部隊ロンド・ベル司令ブライトは、混乱する状況を好転させるため打開策を密かに練っていた



ローナン・マーセナス

リディの父で連邦議会の議員。権力は持ちながらも、ビスト財団の傀儡とも言える。財団にミネバを引き渡すよう迫られる。

ラプラスの箱とマーセナス家の真実



リディは父から、マーセナス家とラプラスの箱の真実を聞く。リディは受けた衝撃をミネバに甘えることで誤魔化そうとした



マーサ・ビスト・カーバイン

カーティアス亡き後、ビスト財団を仕切る女帝　アルベルトの叔母にあたる。ビスト財団維持のため、なんとしても箱を渡すまいとしている

FOOTNOTE







マリーダの再調整

マリーダは第一次ネオ・ジオン戦争末期、強化人間部隊の一員として出撃したが、部隊が全滅というトラウマを持つ。MSの残骸を見たマリーダの心が壊れていく



スベロア・ジンネマン

カ[illegible]艦長[illegible]の育[illegible]親[illegible]彼女とは本当の父娘のような絆[illegible]結ばれている



大気圏突入時、ガランシェールにしがみつき地球に降下したバナージは、ガランシェールの一員としてジオン残党と合流するため砂漠を行軍。弱音を吐くバナージをジンネマンが叱りつける。

『男の一生は、死ぬまで戦いだ……』



[illegible]夜、ジンネマンは宇宙移民の歴史、未来をバナージに話して聞かせた。バナージは、宇宙移民の可能性を深く考える

ミネバの威厳と覚悟



マ[illegible]セナス邸から逃げ出したミネバだが、ほどなく再び捕まってしまう。それでもザビ家の威厳を保つ彼女に、部下は頭を垂れる



ロニは、ジオン再興というよりも、一族の復讐という私怨で戦[illegible]る。[illegible]かある[illegible]ノロンタルは、彼女のそんな地球連邦への憎しみを見抜いて、言葉巧みに戦場へ送り出す

貴様が自分で自分を特別扱いしている証拠だ



父ローナンの意向でラー・カイラムにやってきたリディは、自分を特別扱いしないでほしいとブライトに嘆願。その思いこそ自分が特別だと思っている証拠だと、ブライトに一喝された



ロニ・ガーベイ

[illegible]オン残党の女性[illegible]親を地球連邦軍に惨殺されたことから、激しい憎しみを抱いている巨大MAシャンブロに乗[illegible]地球連邦の要地を襲う



トリントン基地襲撃

軍隊としては不十分なジオン残党軍も、かなりのMSを投入。地球連邦軍と激戦を繰り広げ、またも、ラプラスの箱を巡り多くの命が散っていった。

AMA X7 SHAMBLO

シャンブロ →P053

[illegible]

シャンブロの暴走!!

巨大MAシャンブロは、地球連邦軍だけではなく街そのものも破壊していく。数え切れないほどの一般市民が、シャンブロの暴走によって命を落とした

パイロット、ロニの地球連邦軍への憎しみの心によって、サイコミュ兵器が暴走。シャンブロが無差別にトリントンを破壊していく。

シャンブロを止めようとするが、ロニは耳を貸さない。コックピットを開け身を晒して説得をはじめるバナージに、心を開いて動きを止める

「ガランシェールのみなさん、お世話になりました！」

出撃の是非を巡りバナージとジンネマンが殴り合いの乱闘。親子ゲンカのような騒ぎの結果、ユニコーンに乗りこんだバナージは、温かいガランシェールに別れの言葉を告げてトリントンの戦場へと降り立った

カークス撃破で再度暴走!!

シャンブロの暴走は一度止まったものの、父親のように慕っていたカークスが死に、ロニは再び暴走を始めた。

「呑まれては駄目だ、ロニさん!」

再び暴走を始めたシャンブロを止めるため、バナージはユニコーンのNT-Dを発動。しかしバナージはロニを救おうとするあまり何もできない

トライスター

RGM-96X JESTA
ジェスタ →P042

MS-05L ZAKU I SNIPER TYPE
ザクI・スナイパータイプ →P065

攻撃を仕掛けるユニコーン。だが「撃てません!」とバナージが攻撃を拒否してしまう。シャンブロのビームが放たれるが、リフレクター・ビットで攻撃を逸らせるのだった

「ユニコーン!?」「黒い!」

リディは「そのガンダムには捕獲命令が出ている」と言い、動きを止めたユニコーンに投降を促す。そこへ、上空から一機の黒いMSが降下しNT-Dを発動させた。

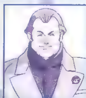
ユニコーンからビーム・マグナムを奪い、リディのデルタプラスがシャンブロのコックピットを撃ち抜いた。ようやく動きを止めるシャンブロ。バナージは無益な戦いに打ちひしがれた。

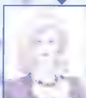
人物相関図

ラプラスの箱が選ぶ未来は人類に希望を与えるのか

EPISODE 5
EPISODE 6
EPISODE 7

ビスト一族


アルベルト・ビスト
AE社重役33歳

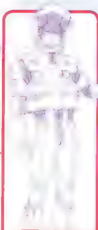

マーサ・ビスト・カーバイン
AE社創業家に嫁ぐ55歳

犠牲に心が痛む…


ミネバ・ザビ／オードリー・バーン
ザビ家一党最後のひとり 16歳

ミネバに従う(ep.6)

人類の未来を希望に賭ける


バナージ・リンクス
アナハイム工専学生 16歳


タクヤ・イレイ
アナハイム工専学生 16歳

友と再会

親密に


ミコット・バーチ
アナハイム工専学生 16歳

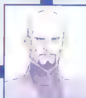
ご当主の子を守る(ep.6)

箱はニュータイプ、人類の希望へ託す(ep.7)

ビスト財団


サイアム・ビスト
初代当主 推定100歳以上

当主亡き後も仕える


ガエル・チャン
カーディアスの秘書

感情の冷たさを否定し、袂を分かつ(ep.6)

陰謀が看過できず共謀を否定(ep5)　拘束する(ep7)

身を賭してでも諫める(ep.7)



ブライト・ノア
ロンド・ベル隊 大佐
ロンド・ベル隊司令 36歳



ローナン・マーセナス
中央議会議員
移民問題評議会議長 52歳

ガランシェール隊とネェル・アーガマ隊 共闘させる陰謀を依頼(ep.5)



カイ・シデン
元ブライトの部下
ジャーナリスト 34歳

今でも部下だ。頼ってこい…(ep.7)



死してすべての人に想い・意識が伝わる

彼女の死がリディを正気に引き戻す

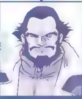


マリーダ・クルス
中尉 強化人間 18歳

真の絆でつながる

一緒に歩めない(ep.5) 戦いを止めて(ep.7)

ガランシェール隊



スベロア・ジンネマン
ガランシェール隊隊長 52歳

共に戦う(ep.6)

ネオ・ジオン残党
(袖付き)

今度は大人が守る番だ

ロンド・ベル隊



オットー・ミタス
ロンド・ベル隊 大佐
ネェル・アーガマ 艦長 45歳

決別。付き合いはこれまでだ!(ep.5)

手を貸す



コンロイ・ハーゲンセン
エコーズ920
部隊副指令 35歳



死を見て終わりを知る



アンジェロ・ザウパー
大尉 親衛隊隊長 19歳

シャアの再来らしからぬ現実路線に失望、「袖付き」分裂へ(ep.6)



ふたりで刻の流れを見る(ep.7)

黒いユニコーン

新たなるガンダムがもたらす宇宙世紀の混乱

STORY

シャンフロを倒したリディがユニコーンに銃口を向けた時、突如として空から降ってくる黒いMS。それは、まさに黒いユニコーンだった。バナージはユニコーンと共に黒いユニコーン＝バンシィに捕縛され、ラー・カイラムへ連れて行かれる。そこでユニコーンが次に示す場所を問われるが、何も語らないバナージ。彼の姿に何らかの決意を感じとったブライトは、密かにカフンシェールと連絡をとり、ユニコーン奪取のための共闘を持ちかけた。かくして、ユニコーンを積んだ輸送機カルダと、ネオ・シオンの戦いが始まるのだった。

黒いユニコーンが降臨！



ハナ[illegible]の前、突然あらわれたバンシィ。パイロットは、記憶を再調整されたマリーダだった。彼女は別人のような殺意でユニコーンへ襲い掛かる



RX-0 UNICORN GUNDAM 02 BANSHEE (DESTROY MODE)

ユニコーンガンダム2号機 バンシィ（デストロイモード）→P025

ユニ[illegible]

格納デッキにて

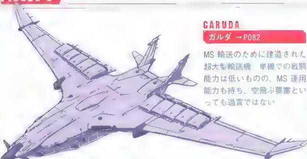


ハナージがコクピットで目を覚ました時、隣にあるバンシィを見て驚き[illegible]。降りてきたマリーダ[illegible]。その後ユニコーンが次の座標を示す

バンシィの事をアルベルトに詰め寄るリディは、バナージの出自を知らされて驚く。リディは、ユニコーンのコクピットが開くのを、複雑な心境で見守っていた

FOOTNOTE





GARUDA
ガルダ →P082

→P082

MS輸送のために建造された超大型輸送機。単機での戦闘能力は低いものの、MS運用能力も持ち、空飛ぶ要塞といっても過言ではない

ロンド・ベル隊とネオ・ジオンの共闘作戦



ブライトはルオ商会を通じて、マーサとガルダの動向を探っていた。そして、覚悟を決めたブライトはカイを仲介役として、共同作戦を持ちかける

「誰にも見せちゃだめなんです」



ラプラスの箱の最終ポイントを誰にも明かさないバナージと話すうちに、ブライトはかつてのアムロたちと同じ意思の強さを感じた

「ベースジャバーを1機用意してもらいたい」



ジンネマンは協力する条件の一つに、連邦のベースジャバーを1機用意するよう要求した。ゲリラ屋の常套手段である、潜入作戦に必要だからだ

共闘作戦開始!



ブライトから、ネオ・ジオンとの共闘作戦が密かに通達されたネェル・アーガマでは、驚きのあまり艦長のオットーがお茶を噴き出す。



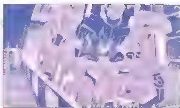
ユニコーン護送部隊がガルダに接近したタイミングで、ガランシェールが攻撃を仕掛ける。その混乱を突いて、バナージがユニコーンで行動を開始。バンシィに乗るマリーダの洗脳を解除しようとする。



マリーダがジンネマンに気づく。バナージは彼が大切な人だと呼びかけた。混乱するマリーダがNT-Dを発動させ、ユニコーンも共鳴する



サイコ・フィールド発生!!



[illegible]いミネバを助けるために、デルタプラスでガルダに突っこみ、ミネバを連れ出そうとする。



「受け止めなさい、バナージ!」

RAS-96 ANKSHA

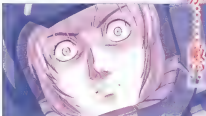
アンクシャ →P043

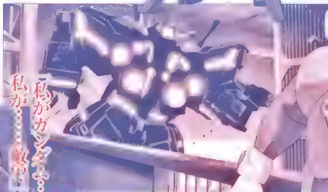
[illegible]



残念なことに、ミネバの心にリディはいない ジオンの姫として高い志を持つミネバは、リディに別れを告げると、カルダから飛び降りた

リディの言葉で混乱が加速し、自分をカンダム、敵と認識しマリーダが気絶。バナージはコックピットから落ちてきたマリーダと共に脱出した。



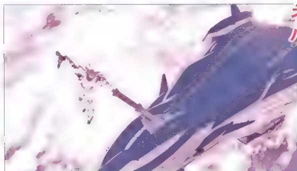


NT-Dを発動させミネバを助けたバナージ。次にマリーダとジンネマンを救出するため、バンシィもろともガルダに突っこんでいった。



[illegible]

ネェル・アーガマがバリュート展開!

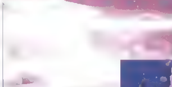


ネェル・アーガマのケーブルをつかんでNT-Dを発動、覚醒させサイコ・フィールドで2艦を包む。バナージが全力以上を出し大気圏脱出に成功した。

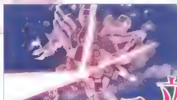


ミネバを収容したガランシェールを、作戦通り回収に向かうネェル・アーガマ。バリュートを使う、大気圏ぎりぎりの回収作戦に挑む

強襲!ゼネラル・レビル



ネェル・アーガマとガランシェールを襲う、ゼネラル・レビルのメガ粒子砲。友軍の攻撃に驚くネェル・アーガマのクルー達だった



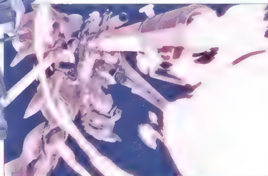
全力を出し尽くして動けないユニコーン。バナージが何かを感じ取ると、ゼネラル・レビルのMS隊をシウルーラの2機のMSが迎撃した。

立ちふさがるフル・フロンタル

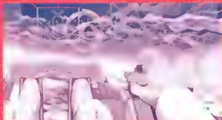
YAMS-132 ROZEN ZULU

ローゼン・ズール →P060

[illegible] 専用 [illegible] 後継機 [illegible] が操り、3連メガ粒子砲やインコムで、ゼネラル・レビルのMS隊を一蹴した。



シナンジュとローゼン・ズールは、ゼネラル・レビルのMS隊からネェル・アーガマを守るように攻撃を始め、圧倒していった



EPISODE 6

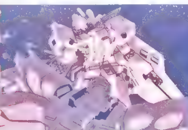
宇宙と地球と

大地に暮らす者と宙に生きる者それぞれの思いが行き着く果てとは

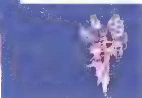
STORY

ネオ・ジオンの攻撃によってゼネラル・レビルは撤退。ネェル・アーガマには、フロンタルをはじめ、ネオ・ジオンが乗りこんでくる。ラプラスの箱を手に入れるための共闘とはいえ、傲慢なフロンタルに対し、地球連邦軍の乗組員は不満を隠せない。一方本来ならばラー・カイラムと合流するはずだったネェル・アーガマが姿を消したことから、ブライトは捜索隊を出すがその行方はわからなかった。そして、ネェル・アーガマではついに地球連邦軍の反乱が発生。フロンタルは、ユニコーンが指し示した最後の目的地、インダストリアル7のメガラニカに向かうため、ネェル・アーガマを離れる

ラー・カイラムを守るシナンジュ



長距離射撃から始まったシナンジュの攻撃。たった1機で敵を翻弄し、ゼネラル・レビルを撤退させてしまう。その様子にネェル・アーガマのクルーは複雑な気持ちになった



「手ごころを加えるのは今回だけと知れ」と、アンジェロがゼネラル・レビルのMS隊を圧倒。さらにMSで一礼し、フロンタルに出番を譲る一面をみせた

「これで少しは話ができる」



バナージからラプラスの箱の最終座標を聞き出すために、レウルーラをネェル・アーガマと合流させる。そんな中、バナージはミネバに最終座標を託すのだった

RA CAILUM

ラー・カイラム →P082



無人のガランシェール



ガランシェールを発見したトライスターの3機。しびれを切らしたワッツが不用意に近づいた瞬間、トラップが発動しガランシェールが爆発！　間一髪だった

FOOTNOTE





ネェル・アーガマ艦内で両者の関係は、決していい物ではなかった。そんな中、ジンネマンは意識を失ったマリ　ダを愛しそうに世話している

「袖付き」と共同戦線は無理がある？

ネェル・ア　ガマのシドー・オモキ機関長を中心に、ネオ・ジオンへの反発は高まる　方。そして、ついに事件が起きる



「聞いてしまえばつまらぬ話だ」



ラプラスの箱の力を使ったなら、結局は強者と弱者が入れ替わるだけで、そこには憎しみが生まれいずれは戦争がまた起こる、というのがミネバの主張だ

フロンタルは、ラプラスの箱の力を使えば宇宙移民と連邦政府の立場を逆転できると考えている



ミネバとフロンタルのラプラスの箱を巡る論戦

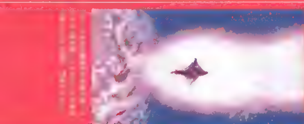
、ナ　．ィ ジ対抗意識と、ミネバへの思いを捨てきれないリディはマリ　ダの代わりに、強化されたバンシィ・ノルンに乗るのだった





「バナージは乗りこなしているおれもやってみせるさ！」

マ－ダに執着しているアルベルトから奪還を依頼され、ビスト家の闇を語られたリディ。暗礁宙域で訓練を しながら、何を思っていたのか





セリフ

「その時は迷わず、ガンダムに乗れ」

不味い病人食の押しつけを言い訳に、バナージの部屋へ訪れたマリーダ。無力感から落ちこむバナージを励ましに来たのだった

やはり無理があった共闘

救難信号を受けた地球連邦軍の哨戒艦が接近してきた。救難信号を発信したクルーを捕まえて、オットーに詰め寄るアンジェロが、共同戦線について決断を迫る。

「女の嘘はね、肌にピリピリくるの」

共闘に反発するギブニーたちは、救難信号を送ってしまう。そこでミネバの真意について、はっきりと女の勘でわかるんだと、ミコットがタクヤに保証した。

オットーの決断

若さからか突っ走ってしまうアンジェロは、やり過ぎてしまった。オットーは、アンジェロに向かって啖呵を切って男を見せる。やるときはやる男だ。

コンロイ・ハーゲンセン

あんたらは軍人じゃない！テロリストと交渉はせん！」

行動開始したコンロイは、軽い身のこなしで敵を倒していく。コンロイはバナージに、ネオ・ジオンのMSを排除するように言って、ユニコーンへと向かわせた。



「でも、お前はシャアではない!」

マリーダにクシャトリヤに乗せられたミネバは、フロンタルを糾弾する、シャアならば人の可能性を信じていたと

クシャトリヤがローゼン・ズールを押さえこむ!



完全にヒスト家の再調整から復帰したマリーダは、ミネバの守護という本来の使命に戻り、クシャトリヤに搭乗する



「最後の命令だ、心に従え!」

マリーダにお父さんと呼ばれたジンネマンは、涙をこらえて最後の命令を伝える

「お父さん……わがままを許してくれますか……」



自らの想いに従い、ミネバを助けようとするマリーダを止めるジンネマン。だが、マリーダはジンネマンをお父さんと呼び、許しを請うのだ［illegible］た

ここから先は競争だ



バナージがユニコーンに乗りこむと、形勢不利とみたフロンタルは、ネェル・アーガマを脱出。レウルーラに戻りインダストリアル7に先行する

バンシィ・ノルン襲来!



フロンタルとアンジェロが去ったところで、いきなりバンシィ・ノルンがやってくる。パイロットは、バナージを心底憎むリディだった

RX 0(N) UNICORN GUNDAM 02
BANSHEE NORN (DESTROY MODE)

ユニコーンガンダム2号機　バンシィ・ノルン（デストロイモード） →P027

［illegible］装備換装［illegible］ーカマのMS隊を一瞬で撃退［illegible］ち、ユニコーンと共闘する



キャラ

EPISODE 7

虹の彼方に

ついに明かされる箱の秘密 人類は進化のトビラを開けるか!?

STORY

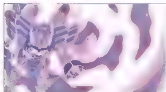
ついに、ラプラスの箱の在り処が示された。その場所はインダストリアル7のメカニカ。それぞれ思惑を抱えて結集する地球連邦軍、ネオ・ジオン、そしてネエル・アーガマ。箱に固執するフロンタル、ビスト財団の意を受けた地球連邦軍、戦争を回避したいバナージとミネバ、そして、バナージへの復讐の念にのみ突き動かされるリディ。メカニカでは、ビスト財団の宗主サイアム・ビストがバナージたちを待っていた。100年の長きにわたり、ラプラスの箱を持ち続けてきた理由、そして箱の正体がいよいよサイアムの口から明かされようとしていた。

バンシィ・ノルン迎撃!


フルアーマーで出撃したユニコーンが、バンシィ・ノルンを迎え撃つ。バナージを前に、完全にキレたリディは、怒りの力でNT-Dを発動した


RX 0 FULL ARMOR UNICORN GUNDAM (DESTROY MODE

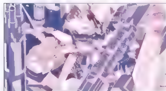
フルアーマー・ユニコーンガンダム（デストロイモード）→P023


ローゼン・ズールに乗ったアンジェロが、またしても身も蓋もない暴言を吐きながら襲い掛かる

底知れない憎しみの力でユニコーンに刃を向けるリディ。もうミネバの願いも彼には届かない



父からラプラスの箱の秘密を聞いたリディは、バナージ＝ニュータイプを、自分からミネバを、すべてを奪った者として憎んだ。

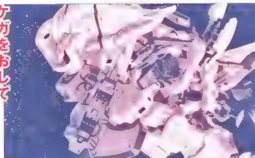


FOOTNOTE



メカ

ケガをおしてマリーダ出撃！





ガランシェールの乗員たちは、ミネバも含めネェル・アーガマに残り、ともにラプラスの箱に向かうことになる。ジンネマンは、ネェル・アーガマの砲術長の席に着く

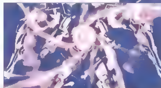


AMX-011 ZAKU Ⅲ

ザクⅢ（袖付き）→P063

第一次ネオ・ジオン戦争時、アクシズで開発されたネオ・ジオンの名機として名高い逸品。スカート部分に隠し腕が仕込まれている

ユニコーンに代わり、マリーダがクシャトリヤでバンシィと戦う。「俺をひとりにしないでって言ったのに……」「ミネバ、結局お前も！」バンシィ・ノルンのリディは戦闘によって正気を失っていく



完全に暴走したリディは、ついにマリーダに止めを刺してしまう。マリーダの死を感じ取ったバナージはうめき声を上げた。



ネオ・ジオンのMSが戦線を押し上げる！

MSを隠し腕で切り裂いたザクⅢ。またネェル・アーガマのカタパルトに取り付くシュツルム・ガルスは忍者のような機敏な動きで敵を翻弄する

「俺は何をしたんだ……」



マリーダの死と同時に正気を取り戻したリディ。彼は自分がしでかしてしまった事の重大さに気づき、茫然自失となる

「あなたは私の光……ありがとう、お父さん」



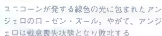
コックピットが爆発し、消え行く意識の中で、マリーダは父と慕うジンネマン、ミネバ、そして仲間たちに最期の言葉を贈るのだった



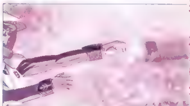


ネェル・アーガマが、ネオ・ジオン艦隊に向けてハイパー・メガ粒子砲を発射。ネオ・ジオンは撤退し、戦闘は中断した

アンジェロを包み込む温かい光



ユニコーンが発する緑色の光に包まれたアンジェロのローゼン・ズール。やがて、アンジェロは戦意喪失状態となり敗北する



憎悪から解放されたリディを苦しめるNT-Dの後遺症



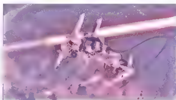
マリーダを殺してしまった後悔の念と、憎悪からNT-Dを発動させたことによる身体的ショックで、リディは宇宙でひとり苦しんでいた

「待っていた……たったひとつのことを伝えるために」

サイアムは、ラプラスの箱の力を使える人間を待っていた。それをどう使うかは本人次第。それでも、人類を良き方角へ導くことを願っていた



フロンタルに挑むも敗れるガエル・チャンのシルヴァ・バレト。機体性能と腕の差は歴然だった。





ガエル・チャン

[illegible]

ARX 014 SILVER BULLET

シルヴァ・バレト

→P080

[illegible]



サイアム・ビスト

[illegible]

セリフ



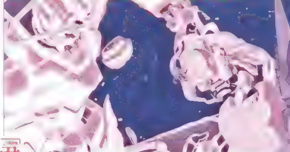
[illegible]

メカ

[illegible]

フロンタルとの最終決戦！

ユニコーン、ネオ・ジオングによる最終決戦も　最後は　逆襲のシャア　を彷彿させる拳での殴り合いに発展



NZ-999 NEO ZEONG
ネオ・ジオング →P029

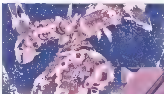
[illegible]を[illegible]と[illegible]搭載[illegible]巨大MA[illegible]ーアが乗[illegible]たジオングと名前は似て[illegible]るが別物と[illegible]る機体た



「君に託す……
なすべきと思った
ことを……」



今までの愚行を深く反省し、スッキリと立ち直ったリディもバンシィで参戦するが、ネオ・ジオングのサイコシャードによる攻撃を受けて吹き飛ばされた



フル・フロンタルが魂の安らぎを得た瞬間、ネオ・ジオングはその役割を終えたように崩れていった。これもまた、サイコフレームがなせる神秘なのだろうか



フライトの制止を振り切り、グリプス2の発射ボタンを押すローナン。息子のリティが戦っていることを聞かされるが後の祭りだった

「お前は光だ……哀しみすら
糧として道を照らせ」

ユニコーンのIフィールドを幾重にも張って、グリプス2のコロニーレーザーを受け止めるバナージ。そして、ついにミネバのいるメガラニカを守り抜いた。ユニコーンはボロボロになり、バナージの反応はない。リディは必死でバナージの名を叫び続けた



コラム

リディ作画設定から見るキャラクターの変遷

キャラクターには表情や服装などを参考にする設定画が存在するが、登場機会の多い場合は複数の設定が作られることが多い。その中でも、所属の変更や精神的な変化が大きいリディは設定画からも物語を感じられるものとなっている。ここではその設定画を紹介するとともに実際のシーンを振り返り、キャラクターが演出によってどう変わっていったかを見ていこう。

ep.1

インダストリアル7突入時

（ネェル・アーガマ所属）

悩みながらも若きエースパイロットとして希望を持っていた物語序盤。表情も優男として柔らかい印象を受ける設定画になっている。









バナージたち民間人を助けるために颯爽と現れるリディ。二枚目キャラクターとして申し分のない描かれ方をしている。

ep.4

地球降下直後

（後にラー・カイラム所属）

地球に降下し、実家へと戻った時の姿。カウボーイ風のカジュアルな私服姿が似合っているが、父から真実を知らされ表情はやや険しく見える。







自分の思いに悩む中、歳の離れたミネバへの依存が強くなっていくリディ。このあたりから表情の描線も多くなっていく。

ep.7

最終決戦時

（ゼネラル・レビル所属）

さまざまな要因から精神のバランスを崩してしまった終盤。設定画でも正面を向いておらず、顔のアップも睨みつけるような表情だ。











すべての憎悪をバナージへと向けるその様子に、序盤の二枚目らしさは皆無。描写もやや誇張した場面が増えている。


3rd CHAPTER
SPECIAL
INTERVIEW
スペシャルインタビュー



小道具から地球圏まで、構造を考証し構築

現代から続く宇宙世紀100年を作る

初めて本格的に宇宙世紀が始まる瞬間を描き、人類が宇宙に生きるということについて深く踏みこんだ 機動戦士ガンダムUC. 機動戦士ガンダム. シリーズの情報を踏まえた上で、とうU.C.0096の世界を組み立てていったのか、設定考証の小倉氏に伺った

福井氏の企画書をベースに共通認識を構築

――はじめに、『機動戦士ガンダムUC』における自身の役割から教えてください

アニメに関しては作画アトハイスも含め、いわゆる設定考証という作業をやらせてもらっています。

――資料を拝見しますと、時系列などが非常に細かく設定されていて驚かされます

福井晴敏さんの小説は、たとえば『亡国のイージス』などで、何時何分どこどこ、と描写をされることがあるんです。これは軍事作戦とは本質的に厳密なタイムスケジュールで動くことを指すため。そういう福井さんの描写の個性を活かすため、考証して詰めた時間経過の資料で担保しておく必要があり、天体の運行なども折りこむのもそのためです。

ニュータイプは富野監督の窮余の一策!?

――宇宙世紀世界の要素として欠かせないのが「ニュータイプ」という概念ですが、これを小倉さんはどの

ように解釈されていますか?

アニメでの軍隊の描写って、一騎当千の強いヒーローや特殊部隊所属の軍人をステレオタイプに描くからよく誤解されるけれども、実際の軍隊はマニュアル教育された大勢の普通の人間が組織として行動するのが普通です。それを代表しているのはジムなんでしょうけど

――ジムとかボールのような量産型のモビルスーツですね

そういうものが普通に出てきたのか、じつをいうと『機動戦士ガンダム』(以降『ファーストガンダム』)の革命的なところだったんです。一方で、ロボットアニメとしては作劇的な意味でヒロイックな活躍が期待されるわけで、窮余の一策として出たのがニュータイプなのではないかと思います。富野由悠季監督は単に言葉を作っただけではなく、その先について死ぬほど悩み、考えられたのではないでしょうか。

高みを垣間見たアムロ 成り損なったシャア

個人的な考察になりますが、私はニュータイプを通常の人には見えない、高次元の世界を垣間見る力を持つ人々ではないかと考えています。アムロが不幸なのは、ララァが死んだときにその世界を見てしまっているのに、この世に留まって地獄をずっと体験しているということ。ララァの夢にうなされて、女性と付き合っても自分が生きてることを誤魔化すだけだからすぐ別れちゃう。そういう人間関係しか築けなくなってしまった。

――シャアに「ララァに会うのが怖いのだろう?」と言われて

あくまで私見ですが、可哀想にもシャアはニュータイプに成り損なっている。しかも「人間がいちばん便利に使えるニュータイプのあり方」を示しちゃった。

――洞察力が鋭いといった部分で

じつはニュータイプとしてよりも、通常の人間として非常に優秀な人だったということがシャアの悲劇だったかもしれない。アムロも別の意味で成り損なっているのかも。

――ハマーンとかも……

そこが本質なんですよ。みんな、ニュータイプといってるだけで、ニュータイプの入り口の部分に触れちゃった人たち、というのが正解です。

強化人間とは何か

――ニュータイプといえば人工的に作られた強化人間についても……。

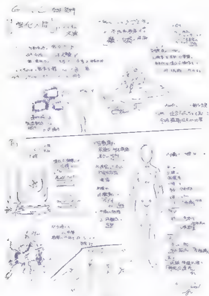
『機動戦士ガンダムNT』に登場する、「ゾルタン・アッカネン」は、福井さん曰く「フル・フロンタルになれなかった男」だそうで、何人も用意されたフロンタルの候補者のひとりのようです。つまり身体に様々な処置を施すことでシャアのカリスマを体現すべく作られた強化人間です。

――「エルピー・プル」のような?

プルは遺伝子レベルからデザインされた試験管ベイビーなのでまた違うんです。フロンタルやゾルタンは、強化人間への資質のある候補者を選抜して、後天的に強化処理したということです。

――『NT』のPVにも登場人物が外科的処置をされているシーンがありましたが、そういう形で強化されたというわけですね

連邦もジオンもニュータイプに対して、戦争に都合のいい、超能力を



氏が考察する強化人間は、薬剤や外科的処置などで後天的に作られるものと、遺伝子レベルで調整した人工的に[illegible]大別される

持つパイロットが出てきたらうれしいとしか思わなかったんです。

現代社会との地続き感を重視
過去の宇宙世紀作品も

──話を一度戻しまして、『UC』を手がけるにあたって特に重視したことはなんでしょうか?

現実社会との地続き感ですね。巨大ロボットが出る荒唐無稽さではなく、現実が抱えている社会問題と地続きになっている世界だと視聴者に感じてもらえるようにということです。特に『機動戦士Zガンダム』以降、現実世界とつながる描写が数多くあったんです。たとえばケープ・カナベラルが当たりまえに出てくるとか、HLV(重量物打ち上げロケット)でモビルスーツを打ち上げるとか、制作された当時に考えられていた宇宙開発のイメージの投影なんですよね。だから、実際その世界に自分がいたら、きっとそのように見えるであろう舞台設定であるように配慮していました。

──過去の作品や現実との地続き感、そういった部分もしっかりと取りこむことで、宇宙世紀というものがよりリアルに感じられるようになるわけですね

モビルスーツだけを考えるなら、『逆襲のシャア』の3年後なわけで、純粋に『Z』以降の世界観の延長で設定しています。

自ら手がけた設定資料を見せ[illegible]説明してくれる氏。宇宙[illegible]ロー[illegible]を造り出す[illegible]ヒルダ[illegible]も、シン[illegible]フ[illegible]ンノェールも氏[illegible]方が変わる地球[illegible]のデザインまで[illegible]という仕事の範囲は広い

『UC』『NT』そしてその先に

──『UC』の後の時代の物語である『機動戦士ガンダムF91』や『機動戦士Vガンダム』などとの連続性について、とうお考えでしたか?

『UC』には、エコーズが使う「ロト」という小型の特殊部隊用モビルスーツが登場しますが、後に『F91』に出てくるガンタンクR44に似てますよね これかサイスタウンされたモビルス[illegible]ツのプロトタイプという位置づけです。(福井さんのメモに記載されている)

『UC』episode 4以降で「ラー・カイラム」が新型でコンパクトな艦艇用ミノフスキー・クラフトの実用テストで地上に降りていましたが、これは、『Vガンダム』でラー・カイラム級の「ジャンヌ・ダルク」が浮揚していたことを見越しての設定ですね

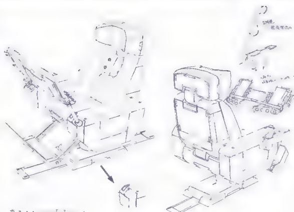
──深いですね 我々がわかる範囲でも、既存の宇宙世紀作品を意識した設定も多いですね

福井さんが『UC』のクライマッ

クスでコロニーレーザーを出すといったので（『Z』に登場した）「グリプス2」が残っていたら、どこにあるか？を検討した資料がこれです。

――グリプス戦役時の位置なども検証して、射撃位置を割り出したのですね 地球の重力効果でレーザー光が曲がるのもよかったです

監督の古橋一浩さんが本当に曲げてくれました。実際にはあそこまで大きく曲がりませんか（笑）



ガラン[illegible]設備もシ[illegible]細部まで、考証が起[illegible]こういった細か[illegible]デザインがキャラ[illegible]演技[illegible]も影響を与[illegible]る。

理解されづらかった「ガランシェール」

――『UC』では様々なものを設定されたりコンセプトデザインをされたと思いますが、印象に残っているものをいくつか教えてください

ガランシェールのコンセプトは私なんですよ リフティング・ボディ（機体全体で揚力を得ることを目的とした胴体デザインのこと）で、しかも三角錐の垂直に打ち上げるタイプ。安彦良和さんが小説の挿絵イラストを描くということで、安彦さんなら古い宇宙船はこういう垂直型のロケットでしょうと ところがアニメの現場だとみんなに反発されるんですよね。

――なぜ垂直に上がるんですかと

垂直打ち上げ型だから、episode 4で砂漠に突っこんだものを、みんなでひっぱって立てれば打ち上げられる そもそも、ゲリラが使う宇宙船ですから、地球に降りるとしても支援設備が整ったところに降りられるとは限らないんです 最初は福井さんですらなかなか受け入れづらい感じだったんですが、最近SpaceXがロケットを垂直に離着陸させて再利用しているじゃないですか あれを見て初めて「小倉さんの言ってることがわかった」と。特撮映画みたいでしたよね ああいうの、一番喜んでいるのは庵野秀明さん（アニメ『新世紀エヴァンゲリオン』、映画『シン・ゴジラ』監督）じゃないかな（笑）

――たしかに。

庵野さんといっと、私の考えたインダストリアル7のロクロとかコロニービルダーを、すごく気に入ってくれて。あれが一番合理的にスペースコロニーを建造する方法だろうと。いわゆるシールドマシンの逆だよねと うれしかったですね。

――最後に、『機動戦士ガンダムNT』について何かご存じでしたら…

NT に関しては、始まる前に福井さんと少し話したぐらいで私はノータッチです ただ、これまであまり説明されてこなかったものにスポットが当たると聞きましたので、どんなことが明らかになるのか、私自身とても楽しみです。



小倉信也
[illegible]リファイ[illegible]、翠星のカルガ[illegible]テア[illegible]など[illegible]多くのアニメ作品[illegible]設定考証を手[illegible]ける。機動戦士ガンダムUC[illegible]福井晴敏氏の小[illegible]としてOVA[illegible]参加している

2 玄馬宣彦

世代の異なる機体が争った『UC』の戦場

名優たちの「演技」を支えた想いとは？

U.C 0079から0096までに登場した、様々なMSたちが個性あふれる戦いぶりを見せた 機動戦士ガンダムUC の戦闘シーン
膨大なMSたちの中から役者となるMSをキャスティングし、その「演技」を指導した演出家といえる玄馬氏に、制作時のエピソードを聞いた

メカ総作画監督として統一感ある絵と演技を徹底

――『機動戦士ガンダムUC』で、玄馬さんは具体的にどんな作業をされたんでしょう

最初に担当したのは、小説でカトキハジメさんが描かれたイラストをベースに、登場メカのディテールを整理し、アニメとして動かせる状態にデザインし直す作業でした。けれど『UC』の場合、最初の制作チームのメンバーにメカ作品に携わった人がほとんどいなかったんです。そのため、ガンダム世界の知識やメカもの作品の経験があった僕が、メカデザイン調整の作業に加えてメカを扱うシーンの演出もやる形にシフトしていったんです。「このシーンは、通常のガンダム世界から見るとMSのパワーバランスがおかしいぞ？」みたいな部分をチェックして、それを加味したコンテを切って、使える部分を古橋一浩監督に採用していただくという形式でした

――戦闘をはじめ、メカの見せ場となる場面にはほぼ関わられている？

主役MSの活躍シーンや、キャラ

同士のやりとりなど、感情面が重要な部分は監督が重点的にやっています。僕が担当したのはそれ以外の、いわば雑魚MSが関わるシーンで、それぞれのMSの立ち位置が正しいか、どう演技させれば説得力があるか、といったことをほかの方とも相談しながら絵にしていきました。

――『UC』のメカ作画に、何かテーマはあったんでしょうか

ひと言で言うと、全話を通して"統一感"を感じられるものにすることでした。企画初期に、それまでの作品を参考にどう絵作りを進めるか検討したんですが、それらの作品では、描き方や光源の配置が担当した原画スタッフによってバラバラで、絵の統一感があまり取れていなかったんです。そこで『UC』では、デザインを起こす際に「この世界では、影はこう付く」「モノはこう壊れる」といった表現のルールをあらかじめ決め、それを分厚い設定資料にまとめて、徹底してもらいました。

――玄馬さん個人では、MSをカッコよく描くために気を付けた部分はあったんでしょうか？

僕個人は、アニメでMSを見てカッコいいと感じられるかどうかは、やっぱり「何をしたか」だと思っています。特に雑魚MSの場合は、がんばりすぎて主役機を食ってしまうようではまずくて、やられるまでに何か観た人の印象に残ることをして、カッコいいと感じてもらえるのが一番いい。それを念頭に各MSの個性を極限まで出し、見た人にカッコいいと感じてもらえるよう演技をさせることを意識していました。

パワーバランスの表現や意外性を意識したMS起用

――『UC』のように多くの世代のMSが登場する作品で、MSのパワーバランスを表現するにはかなりご苦労があったのでは？

旧ザクがジェガンをやっつける光景をすごいと思えるのは、旧ザクの性能がとても低いことがわかっている人たちだけですからね。ですから、MSの強さをこちらでわかる範囲でコントロールして「このMSでは、いくらがんばっても勝てない」といった線引きをなるべく映像でも表現しつつ、旧型のメカが新型を上回るシーンがあるなら、その理由がわかるように描くことを心がけました。パイロットがすごいのならそれが絵で感じられなければダメだし、その理由付けはかなり意識しました。

――登場機体もある程度玄馬さんが決めていたんですか？

小説で登場したMSは必ず出すという暗黙のルールがあり、主人公と絡むトライセンのようにシナリオ段階であらかじめ登場することが決まっていたものもありました。それ以外は僕の担当でしたね。場所によっては見せたいシーンや、やらせたい演技に合わせて決め打ちでMSを用意できなかったりして、そこは悩みどころでした。

――ジュアックやソゴックにも驚かされました。あれも玄馬さんのアイデアで？

ええ。episode 4はああいう機体がたくさん出せることが決まっていたので、かなり早くから構想を練っていました。

小説とアニメでキャラクターの演技プランが違っていて、古橋監督も早い時期から苦心しつつ重点的に作業されていました。雑魚MSの戦闘はこちらでやらせてもらって、かなりの数の機体を出せましたね。

シナリオの概要がわかったところで、僕の中でバイアラン・カスタム





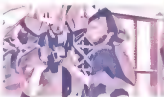
作画の基本となる線画（上）では機体の細かな線が省かれているが、デザイン影やハイライト（下）が入ることで立体感あるディテールが付与される

とジュアッグを出したいと早い段階から考えていたんですよ。もともと『UC』は、歴代のガンダムの中で"ファーストガンダム"しか見ていない人にもわかりやすいように作ることもコンセプトのひとつで、基本的に連邦関係者なら連邦っぽいもの、ジオン関係者ならジオンっぽい機体に乗せるというルールがあったんです。

──それだとバイアランのようなティターンズのMSはやや扱いづらそうですが……

　連邦所属の組織なのに、機体のデザインはジオン寄りという存在ですからね。でも、なかったものにしてしまうのは惜しいし、どこかに絶対仕込んでやろうと思っていたところでepisode 4のシナリオが来て。そこで、連邦の量産MSが倒されていく中で、戦局をガラッと変えるきっかけになる存在として、バイアラン・カスタムを出したんです。


遠距離支援用に開発され〔…〕作機のジュアッグはアニメ作品では『UC』が初登場。傷つきながらもネモを倒す躍動感あるアクションを見せた


ジオン残党軍の水陸両用MS部隊を、立体的な機動で瞬く間に殲滅したバイアラン・カスタム。"ファーストガンダム"世代と『Z』以降世代のMSの性能差が〔…〕


こちらも初お目見えのイフリート・シュナイトとゾゴック。劇中ではイフリートの圧倒的な機動性、ゾゴックの頭頂部から発射されるブーメラン・カッターなど、各機の個性が明確に表現された

──ジュアッグにも、同じように何か意図があったんですか？

　ジオン古参兵たちががんばるシーンに最新型の強力なMSを持ってきても映えませんし、それなら逆に泥臭いMSを、と選んだ結果です。ジオンの古い機体で、両手に指みたいな3本の大砲を装備した、近距離戦に明らかに向かないMSにあえて接近戦をさせて勝たせるという、キャッチーさを重視する場面になりました。MSVの一連のMSを知らない人から見たら「何これ!?」というビジュアルも良かったし。

あの頃見たMSが解像度を変えてそのまま登場するのが『UC』

──近年のスマートなMSから見ると、だいぶテイストが違いますよね

　カトキさんのデザインって、リファイン作品も含めてやっぱりどれも洗練されていてカッコいいんです。でも、"ファーストガンダム"だけ観ていた人の中にはその洗練されたデザインを「自分が観ていたガンダムと違う……」と感じてしまう方もいると聞いて。それで『UC』で過去のMSを出すにあたり、カトキさんにはあえて元のモノは元のまま『UC』世界の記号に落とし込んでもらったんです。

──たしかに言われてみると、フォルム自体が大きく変わったMSはありません

　もちろん、昔のデザインと比べると線は増えて、細部もはっきりしてはいます。でもそれは、昔の解像度が低かった頃のアニメで描き切れていなかった部分を、今の解像度で表現しているから。カトキさんには「このMSは、実際はこれだけの情報量で描かれていて、細かな部分のディテールはこうなっていたんです」というのを示す形でデザインしてほしいとお願いしました。

──ズゴックEでなく、ズゴックが出ているのもそういった理由で

　ええ。『UC』という作品では僕も含めて"ファーストガンダム"を観て感動してプラモデルを作っていた方たちに、僕らが子どものときに見ていたMSは、そのままこの世界に、この世界の解像度で存在するんですよ」と伝えたかったんです。改修が行われているMSもありますが、基本的には各MSが誕生した当時の状態で、世代の違う機体が交じ

り合って戦っているのを観て「昔、自分が見ていた宇宙世紀のガンダムと『UC』は地続きでつながってい る」と実感してもらいたいと考えていました。

マニア冥利に尽きるMS選び　決める側もノリノリだった!?

――それだけに、登場MS選びは楽しそうですね

カトキさんや僕、設定協力の関西リョウジさんといった面々は基本的にマニアの集まりなので、楽しかったですね（笑）。

試作型モビルスーツについても、アニメ作品では『ZZ』でアッグガイとゾゴックが登場済みで、『UC』では新たにジュアッグを出しました。同時期にMSVで発表されたアッグを出さなかった理由は「後世にコイツをうまく使えるスタッフが現れたときのため」です（笑）。

――後の作品のために、レアなMSを使い切らない。ガンダムの制作ならではですね

"ファーストガンダム"世代のMSは、当時のガンプラブームを経験した人たちが今おじさんになっていて、その人たちに「コイツのプラモデル、小学校のときにいろんなところを走り回って探したなあ」という気持ちで手に取ってもらえたりもしますからね。

世代的に子どもと一緒に見る方が「昔、お父さんもこのMSのプラモ買ったよ」みたいな話を子どもとすることを期待したり。ユニコーンガンダムやハンシィは子どもが観ても素直にかっこいいと思えるデザインですし、両者にウケるMSがごちゃ混ぜにできてよかったかなと。

これからの宇宙世紀に向けて　MSと物語はどう描かれていく?

――『UC』世界におけるMSの状況を、玄馬さんはどう捉えているんでしょうか?

そこも一応、全体的なルールがありました。宇宙世紀は『逆襲のシャア』以降、連邦と対立できる派閥がほぼなくなり、表立った戦争が起きていない状態なんです。ジオン残党軍のようなテロリストは、何かあって連邦に民衆の怒りが向いたときに、ジオンの残党の話を出したりするために生かしてある。そういう世界。だから『UC』だと、一応こんな前の機体も実は残ってますよ、みたいなこともできたんです。でも、大規模な戦争がないから技術革新の速度はやや停滞気味で。ジオンやアクシズが崩壊して、ファンネルとかの技術もMS企業の外にはあまり広がっていないという感じで。そうした中でサイコフレームが使われなくなって、フォーミュラ計画が登場する経緯がどうなるかは、『機動戦士ガンダムNT』のようなこれからの作品の展開次第ですよね。

――『UC』から『F91』へとつながることを意識した設定などは……?

『F91』の時代だと、過去の機体の系統を引き継いだMSにはジェガンのJ、M、R型という派生型が出てくるんですが、これらは『UC』で活躍したD型ではなく、『逆襲のシャア』時のジェガンから発展した形状をしてるんです。これだと進化系統がつながらなくなってしまうので、『UC』では拡張性はD型におよばないけれど、安価でパワフル、かつ汎用性が高いA2型という別モデルを登場させています。地力の高さが評価されて、そちらが残ったという見通しに基づいた機体ですね。

――やはり、そういった先へとつなぐ仕掛けは考えられているんですね

過去の作品で進化の先が見えている中で、ジェガンのような系統の発展を考えるのは楽しい半面、やっぱり気を使います。今後作られていく作品の中で、全く見たことのない新型MSが出てくる可能性は高いだろうけど、かなりかんはらないと途中で進化が途絶えてしまうMSも多くなるでしょう。宇宙世紀のくくりで考えると『F91』以後を描く小説の『ガイア・ギア』もあり、外伝として描かれる様々なマンガ作品もあるわけで。アニメで宇宙世紀を扱う場合、それらにも敬意を持って新しい物語を作っていく必要があると思います。



玄馬宣彦
攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX のメカ作画監督ほか、豊富な経験を持つ。機動戦士ガンダムUC ではメカニカルデザイナー・総作画監督のほか、戦闘シーンの演出も担当した

【編集】……蘭部真一、岡村和哉、
宇垣智裕
プロダクションベイジュ
【執筆】……藤咲 茂（東京03製作）
沼田 理（東京03製作）
有田シュン、井出 倫
上野高一、松田孝宏
[illegible]
【本文デザイン】出渕諭史（cycledesign）
【カバーデザイン】西垂水敦（krran）
【DTP】……山本秀一・山本深雪（G-clef）



機動戦士ガンダムUC
コンプリート・アナリシス

2018年12月21日　第1刷発行

【編者】別冊宝島編集部
【発行人】蓮見清一
【発行所】……株式会社宝島社
〒102-8388
東京都千代田区一番町25番地
営業：03-3234-4621
編集：03-3239-0662
[illegible]

【印刷・製本】株式会社リーブルテック

本書の無断転載・複製を禁じます
乱丁・落丁本はお取り替えいたします

©創通・サンライズ
©TAKARAJIMASHA 2018

Printed in Japan
ISBN 978-4-8002-8957-5

MOBILE SUIT
GUNDAM
UNICORN
COMPLETE
ANALYSIS

機動戦士ガンダムUC


MOBILE SUIT
GUNDAM UNICORN COMPLETE ANALYSIS
機動戦士ガンダムUC コンプリート・アナリシス
別冊宝島編集部 編
宝島社

MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN COMPLETE ANALYSIS

機動戦士ガンダムUC コンプリート・アナリシス

MSの系譜で読み解く宇宙世紀100年の歴史

ユニコーン、バンシィ、シナンジュ、スタークジェガン、
ソフラス、ハイアラン・カスタム、リ・ガズィ、ネモIII

interview 1 設定考証 小倉信也
「時間と天体の法則はUC世界にも生きている

interview 2 作画監督 メカニカルデザイン 玄馬宣彦
「ジュアッグが接近戦で泥臭く勝つ。それがいい



宝島社





ISBN978-4-8002-8957-5
C0076 ¥1800E

定価：本体1800円+税
宝島社

「最後の命令だ 心に従え」

「やりました やったんですよ! 必死に! その結果がこれなんですよ!!」

「父親ってのは、いつも一言足りないのさ」

「“たったひとつの望み”は人の数だけある」

「信じるんだ 自分のなすべきと思ったことを」

「でもお前はシャアではない」

「可能性」を信じた人類の革新の物語

「お前は私の希望 託したぞ」

「ここから先は競争だ」

「“それでも”と言い続けろ バナージ!」

「人間だけが神を持つ 今を超える力“可能性”という内なる神を」

「人の持つ可能性を俺は信じたい」

「あとは君次第だ 状況につぶされるな」

機動戦士ガンダムUC

別冊宝島編集部 編

MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN COMPLETE ANALYSIS

機動戦士ガンダムUC(ユニコーン) コンプリート・アナリシス

宝島社





ISBN978-4-8002-8957-5
C0076 ¥1800E

定価：本体1800円＋税

宝島社

機動戦士ガンダムUC コンプリート・アナリシス

MOBILE SUIT GUNDAM UNICORN COMPLETE ANALYSIS

別冊宝島編集部 編

宝島社